Nikon

デジタルカメラ

COOLPIX P6000

クールピクス P6000

使用説明書

Jp

商標説明

- Microsoft、WindowsおよびWindows Vistaは、Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Macintosh、Mac OSおよびQuickTimeは、Apple Inc.の商標です。
- AdobeおよびAdobe AcrobatはAdobe Systems, Inc.（アドビシステムズ社）の商標、または特定地域における同社の登録商標です。
- SDロゴおよびPictBridgeロゴは商標です。
- その他の会社名、製品名は各社の商標、登録商標です。

安全上のご注意

お使いになる前に「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しい方法でお使いください。
この「安全上のご注意」は製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために重要な内容を記載しています。内容を理解してから本文をお読みいただき、お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。
表示と意味は次のようになっています。

⚠**危険**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が高いと想定される内容を示しています。**
⚠**警告**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
⚠**注意**	**この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。**

お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

絵表示の例	
	△記号は、注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。図の中や近くに具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠記号は、禁止（してはいけないこと）の行為を告げるものです。図の中や近くに具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は、行為を強制すること（必ずすること）を告げるものです。図の中や近くに具体的な強制内容（左図の場合はプラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠警告（カメラについて）

分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
接触禁止 すぐに修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出したときは、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電池、電源を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
電池を取る すぐに修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、すみやかに電池を取り出すこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電池を取り出す際、やけどに充分注意してください。 電池を抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。

表示	内容
使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
 禁止	**レンズまたはカメラで直接太陽や強い光を見ないこと** 失明や視力障害の原因となります。
 発光禁止	**車の運転者等にむけてフラッシュを発光しないこと** 事故の原因となります。
 発光禁止	**フラッシュを人の目に近づけて発光しないこと** 視力障害の原因となります。 特に乳幼児を撮影する時は1 m以上離れてください。
 保管注意	**幼児の口に入る小さな付属品は、幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。 万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
 保管注意	**ストラップが首に巻き付かないようにすること** **特に幼児、児童の首にストラップをかけないこと** 首に巻き付いて窒息の原因となります。
 警告	**指定の電池または専用ACアダプターを使用すること** 指定以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。
 使用禁止	**ACアダプター使用時に雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。

⚠注意（カメラについて）

表示	内容
 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 保管注意	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 保管注意	**使用しないときは、電源をOFFにしてレンズを遮光し、太陽光のあたらない所に保管すること** 太陽光が焦点を結び、火災の原因になることがあります。
 移動注意	**三脚にカメラを取り付けたまま移動しないこと** 転倒したりぶつけたりしてケガの原因になることがあります。
 使用注意	**航空機内で使うときは、離着陸時に電源をOFFにすること** **また、GPSモードの位置情報記録機能もOFFにすること** **病院で使うときは病院の指示に従うこと** 本機器が出す電磁波などにより、航空機の計器や医療機器に影響を与えるおそれがあります。
 電池を取る プラグを抜く	**長期間使用しないときは電源（電池やACアダプター）を外すこと** 電池の液もれにより、火災、ケガや周囲を汚損する原因となることがあります。 ACアダプターをご使用の際には、ACアダプターを取り外し、その後電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。
 発光禁止	**内蔵フラッシュの発光窓を人体やものに密着させて発光させないこと** やけどや発火の原因となることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。
 放置禁止	**窓を閉め切った自動車の中や直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないこと** 内部の部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。

禁止	**付属のCD-ROMを音楽用CDプレーヤーで使用しないこと** 機器に損傷を与えたり大きな音がして聴力に悪影響を及ぼすことがあります。

⚠危険
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

禁止	**電池を火に入れたり、加熱しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
分解禁止	**電池をショート、分解しないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
危険	**専用のACアダプターを使用してカメラで充電すること、または別売の専用充電器を使用すること** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。
使用禁止	**Li-ion リチャージャブルバッテリーEN-EL5は、ニコンデジタルカメラ専用の充電池で、COOLPIX P6000 に対応しています。EN-EL5 に対応していない機器には使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
危険	**ネックレス、ヘアピンなど金属製のものと一緒に持ち運んだり、保管しないこと** ショートして液もれ、発熱、破裂の原因となります。 持ち運ぶときは端子カバーを付けてください。
危険	**電池からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、医師の治療を受けること** そのままにしておくと、目に傷害を与える原因となります。

⚠警告
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

保管注意	**電池は幼児の手の届かないところに置くこと** 幼児の飲み込みの原因となります。万一飲み込んだときは、直ちに医師にご相談ください。
水かけ禁止	**水につけたり、ぬらさないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
使用禁止	**変色や変形、そのほか今までと異なることに気づいたときは、使用しないこと** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**充電の際に所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電をやめること** 液もれ、発熱の原因となります。
警告	**電池をリサイクルするときや、やむなく廃棄するときは、テープなどで接点部を絶縁すること** 他の金属と接触すると、発熱、破裂、発火の原因となります。ニコンサービス機関またはリサイクル協力店にご持参いただくか、お住まいの自治体の規則にしたがって廃棄してください。
警告	**電池からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗うこと** そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりする原因となります。

⚠注意
（専用Li-ionリチャージャブルバッテリーについて）

注意	**電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしないこと** 液もれ、発熱、破裂の原因となります。

⚠警告
（専用ACアダプターについて）

 分解禁止	**分解したり、修理や改造をしないこと** 感電したり、異常動作をしてケガの原因となります。
 接触禁止 すぐに 修理依頼を	**落下などによって破損し、内部が露出した時は、露出部に手を触れないこと** 感電したり、破損部でケガをする原因となります。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 プラグを 抜く すぐに 修理依頼を	**熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常時は、速やかに電源プラグをコンセントから抜くこと** そのまま使用すると火災、やけどの原因となります。 電源プラグを抜く際、やけどに充分注意してください。 電源プラグをコンセントから抜いて、ニコンサービス機関に修理を依頼してください。
 水かけ禁止	**水につけたり、水をかけたり、雨にぬらしたりしないこと** 発火したり感電の原因となります。
 使用禁止	**引火、爆発のおそれのある場所では使用しないこと** プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると爆発や火災の原因となります。
 警告	**電源プラグの金属部やその周辺にほこりが付着しているときは、乾いた布で拭き取ること** そのまま使用すると、火災の原因になります。
 使用禁止	**雷が鳴り出したら、電源プラグに触れないこと** 感電の原因となります。 雷が鳴り止むまで機器から離れてください。
 禁止	**電源コードを傷つけたり、加工したりしないこと** **また、重いものを載せたり、加熱したり、引っぱったり、むりに曲げたりしないこと** 電源コードが破損し、火災、感電の原因となります。
 感電注意	**ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないこと** 感電の原因となります。
 禁止	**海外旅行者用電子式変圧器（トラベルコンバーター）や DC/AC インバーターなどの電源に接続して使わないこと** 発熱、故障、火災の原因となります。

⚠注意
（専用ACアダプターについて）

 感電注意	**ぬれた手でさわらないこと** 感電の原因になることがあります。
 放置禁止	**製品は、幼児の手の届かない所に置くこと** ケガの原因になることがあります。
 禁止	**布団でおおったり、つつんだりして使用しないこと** 熱がこもりケースが変形し、火災の原因となることがあります。

目次

使用説明書について

ニコンデジタルカメラCOOLPIX P6000をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

お使いになる前に、この使用説明書をよくお読みになり、内容を充分に理解してから正しくお使いください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管し、撮影を楽しむためにお役立てください。

●本文中のマークについて

マーク	説明
✔	カメラの故障を防ぐために、使用前に注意していただきたいことや守っていただきたいことを記載しています。
(電球)	カメラを使用するときに、便利な情報を記載しています。
(クリップ)	カメラを使用する前に知っておいていただきたいことを記載しています。
(目)	関連情報を記載した参照ページを記載しています。

●表記について

- SDメモリーカードを「SDカード」と表記しています。
- ご購入時のカメラの設定を「初期設定」と表記しています。
- 液晶モニターに表示されるメニュー項目や、パソコンに表示されるボタン名、メッセージなどは、[ ] で囲って表記しています。

●画面例について

本書では、液晶モニター上の表示をわかりやすく説明するために、被写体の表示を省略している場合があります。

●本文中のイラストについて

本文中の画面表示を含むイラストは、実際と異なる場合があります。

内蔵メモリーとSDカードについて

本機は、内蔵メモリーとSDカードの両方に対応しています。SDカードをカメラにセットしているときは、SDカードが優先して使用されます。内蔵メモリーを使用して、撮影、再生、削除、初期化などの操作をするときは、SDカードをカメラから取り出してください。

ご確認ください

●保証書について

この製品には「保証書」が付いていますのでご確認ください。「保証書」は、お買い上げの際、ご購入店からお客様へ直接お渡しすることになっています。必ず「ご購入年月日」と「ご購入店」が記入された保証書をお受け取りください。「保証書」をお受け取りにならないと、ご購入1年以内の保証修理が受けられないことになります。お受け取りにならなかった場合は、ただちに購入店にご請求ください。

●カスタマー登録

下記のホームページからカスタマー登録が行えます。

https://reg.nikon-image.com/

付属の「登録のご案内」に記載されている登録コードをご用意ください。

●カスタマーサポート

下記のホームページでサポート情報をご案内しています。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/

●大切な撮影を行う前には試し撮りを

大切な撮影（結婚式や海外旅行など）の前には、必ず試し撮りをしてカメラが正常に機能することを事前に確認してください。本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用および利益喪失等に関する損害等）についての補償はご容赦願います。

●本製品を安心してご使用いただくために

本製品は、当社製のアクセサリー（バッテリー、バッテリーチャージャー、ACアダプターなど）に適合するように作られていますので、当社製品との組み合わせでお使いください。

- Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5 には、ニコン純正品であることを示すホログラムシールが貼られています。

- 模倣品のLi-ionリチャージャブルバッテリーをお使いになると、カメラの充分な性能が出せないことや、バッテリーの異常な発熱や液もれ、破裂、発火などの原因となることがあります。
- 他社製品や模倣品と組み合わせてお使いになると、事故や故障などが起こる可能性があります。その場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

●使用説明書について

- この使用説明書の一部または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- 仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご承知ください。
- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 使用説明書の内容が破損などによって判読できなくなったときは、下記のホームページから使用説明書のPDF ファイルをダウンロードすることができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/manual/

ニコンサービス機関で新しい使用説明書を購入することもできます（有料）。

●著作権についてのご注意

あなたがカメラで撮影または録音したものは、個人として楽しむなどの他は、著作権上、権利者に無断で使うことができません。なお、実演や興業、展示物の中には、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影や録音を制限している場合がありますのでご注意ください。また、著作権の目的となっている画像や音楽は、著作権法の規定による範囲内でお使いになる以外は、ご利用いただけませんのでご注意ください。

●カメラやメモリーカードを譲渡/廃棄するときのご注意

メモリー（SDカード/カメラ内蔵メモリーを含む）内のデータはカメラやパソコンで初期化または削除しただけでは、完全には削除されません。譲渡/廃棄した後に市販のデータ修復ソフトなどを使ってデータが復元され、重要なデータが流出してしまう可能性があります。メモリー内のデータはお客様の責任において管理してください。

メモリーを譲渡/廃棄する際は、市販のデータ削除専用ソフトなどを使ってデータを完全に削除するか、初期化後にメモリーがいっぱいになるまで、空や地面などを撮影することをおすすめします。なお、「オープニング画面」の「撮影した画像」（161）も、同様に別の画像で置き換えてから譲渡/廃棄してください。メモリーを物理的に破壊して廃棄するときは、周囲の状況やけがなどに充分ご注意ください。

また、カメラのネットワーク設定もリセットしてください（113）。

●ラジオ、テレビなどへの電波障害についてのご注意

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、ラジオやテレビの近くでお使いになると、受信障害を引き起こすことがあります。使用説明書にしたがって正しくお取り扱いください。

本製品のLAN機能をお使いになる前に以下の内容をご確認ください。

●個人情報の管理および免責事項

- 本製品内に使用者により登録または設定された、ネットワーク接続設定等の個人情報を含む情報は、誤操作、静電気の影響、事故、故障、修理、その他の取り扱いによって変化、消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをおとりください。万一、当社の責によらず内容の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を譲渡または廃棄する場合、本製品内に使用者により登録または設定された、ネットワーク接続設定等の個人情報を含む情報は、ネットワーク設定メニューの「リセット」（113）を使用して必ず消去してください。
- 本製品の盗難や紛失などによって、本製品に設定されたメールアドレスの不正な使用による被害が発生しても、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。

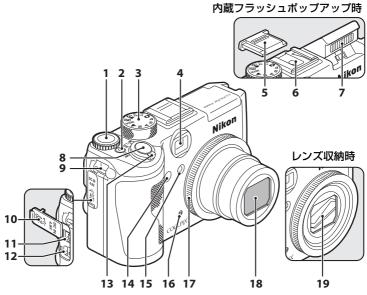
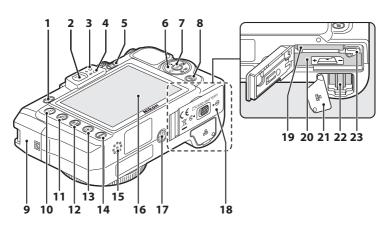
●LAN機能利用時のご注意と制限

- 本製品のLAN機能で利用できるサービス（以下、本サービス）をネットワークに接続して使用する場合は、インターネットサービスプロバイダーへの申し込みが必要になります。
- 本サービスは、お客様が本サービスを利用した場合の画像の保存、保持などにつき一切の保証を行いません。大切な画像は必ずバックアップをおとりくださるようお願いいたします。万一、当社の責によらず内容の変化、消失が生じても、それらに起因する直接または間接の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本サービスの利用については、お客様ご自身の責任において利用いただくものとし、ニコンがお客様に代わって責任を負うことは一切ございません。このため、本サービスは、一般的なモラルをお守りの上ご利用ください。
- 被写体の同意を得ずに他人の容貌などをみだりに撮影し公表することは、その人の肖像権の侵害となるおそれがありますので、ご注意ください。
- 本サービスにおいて、他人の権利を侵害するおそれのある行為、本サービスの円滑な利用を妨げるおそれのある行為、または、他人に迷惑をかける行為など、ニコンが不適切と判断する利用が行われた場合には、当該利用を行った本製品について、本サービスの提供を中止または停止することがあります。

- 本サービスは予告なくサービスの内容の変更、停止、または中止をさせていただくことがあります。
- 「ピクチャーバンク」に適用される利用規約は、my Picturetownサーバーアカウントの登録時（114）に閲覧できます。
- 下記のホームページでmy Picturetownの内容をご覧いただけます。

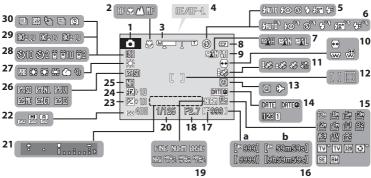
  http://mypicturetown.com/

各部の名称

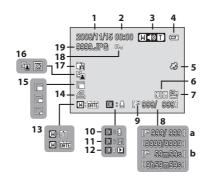
カメラ本体

1	コマンドダイヤル	11
2	電源スイッチ/電源ランプ	17、169
3	モードダイヤル	10
4	ファインダー	26
5	アクセサリーシューカバーBS-1	179
6	アクセサリーシュー	179
7	内蔵フラッシュ	32
8	シャッターボタン	28
9	ストラップ取り付け部（2カ所）	15
10	端子カバー	18、90、92、96
11	DC入力端子	18、117
12	ケーブル接続端子	90、92、96
13	ズームレバー	27
	W：広角ズーム	27
	T：望遠ズーム	27
	：サムネイル表示	65
	：拡大	66
	：ヘルプ	15
14	リモコン受光部	36
15	セルフタイマーランプ	35
	AF補助光	168
16	マイク	74、79、85
17	レンズリング	178
18	レンズ	182、198
19	レンズバリアー	

No.	名称
1	⚡（フラッシュポップアップ）ボタン 33
2	ファインダー 26
3	フラッシュランプ 34
4	AFランプ ....28、85
5	|□|（モニター）ボタン 14
6	マルチセレクター 12
7	Ⓚ（決定）ボタン 12
8	🗑（削除）ボタン ....30、31、74、84、88
9	GPSアンテナ 60
10	**Fn**（ファンクション）ボタン ....11、171
11	My（マイメニュー）ボタン 15
12	MF（マニュアルフォーカス）ボタン 39
13	▶（再生）ボタン 30
14	MENU（メニュー）ボタン ....13、41、80、123、153
15	スピーカー ....74、84、87
16	液晶モニター ....8、14、25
17	三脚ネジ穴
18	バッテリー /SDカードカバー ....16、22
19	SDカードスロット 22
20	バッテリー室 16
21	LAN端子カバー 117
22	LAN端子 117
23	バッテリーロックレバー ....16、17

液晶モニターの表示内容

説明のため、すべての表示を点灯させています。
モニター表示の切り換え方は、14ページをご覧ください。

撮影時

1	撮影モード※	24、41、50、79
2	フォーカスモード	37
3	ズーム表示	27
4	AE/AF-L表示	49
5	フラッシュモード	32
6	スピードライト表示	179
7	アクティブD-ライティング	57
8	バッテリーチェック	24
9	手ブレ補正表示	25、167
10	ゆがみ補正	148
	ワイドコンバーター	149
11	GPS測位状態表示	60
12	AFエリア	28、144
	AFエリア（顔認識時）	144
13	時計マーク	186
	ワールドタイム	162
14	デート写し込み	165
15	画像サイズ	126
	動画設定	80
16	(a) 記録可能コマ数（静止画）	24
	(b) 記録可能時間（動画）	79
17	内蔵メモリー表示	25
18	絞り値	51
19	画質	124
20	シャッタースピード	51
21	露出インジケーター	55
22	ISO感度表示	34、138
23	露出補正値	40
24	調光補正	147
25	ノイズ低減	148
26	COOLPIXピクチャーコントロール	129
27	ホワイトバランス	136
28	セルフタイマー/リモコン	35
29	ブラケティング	143
30	連写モード	140

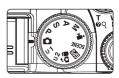
※ 撮影モードによって表示されるアイコンが異なります。

再生時

1	撮影日 20	11	音声メモガイド（再生）........ 74
2	撮影時刻 20	12	動画再生ガイド 84
3	音量表示 .... 74、84	13	カレンダー /撮影日一覧ガイド .... 75、76
4	バッテリーチェック 24	14	プリント指定表示 101
5	GPSデータ記録済み表示 60	15	スモールピクチャー .... 69、70
6	画質※ 124	16	D-ライティング済み表示 .... 68 黒フレーム済み表示 71
7	画像サイズ※ .... 126 動画設定※ 80	17	ピクチャーバンク転送済表示 119
8	(a) 画像の番号/全画像数 .... 30 (b) 動画の再生時間 84	18	プロテクト表示 156
9	内蔵メモリー表示 30	19	ファイル名 180
10	音声メモガイド（録音）........ 74		

※ 撮影時の設定によって表示されるアイコンが異なります。

主なボタン操作とヘルプの使い方

モードダイヤル

モードダイヤルを回して、使用するモードのアイコン（図記号）を指標に合わせます。

（オート撮影）モード（24）

細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

U1、U2 ユーザーセッティングモード（58）

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**で設定した内容を登録できます。登録すると、このモードに切り換えるだけで、よく使う設定で撮影できます。

ピクチャーバンクモード（103）

LAN機能を使って、撮影した画像をカメラからインターネット上のmy Picturetownに送信できます。

P、S、A、Mモード（50）

シャッタースピードや絞りなどを自分で決めて、より本格的な撮影を楽しめます。

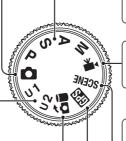
（動画）モード（79）

動画を撮影できます。

SCENE（シーン）モード（41）

撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。音声のみを録音する音声レコード機能も選べます。

GPS GPSモード（60）

GPS機能の設定や受信状態の確認ができます。GPS機能を使うと、画像に位置情報を記録できます。

コマンドダイヤルと Fn（ファンクション）ボタン

コマンドダイヤルを回したり、**Fn**ボタンと組み合わせて使うことで、すばやくモードやメニューを選んだり、機能を設定したりできます。

撮影時に使う

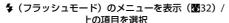
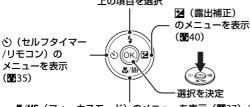
状態	操作	内容	
モードダイヤルが**P**のとき		プログラムシフト量の変更	52
モードダイヤルが**S**のとき		シャッタースピードの変更	53
モードダイヤルが**A**のとき		絞り値の変更	54
モードダイヤルが**M**のとき		シャッタースピードまたは絞り値の変更（変更する項目はマルチセレクターの▶を押して切り換えます。）	55
モードダイヤルが **P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のとき	**Fn**＋	［**FUNCボタン設定**］に設定されている機能の値を変更（初期設定ではISO感度の設定を変更できます。）	171
モードダイヤルが**SCENE**のとき	**Fn**＋	シーンモードの選択	41
モードダイヤルが のとき	**Fn**＋	動画の種類の選択	80

再生時に使う

状態	操作	内容	
再生モード	**Fn**＋	カレンダーモード、撮影日一覧モードへの切り換え	75、76
1コマ表示またはサムネイル表示		画像の選択	30、65
拡大表示		拡大倍率の変更	66
動画、音声データ再生中		早送り/巻き戻し	84、88

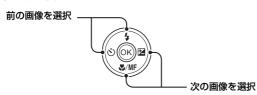
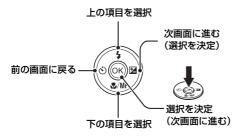
マルチセレクター

モードやメニューを選んで決定するときは、マルチセレクターを使います。

撮影時に使う

/MF（フォーカスモード）のメニューを表示（37）/
下の項目を選択

再生時に使う

メニュー画面で使う

マルチセレクターの使い方の記載について

本書ではマルチセレクターの上、下、左、右の各操作部を▲、▼、◀、▶と表記する場合があります。

MENU（メニュー）ボタン

MENUボタンを押すと、選んでいるモードに応じたメニューを表示します。

- 各メニュー項目を設定するには、マルチセレクターを使います（12）。
- コマンドダイヤルを回しても、メニュー項目を選べます。
- 左側のタブを選ぶと、各メニュー項目を表示できます。
- メニュー表示を終了するには、もう一度MENUボタンを押します。

- 上タブ：モードダイヤルで選んでいるモードで使えるメニューを表示
- 中タブ：再生メニューを表示
- 下タブ：セットアップメニューを表示

OKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、選んだ項目の設定画面を表示します。

OKボタンを押す、またはマルチセレクターの▶を押すと、設定を確定します。

タブの切り換え方法

マルチセレクターの◀を押してタブに入ります。

マルチセレクターの▲▼を押してタブを選び、OKボタンまたは▶を押します。

選んだタブのメニューが表示されます。

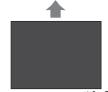
|□|（モニター）ボタン

|□|（モニター）ボタンを押すたびに、撮影時や再生時に液晶モニターに表示する情報の切り換えができます。

撮影時

情報ON
撮影画像と撮影情報を表示します。

ガイド表示※1
構図を決めるための格子状のガイドを表示します。

情報OFF
撮影画像だけを表示します。

液晶モニター OFF※1、2
液晶モニターを消灯します。

再生時

画像情報ON
再生画像と画像情報を表示します。

撮影情報ON
（動画は除く）
ハイライト表示※3 とヒストグラム※4、撮影情報※5を表示します。

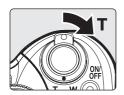
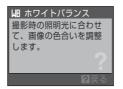
情報OFF
再生画像だけを表示します。

※1 モードダイヤルが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のときのみ可能です。
※2 ピントが合わず、AFランプが点灯しないときはシャッターがきれません。
※3 画像の中の非常に明るい部分（ハイライト部分）を点滅表示します。露出補正などで画像の明るさを調整する目安になります。
※4 ヒストグラムとは、明るさの分布を表す山状のグラフのことです。横軸は輝度を示し、左へ行くほど暗くなり、右へ行くほど明るくなります。縦軸は画素数を示します。
※5 ここで表示される撮影情報は、フォルダ名、ファイル名、GPS データ記録済み表示、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、シャッタースピード、絞り値、露出補正値、ISO感度、画像番号/全画像数です。
撮影モードが、📷、**SCENE**、**P**のときには**P**と表示されます。

My（マイメニュー）ボタン

Myボタンを押すと、撮影時によく使うメニュー項目だけを表示できます（撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のときのみ）。もう一度Myボタンを押すと、マイメニューの表示を終了します。マイメニューで表示する項目は、セットアップメニュー（159）の［**マイメニュー登録**］（172）で変更できます。

ヘルプの表示方法

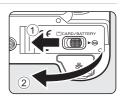
メニュー画面の下に?が表示されているときにズームレバーを**T**（?）方向に回すと、選んでいる項目の説明（ヘルプ）を表示できます。
メニュー画面に戻るには、もう一度ズームレバーを**T**（?）方向に回します。

ストラップの取り付け方

次のようにストラップをカメラに取り付けます（2カ所）。

バッテリーをカメラに入れる

付属のLi-ionリチャージャブルバッテリー（リチウムイオン充電池）EN-EL5をカメラに入れます。

- ご購入直後やバッテリー残量が少なくなったときは、バッテリーを充電してからお使いください（18）。

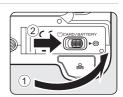
1 バッテリー /SDカードカバーを開ける

2 バッテリーを入れる

- バッテリー室内の表示を見ながら、＋と－を正しい向きで入れてください。
- バッテリーでオレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げながら①、バッテリーを差し込んでください②。奥まで差し込むと、バッテリーロックレバーが下がり、バッテリーが固定されます。

逆挿入注意

バッテリーの向きを間違えると、カメラを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

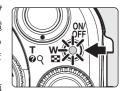
3 バッテリー /SDカードカバーを閉じる

- カバーを閉じ①、ロックレバーを▶⊖側にスライドさせます②。

バッテリーを取り出すときは

電源をOFFにし、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。
オレンジ色のバッテリーロックレバーを矢印の方向に押し上げると①、バッテリーが押し出されるので、まっすぐ引き抜いてください②。

- カメラを使った直後は、バッテリーが熱くなっていることがあります。取り出すときは充分ご注意ください。

電源をON/OFFするには

電源スイッチを押すと、電源がONになり電源ランプ（緑色）が一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。電源ランプ（緑色）または液晶モニターが点灯しているときに、電源スイッチを押すと、電源はOFFになります。

- 電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。

バッテリーについてのご注意

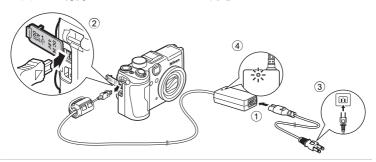
- リチャージャブルバッテリーをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「危険」（iv）、「警告」（iv）、「注意」（iv）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」（184）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。

撮影時の節電機能について

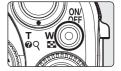
カメラを操作しない状態が約5秒続くと、バッテリーの消耗を抑えるため、液晶モニターの表示が暗くなります。カメラを操作すると、元の明るさに戻ります。
また、カメラを操作しない状態が約1分（初期設定）続くと、液晶モニターが自動的に消灯して待機状態になります。そのまま約3分経過すると、電源が自動的にOFFになります（オートパワーオフ機能）。
待機状態で液晶モニターが消灯しているときは、シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押すと液晶モニターが点灯します。

- 待機状態になるまでの時間は、セットアップメニュー（159）の［**オートパワーオフ**］（169）で変更できます。

バッテリーを充電する

付属のリチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池）をカメラに入れて、付属のACアダプター EH-66で充電してください。

1 電源コードとACアダプターを接続する①

2 カメラの電源ランプと液晶モニターが消灯していることを確認する

- 電源をONにしないでください。電源がONになっていると、バッテリーを充電できません。

3 ACアダプターをカメラのDC入力端子に接続する②

- 奥までしっかりと差し込んでください。

4 電源プラグをコンセントに差し込む③

- ACアダプターの電源ランプが点灯します④。

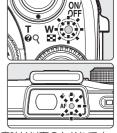
日時設定後の充電について

カメラの内蔵時計に日時を設定していないときは、すぐに充電が始まります。日時を設定したカメラにACアダプターを接続すると、ピクチャーバンク（117）を開始する画面が表示されます。

- ピクチャーバンクをキャンセルして、すぐに充電を始めるときは、OK ボタンを押してください。
- ピクチャーバンクが始まらない設定にもできます（117）。

撮影の準備

5 充電が始まる

- カメラの電源ランプと AF ランプが交互に点滅し、充電が始まります。
- 電源ランプとAFランプが消灯したら、充電完了です。
- 残量がないバッテリーの場合、充電時間は約3時間です。

ACアダプターを接続しているときの、カメラの状態と意味は以下のとおりです。

カメラの状態	意味
電源ランプと AFランプが点滅	バッテリーは充電中です。
電源ランプと AFランプが消灯	バッテリーの充電が完了しました。
電源ランプまたは液晶モニターが点灯	カメラの電源はONです。ACアダプターからカメラに電力を供給しています。
フラッシュランプが速い点滅	• 使用可能な温度ではありません。周囲の温度が 5 ℃～ 35 ℃の室内で充電してください。 • AC アダプターが正しく取り付けられていないか、バッテリーの異常です。AC アダプターを正しく取り付けるか、バッテリーを交換してください。

6 充電が完了したら、カメラとコンセントの接続を外す

- カメラの電源をOFFにしてください。
- カメラからACアダプターを抜いて、コンセントから電源コードを抜いてください。

ACアダプターについてのご注意

- AC アダプターをお使いになるときは、「安全上のご注意」の「警告」（v）、「注意」（v）の注意事項を必ずお守りください。
- 「取り扱い上のご注意 バッテリーについて」（184）をよくお読みの上、内容を充分に理解してから正しくお使いください。
- EH-66以外のACアダプターは絶対に使わないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- ACアダプターに付属の電源コードはEH-66以外の機器に接続しないでください。 この電源コードは日本国内専用（AC 100 V対応）です。日本国外でお使いになるには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

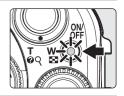
充電器で充電する

別売のバッテリーチャージャー MH-61（176）で、EN-EL5を充電できます。

表示言語と日時を設定する

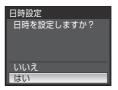
ご購入後はじめて電源をONにすると、表示言語やカメラの内蔵時計の日時を設定する画面が自動的に表示されます。

1 電源スイッチを押して、電源をONにする

- 電源ランプが一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。

2 マルチセレクターで表示言語を選び、®ボタンを押す

- マルチセレクターの使い方→12

3 ［はい］を選び、®ボタンを押す

- 日時設定を中止するときは［**いいえ**］を選びます。

4 ◀または▶を押して自宅のあるタイムゾーン（都市名）（164）を選び、®ボタンを押す

夏時間を設定する

夏時間（サマータイム）が現在実施されているときは、手順4の地域設定画面で▲を押して夏時間の設定をオンにします。設定をオンにすると、画面上部にマークが表示されます。
オフにするときは、▼を押してください。

5 日時を合わせる

- ▲ または ▼ を押してカーソルのある項目を合わせます。
- ▶ を押すと、カーソルは［**年**］→［**月**］→［**日**］→［**時**］→［**分**］→［**年月日**］（日付の表示順）に移動します。
- ◀を押すと、前のカーソルに移動します。

6 年月日の表示順を選び、OK ボタンまたは▶を押して決定する

- 設定が有効になり、撮影画面になります。

設定した日時を変更する

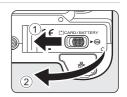
- すでに設定した日時を変更するときは、セットアップメニュー（159）の［**日時設定**］（162）で［**日時**］を選び、上記の手順5から設定してください。
- 地域（タイムゾーン）や夏時間の設定を変更するときは、セットアップメニューの［**日時設定**］から［**ワールドタイム**］を選んで設定してください（159、162）。

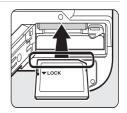
SDカードを入れる

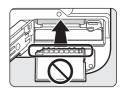
撮影または録音したデータは、カメラの内蔵メモリー（約48 MB）、または市販のSDカード（🔍177）のどちらかに記録されます。

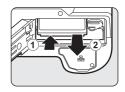
カメラにSDカードを入れると、SDカードに記録し、SDカードのデータを再生、削除、または転送します。内蔵メモリーを使うときは、SDカードを取り出してください。

1 電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開ける

- バッテリー/SDカードカバーを開けるときは、必ず電源をOFFにしてください。

2 SDカードを入れる

- 右図のように正しい向きで、カチッと音がするまで差し込んでください。
- 挿入後、バッテリー/SDカードカバーを閉めてください。

✔ 逆挿入注意

SDカードの向きを間違えると、カメラやSDカードを破損するおそれがあります。正しい向きになっているか、必ずご確認ください。

SDカードを取り出すときは

電源をOFFにし、電源ランプと液晶モニターの消灯を確認してから、バッテリー/SDカードカバーを開けてください。カードを指で軽く奥に押し込んで離すと①、カードが押し出されるので②、まっすぐ引き抜いてください。

SDカードの初期化

このカードは初期化されていません。
初期化しますか？
いいえ
はい

電源をONにしたときに右の画面が表示された場合は、SDカードを初期化する必要があります。**ただし、SDカードを初期化（🔍170）すると、カード内のデータはすべて消えてしまいます。**カード内に必要なデータが残っているときは、初期化する前に、パソコンなどに保存してください。
マルチセレクターで［**はい**］を選び、OKボタンを押すと確認画面が表示されます。［**初期化する**］を選び、OKボタンを押すと初期化が始まります。

- **初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。**
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化（🔍170）してからお使いください。

SDカードの書き込み禁止スイッチについてのご注意

SDカードには、書き込み禁止スイッチが付いています。このスイッチを「Lock」の位置にすると、データの書き込みや削除を禁止して、カード内の画像を保護できます。撮影時や画像を削除するとき、カードを初期化するときは「Lock」を解除してください。

- COOLPIX P6000のLAN機能を使って、SDカードの画像をmy Picturetownに送信するときは、「Lock」を解除してください。

書き込み禁止スイッチ

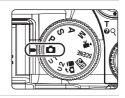
▼Lock

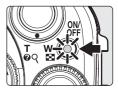
SDカードの取り扱い上のご注意

- SDカード以外のメモリーカードは使えません。
- 初期化中、画像の記録や削除中、パソコンとの通信時などには、以下の操作をしないでください。記録しているデータの破損やカードの故障の原因となります。
  - カードを着脱しないでください
  - バッテリーを取り出さないでください
  - カメラの電源をOFFにしないでください
  - ACアダプターを外さないでください
- SDカードをパソコンで初期化（フォーマット）しないでください。
- 分解や改造をしないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたり、水に濡らしたりしないでください。
- 端子部を手や金属で触らないでください。
- ラベルやシールを貼らないでください。
- 高温になる車の中や直射日光の当たるところなどには置かないでください。
- 湿度の高いところやほこりが多いところ、腐食性のガスなどが発生するところには置かないでください。

ステップ1　電源をONにして◘（オート撮影）を選ぶ

◘（オート撮影）モードでは、細かい設定を気にせず気軽に撮影できます。はじめてデジタルカメラを使う方でも簡単に撮影できます。

1　モードダイヤルを◘に合わせる

2　電源スイッチを押して電源をONにする

- 電源ランプが一瞬点灯し、液晶モニターが点灯します。このときレンズも繰り出します。

3　液晶モニターでバッテリー残量と記録可能コマ数を確認する

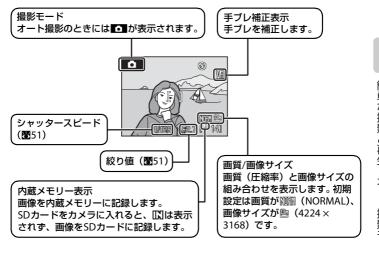
バッテリー残量

モニター表示	内容
表示なし	バッテリー残量は充分にあります。
▭	バッテリー残量が少なくなりました。バッテリーの充電や交換の準備をしてください。
❶ 電池残量がありません	撮影できません。バッテリーを充電または交換してください。

記録可能コマ数

撮影できる残りのコマ数が表示されます。

記録可能コマ数は、内蔵メモリーまたはセットしているSDカードのメモリー残量、画質、画像サイズによって異なります（☞127）。

📷（オート撮影）モードでの液晶モニター表示

フラッシュについて

内蔵フラッシュを閉じているときは発光禁止に固定され、画面上部にⓈが表示されます。暗いところや逆光などフラッシュが必要なときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください（33）。

📷（オート撮影）モードで使用可能な機能について

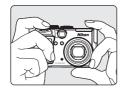
📷（オート撮影）モードではフラッシュモード（32）の変更、セルフタイマー（35）、フォーカスモード（37）、および露出補正（40）の設定ができます。また、📷（オート撮影）モードのときにMENUボタンを押すと、撮影メニューの［**画質**］（124）と［**画像サイズ**］（126）を設定できます。

手ブレ補正について

［**手ブレ補正**］（167）を［**ON**］（初期設定）にすると、望遠側での撮影やスローシャッターでの撮影時におこりがちな手ブレを効果的に補正できます。
手ブレ補正機能は、すべての撮影モードで使えます。
三脚などに固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］を［**OFF**］にしてください。

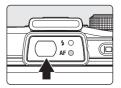
ステップ2　カメラを構え、構図を決める

1　カメラをしっかりと構える

- カメラを両手でしっかりと持ってください。
- レンズやAF補助光、マイク、スピーカーなどに指や髪、ストラップなどがかからないようにご注意ください。

2　構図を決める

- 写したいもの（被写体）を画面の中央付近に合わせます。

ファインダーを使う

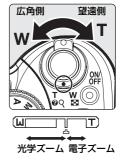
日差しの強い屋外など、明るい場所で液晶モニターが見えにくいときは、ファインダーを使って撮影してください。

ファインダーについてのご注意

以下の場合、ファインダーで見える範囲と実際に撮影される範囲が異なりますので、液晶モニターで構図を確認してください。

- カメラと被写体の距離が近い場合（特に約1 m以内）
- ワイドコンバーターレンズ（別売）を使う場合（149、178）
- 電子ズームを使う場合（27）
- ［**画像サイズ**］（126）が［**3:2 4224×2816**］、［**16:9 4224×2376**］、［**1:1 3168×3168**］の場合

ズームを使う

ズームレバーを回すと、光学ズームが作動します。被写体を大きく写したいときは**T**方向にズームレバーを回してください。広い範囲を写したいときは**W**方向にズームレバーを回してください。

ズームレバーを回すと液晶モニターの画面上部にズームの量が表示されます。

電子ズームについて

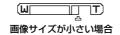
光学ズームを最も望遠側（光学ズームの最大倍率）にして、さらに**T**方向に回し続けると、電子ズームが作動します。光学ズームの最大倍率の約4倍まで拡大できます。電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合います。

電子ズームと画質の劣化について

電子ズームは光学ズームとは異なり、画像をデジタル処理で拡大するため、使用する画像サイズ（126）や電子ズーム倍率により、画質が劣化します。

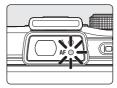
ズーム表示の凸マークは、画質の劣化が始まるズーム位置を示しています。このマークを越えてズーム倍率を上げると劣化が始まり、ズーム表示が黄色に変わります。

凸マークの位置は画像サイズが小さいほど右に移動しますので、設定した画像サイズで画質を劣化させずに撮影できるズーム位置を事前に確認できます。

画像サイズが小さい場合

- セットアップメニュー（159）の［**電子ズーム**］（168）で、電子ズームの倍率を画質が劣化しない範囲内に制限することや、電子ズームが作動しない設定にできます。

ステップ3　ピントを合わせてシャッターボタンを押す

1 シャッターボタンを半押しする

- 画面中央の AF エリアに重なっている被写体にピントが合います。ピントが合うと、AFエリアが緑色に点灯し、ファインダー右横のAFランプも点灯します。
- 電子ズーム使用時は、AFエリアは表示されず、画面中央でピントが合うとAFランプが緑色に点灯します。
- 半押しを続けている間、ピントと露出を固定します。
- 半押しして、AF エリアが赤色に点滅したり、AF ランプが高速点滅したときは、ピントが合っていません。構図を変えて、もう一度シャッターボタンを半押ししてください。

2 シャッターボタンを半押ししたまま、さらに深く押し込む（全押しする）

- シャッターがきれ、画像が記録されます。

シャッターボタンの半押し

シャッターボタンを軽く抵抗を感じるところまで押して、そのまま指を止めることを、「シャッターボタンを半押しする」といいます。半押しするとピントと露出が合い、そのまま深く押し込む（全押しする）と、シャッターがきれます。
シャッターボタンを押すときに力を入れすぎると、カメラが動いて画像がぶれる（手ブレする）ことがあるので、ゆっくりと押し込んでください。

半押しすると、ピントと露出が固定　　そのまま深く押し込んで撮影

画像の記録についてのご注意

液晶モニターの「記録可能コマ数」が点滅しているときや、AFランプが点滅しているときは、画像の記録中です。バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。画像の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、画像が記録されないことや、撮影した画像やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

オートフォーカスが苦手な被写体

次のような被写体では、オートフォーカスによるピント合わせができないことがあります。また、AFエリアやAFランプが緑色に点灯しても、まれにピントが合っていないことがあります。

- 被写体が非常に暗い
- 画面内の輝度差が非常に大きい（太陽が背景に入った日陰の人物など）
- 被写体にコントラストがない（白壁や背景と同色の服を着ている人物など）
- 遠いものと近いものが混在する被写体（オリの中の動物など）
- 動きの速い被写体

このような被写体を撮影するときは、シャッターボタンを何回か半押ししてみるか、同距離にある別の被写体にピントを合わせてフォーカスロック撮影をお試しください。

フォーカスロック撮影

AF（オートフォーカス）エリアが画面中央でも、ピントを固定（フォーカスロック）する方法を使うと、構図を工夫して撮影できます。

- フォーカスロックをしている間は被写体との距離を変えないでください。
- シャッターボタンを半押しすると、露出は固定されます。

ピントを合わせたい被写体にカメラを向ける

半押しする

AF エリアが緑色に点灯したら

半押ししたまま構図を変える

そのまま深く押し込む

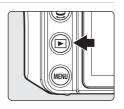
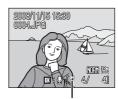
AF補助光について

暗い場所などでは、シャッターボタンを半押しするとAF補助光（168）が点灯することがあります。

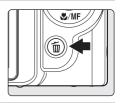
ステップ4　撮影した画像を確認する/削除する

画像を確認する（再生モード）

▶ボタンを押す

- 最後に撮影した画像が1コマ表示されます。
- マルチセレクターの ▲▼◀▶ で前後の画像を表示できます。ボタンを押し続けると、画像を早送りできます。コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- 前の画像や次の画像に切り換えた直後は、表示が粗いことがあります。
- 撮影に戻るには、もう一度 ▶ ボタンを押すか、シャッターボタンを押します。
- 内蔵メモリーの画像を再生しているときは、INが表示されます。SDカードをカメラに入れたときは、INは表示されず、SDカードの画像が再生されます。

内蔵メモリー表示

画像を削除する

1 削除したい画像を表示して🗑ボタンを押す

2 マルチセレクターで［はい］を選び、OKボタンを押す

- 削除をやめるときは、［いいえ］を選んでOKボタンを押します。

再生モードで使える機能

再生モードの1コマ表示中は、次の機能が使えます。

機能	ボタン	内容	参照
画像を拡大する	T（Q）	最大約10倍までの倍率に拡大します。OKボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	66
サムネイル表示する	W（▦）	4コマ、9コマ、または16コマのサムネイル画像を表示します。	65
情報を表示/非表示にする	▭	液晶モニターに表示される画像情報、撮影情報の表示/非表示を切り換えます。	14
音声メモを録音/再生する	OK	最大20秒の音声を録音/再生します。	74
撮影モードに切り換える	▶ / シャッターボタン	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。	30

▶ボタンによる電源ON

電源がOFFの状態で▶ボタンを押し続けると、再生モードで電源をONにできます。このとき、レンズは繰り出しません。

画像の再生について

- 内蔵メモリーに記録した画像を再生するときは、SD カードをカメラから取り出してください。
- 顔認識して撮影した画像（145）は、1 コマ表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。

撮影時に画像を削除する

撮影時に🗑ボタンを押すと、直前に撮影した画像を削除できます。

複数の画像をまとめて削除する

再生メニュー（153）やカレンダー /撮影日一覧メニュー（78）の［**削除**］（156）を選ぶと、複数の画像をまとめて削除できます。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

フラッシュを使う

暗いところや逆光などでは、内蔵フラッシュをポップアップするとフラッシュ撮影ができます。
フラッシュの光が充分に届く距離は、広角側で約0.3～6.0 m、望遠側で約0.3～3.0 mです（[**ISO感度設定**]が[**オート**]時）。
内蔵フラッシュをポップアップしたときは、撮影状況に合わせてフラッシュの発光モードを設定できます。

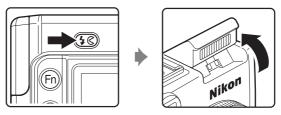
フラッシュモードの種類

AUTO	**自動発光**
	暗い場所などで、自動的にフラッシュを発光します。
	赤目軽減自動発光
	人物撮影に適しており、人物の目が赤く写る「赤目現象」を軽減できます（34）。
	発光禁止
	フラッシュは発光しません。
	強制発光
	被写体の明るさに関係なく、フラッシュを発光します。逆光で撮影するときなどに使います。
	スローシンクロ
	強制発光モードにスロー（低速）シャッターを組み合わせて撮影します。夕景や夜景を背景にした人物撮影に適しています。フラッシュでメインの被写体を明るく照らすと同時に、遅いシャッタースピードで背景をきれいに写します。
	リアシンクロ
	シャッターが閉じる直前にフラッシュを強制発光します。動いている被写体の後方に流れる光や軌跡などを表現したいときなどに適しています。

フラッシュモードの設定方法

1 ⚡︎⊂（フラッシュポップアップ）ボタンを押す

内蔵フラッシュがポップアップします。

- 内蔵フラッシュを閉じているときは⊛（発光禁止）に固定されます。

2 ⚡︎（フラッシュモード）を押す

- 液晶モニターにフラッシュモードの設定メニューが表示されます。

3 マルチセレクターでモードを選び、Ⓞ ボタンを押す

- 設定したフラッシュモードが表示されます。
- ⚡AUTO（自動発光）にするとモニター情報表示（📷14）がONでも、⚡AUTO が数秒間で消えます。
- Ⓞボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

✔ 内蔵フラッシュの収納

- フラッシュを使わないときは、内蔵フラッシュをカチッと音がするまで手で軽く押し下げてください。

⚠ ⊛（発光禁止）にして撮影するときや、暗い場所で撮影するときのご注意

- 手ブレしやすくなるため、三脚などの使用をおすすめします。三脚などに固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（📖167）を［**OFF**］にしてください。
- 液晶モニターに ISO と表示されることがあります。ISO と表示されたときは、ISO感度が上がっているため、通常よりもざらついた画像になることがあります。

⚠ フラッシュ使用時のご注意

フラッシュを使用して撮影すると、フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して、画像の中に白い点のように写り込んでしまうことがあります。このようなときは、フラッシュモードを⊛（発光禁止）にするか、内蔵フラッシュを閉じて撮影するようおすすめします。

フラッシュランプについて

シャッターボタン半押し時に、フラッシュの状態を確認できます。

- 点灯：撮影時にフラッシュが発光します。
- 点滅：フラッシュが充電中のため、撮影できません。
- 消灯：撮影時にフラッシュは発光しません。

フラッシュモードの設定について

- フラッシュモードの初期設定は、撮影モードによって異なります。
  - 📷（オート撮影）モード：⚡AUTO（自動発光）
  - **P**、**S**、**A**、**M**モード：⚡AUTO（自動発光）
  - シーンモード：シーンによって異なります（📖42～48）
  - 動画の微速度撮影：⚡AUTO（自動発光）
- 📷（オート撮影）モードの場合、フラッシュモードの設定を ⚡◎（赤目軽減自動発光）にして撮影すると、電源をOFFにしても設定は記憶されます。
- 撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、フラッシュモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

赤目軽減自動発光について

このカメラは、「アドバンスト赤目軽減方式」を採用しています。
フラッシュが本発光する前に、少量発光を数回行い赤目現象の発生を軽減します。
さらに、カメラが撮影した画像を記録する前に赤目現象を検出したときは、赤目部分に補正を加えてから記録します。NRW (RAW) 画像で記録するときの赤目軽減処理は、本発光前の少量発光のみになります（JPEG同時記録時のJPEG画像を含む）。
撮影する際には、次の点にご注意ください。

- シャッターボタンを押してからシャッターがきれるまでに、通常よりも時間がかかります。そのため、シャッターチャンスを優先する撮影にはおすすめできません。
- 次の撮影ができるまでの時間は、通常よりも少し長くなります。
- 撮影状況によっては、望ましい結果を得られないことがあります。
- ごくまれに赤目以外の部分を補正することがあります。この場合は、他のフラッシュモードにして撮影し直してください。

関連ページ

別売のスピードライト（外付けフラッシュ）について→📖179

セルフタイマー /リモコンを使う

記念撮影などで自分も一緒に写りたいときや、シャッターボタンを押す操作による手ブレを軽減したいときは、セルフタイマーや別売のリモコン（ML-L3）を使うと便利です。セルフタイマー撮影やリモコン撮影時は、三脚の使用をおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（🔍167）を［**OFF**］にしてください。

セルフタイマー撮影

1 ⏲（セルフタイマー）を押す

- 液晶モニターにセルフタイマーの設定メニューが表示されます。

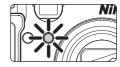
2 マルチセレクターで［⏲ **10s**］または［⏲ **2s**］を選び、OKボタンを押す

- ［⏲ **10s**］（10秒）：記念撮影などに適しています。
- ［⏲ **2s**］（2秒）：手ブレの軽減に適しています。
- 設定したセルフタイマーモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

3 構図を決め、シャッターボタンを半押しする

- ピントと露出が合います。

4 シャッターボタンを全押しする

- セルフタイマーが作動し、シャッターがきれるまでの秒数が液晶モニターに表示されます。作動中は、セルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- シャッターがきれると、セルフタイマーは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度シャッターボタンを押します。

リモコン撮影

別売のリモコン（ML-L3）が必要です。

1 セルフタイマーの設定メニュー（35の手順2）からマルチセレクターでリモコンモードを選び、OKボタンを押す

- ［ ］（瞬時リモコン）：リモコンの送信ボタンを押すと、すぐに撮影します。
- ［ **10s**］（10 秒リモコン）：リモコンの送信ボタンを押すと、約10秒後に撮影します。
- ［ **2s**］（2秒リモコン）：リモコンの送信ボタンを押すと、約2秒後に撮影します。
- 設定したリモコンモードが表示されます。
- OKボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

2 構図を決める

3 リモコンの送信部をカメラ前面のリモコン受光部に向けて送信ボタンを押す

- 5 m以内の距離で、送信ボタンを押してください。
- 瞬時リモコンでは、ピントが合うとすぐにシャッターがきれ、セルフタイマーランプが点灯します。
- 10秒または2秒リモコンでは、ピントが合うとセルフタイマーランプが点滅し、シャッターがきれる約1秒前になると、点灯に変わります。
- 10秒または2秒リモコンでは、シャッターがきれると、リモコンモードは［**OFF**］になります。
- セルフタイマーを途中で止めるときは、もう一度送信ボタンを押します。

フォーカスモードを使う

撮影目的に合わせて、次のフォーカスモードを選べます。

AF　通常AF

被写体までの距離に応じて自動的にピントを合わせます。レンズから50 cm以上離れた被写体を撮影するときに使います。

マクロAF

花や虫など小さな被写体の近接撮影に使います。
液晶モニターの マークが緑色で表示されているとき（ズーム位置が マークより広角側のとき）は、レンズ前約2 cmまでの被写体にピントを合わせられます。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。

遠景AF

窓越しの景色や風景、建物などを撮影するときに使います。
シャッターボタンを半押しすると、常にAFランプが緑色に点灯します。ただし、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。フラッシュモードは、（発光禁止）になります。

MF　マニュアルフォーカス

レンズ前約2 cm～無限遠（∞）の任意の被写体にピントを合わせることができます（39）。

各撮影モードで使用できるフォーカスモード

		P、S、A、M、U1、U2	SCENE	
AF（通常AF）	○※1	○※1	※2	○※1
（マクロAF）	○	○		○
（遠景AF）	○	○		○
MF（マニュアルフォーカス）	×	○		×

※1 各撮影モードの初期設定です。
※2 使用できるフォーカスモードと初期設定は、シーンによって異なります（42～49）。

フォーカスモードの設定について

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**の場合、変更したフォーカスモードの設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

フォーカスモードの設定方法

1 🌷/MF（フォーカスモード）を押す

- 液晶モニターにフォーカスモードの設定メニューが表示されます。

2 マルチセレクターでフォーカスモードを選び、Ⓚボタンを押す

- 設定したフォーカスモードが表示されます。
- AF（通常AF）にすると、AFが数秒間表示されます。
- Ⓚ ボタンを押さないまま数秒経過すると、選択はキャンセルされます。

マクロAFについて

マクロAFでは、カメラが自動的にAF（オートフォーカス）によるピント合わせを繰り返しますが、シャッターボタンを半押しするとピントを固定して、露出が決まります。
ただし、モードダイヤルが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のときは、［**AF-MODE**］（146）の設定が優先されます。

遠景AFについて

（オート撮影）モード、**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**モードで遠景AFに設定したときは、画面にAFエリアは表示されません。

マニュアルフォーカスでピントを合わせる

1 ✿/MF（フォーカスモード）を押して、フォーカスモードの設定メニューを表示する

- マルチセレクターで MF（マニュアルフォーカス）を選び、OK ボタンを押してください。

2 MF ボタンを押しながら、コマンドダイヤルを回してピント合わせをする

- 液晶モニターを見ながらピント合わせをします。
- 時計方向に回すと、遠くの被写体にピントが合います。
- 反時計方向に回すと、近くの被写体にピントが合います。

3 MF ボタンを離してマニュアルフォーカスの設定を終了する

- 画面上部に MF が表示され、設定したピントに固定されます。
- 設定したピントを変更するときは、手順2、3を繰り返します。

簡単な撮影と再生―オート撮影モードを使う

MF（マニュアルフォーカス）について

- シャッターボタンを半押しすると、おおよその被写界深度（被写体の前後のピントの合う範囲）を確認できます。
- 電子ズームは使えません。
- 液晶モニターをOFFにすると、フォーカスモードはAF（通常AF）になります。

露出を補正する

画像全体を明るくしたいときや暗くしたいときなどに使います。

1 （露出補正）を押す

- 液晶モニターに露出補正値が表示されます。
- モードダイヤルが**M**（マニュアル露出）のときは、露出補正ができません。

2 マルチセレクターの▲または▼を押して補正値を選ぶ

- 液晶モニターに露出補正のガイドが表示されます。
- 被写体が暗すぎるとき：補正値を＋側に設定してください。
- 被写体が明るすぎるとき：補正値を－側に設定してください。
- －2.0 EVから＋2.0 EVの範囲で1/3ステップごとに補正できます。

3 シャッターボタンを押して撮影する

- 手順2と3を繰り返して、補正値を少しずつずらしながら撮影することもできます。

4 OKボタンを押して露出補正の設定を終了する

- ［**0.0**］以外に設定すると、液晶モニターにマークと補正値が表示されます。
- 露出補正を解除するときは、OKボタンを押す前に補正値を［**0.0**］にするか、手順1と2の順に操作して補正値を［**0.0**］にしてください。

露出補正の設定について

撮影モード**P**、**S**、**A**の場合、露出補正の設定は、電源をOFFにしても記憶されます。

露出補正について

- 構図の大部分が非常に明るいとき（太陽が反射する水や砂、雪を撮影するときなど）、背景が被写体より明るすぎるときは、カメラが自動的に被写体を暗くする傾向があります。被写体が暗すぎるときは、露出補正値を「＋」側に設定してください。
- 構図の大部分が非常に暗いとき（暗い緑の森を撮影するときなど）、背景が被写体よりも暗すぎるときは、カメラが自動的に被写体を明るくする傾向があります。被写体が明るすぎるときは、露出補正値を「－」側に設定してください。

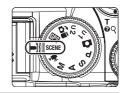
シーンモードを使う

次の撮影シーンを選ぶだけの簡単な操作で、そのシーンに合った撮影ができます。音声のみを録音する音声レコード機能も選べます。

ポートレート	パーティー	夜景	モノクロコピー
風景	海・雪	クローズアップ	逆光
スポーツ	夕焼け	ミュージアム	パノラマアシスト
夜景ポートレート	トワイライト	打ち上げ花火	音声レコード※

※「音声レコード機能を使う」(85)をご覧ください。

シーンモードの設定方法

1 モードダイヤルをSCENEに合わせる

2 MENUボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターでシーンを選んで、OKボタンを押す

3 構図を決めて撮影する

- フラッシュを使うシーンでは、(フラッシュポップアップ)ボタンを押して、内蔵フラッシュをポップアップしてから撮影してください。

コマンドダイヤルでシーンを選ぶ

MENUボタンを押すかわりに、上記の手順1でFnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても、シーンの切り換えができます。

画質と画像サイズの設定

シーンメニューで[**画質**](124)と[**画像サイズ**](126)を設定できます。ただし、シーンモードではNRW (RAW) 画像を記録できません。

シーンモードの種類と特徴

ポートレート

人物を美しく撮影したいときに使います。人物の肌をなめらかで自然な感じに仕上げます。

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について →145）。
- 複数の顔を認識したときは、最も カメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 電子ズームは使えません。

⚡	⚡◎※	⏲	OFF※	🌷/MF	AF	☒	0.0※

※ 変更できます。

風景

自然の風景や街並みなどを、色鮮やかに撮影したいときに使います。

- 遠景にピントが合います。シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプが緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

⚡	⊛	⏲	OFF※	🌷/MF	▲	☒	0.0※

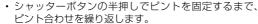
※ 変更できます。

説明で使われているマークについて

⚡は内蔵フラッシュをポップアップしているときのフラッシュモード（33）の設定です。⏲はセルフタイマー（35）、🌷/MFはフォーカスモード（37）、☒は露出補正（40）の設定です。

スポーツ

運動会などスポーツ写真を撮影するときに使います。動きのある被写体の一瞬の動きを連写（連続撮影）によって鮮明にとらえます。

- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。

- シャッターボタンを全押ししている間、約 0.9 コマ / 秒で最大 10 コマまで連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**4224 × 3168**］のとき）。ピントと露出、ホワイトバランスは 1 コマ目を撮影した条件に固定されます。
- 画質、画像サイズや SD カードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。
- 画面中央でピントを合わせます。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

[フラッシュ]	[発光禁止]	[セルフタイマー]	OFF	[マクロ]/MF	AF※1	[露出補正]	0.0※2

※1 MF（マニュアルフォーカス）に変更できます。
※2 変更できます。

夜景ポートレート

夕景や夜景をバックに人物を撮影するときに使います。人物と背景の両方を美しく表現します。

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について →145）。
- 複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
- 顔を認識しないときは、画面中央でピントが合います。
- 内蔵フラッシュをポップアップして撮影してください。
- 電子ズームは使えません。

[フラッシュ]	[赤目軽減スローシンクロ]※1	[セルフタイマー]	OFF※2	[マクロ]/MF	AF	[露出補正]	0.0※2

※1 赤目軽減スローシンクロ強制発光に固定されます。
※2 変更できます。

[三脚]：[三脚]がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（167）を［**OFF**］にしてください。
NR：NRがついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

🎉 パーティー

パーティー会場などでの撮影に使います。キャンドルライトなどの背景を活かして、雰囲気のある画像に仕上げます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 手ブレしやすいため、カメラをしっかり持ってください。暗い場所では、三脚などの使用をおすすめします。三脚などに固定して撮影するときは、［**手ブレ補正**］（🔍167）を［**OFF**］にしてください。

⚡	⚡👁 ※1	🕐	OFF ※2	🌷/MF	AF	☑	0.0 ※2

※1 赤目軽減スローシンクロに切り換わることがあります。変更できます。
※2 変更できます。

🏖 海・雪

晴天の海や砂浜、雪景色などを明るく鮮やかに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

⚡	⚡AUTO ※	🕐	OFF ※	🌷/MF	AF	☑	0.0 ※

※　変更できます。

🌅 夕焼け 🅃

赤い夕焼けや朝焼けの撮影に使います。

- 画面中央でピントを合わせます。

⚡	🚫⚡ ※	🕐	OFF ※	🌷/MF	AF	☑	0.0 ※

※ 変更できます。

🅃：🅃がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（🔍167）を［**OFF**］にしてください。

トワイライト

夜明け前や日没後のわずかな自然光の中での風景撮影に使います。

- 遠景にピントが合います。 シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプが緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ/MF	遠景	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

夜景

夜景の撮影に使います。スローシャッターで夜景の雰囲気を表現します。

- 遠景にピントが合います。 シャッターボタンを半押しすると、常に AF ランプが緑色に点灯します。ただし、ピントは遠景に合うため、近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※	マクロ/MF	遠景	露出補正	0.0※

※ 変更できます。

三脚：三脚マークがついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（167）を［**OFF**］にしてください。

NR：NRがついたシーンモードでは、自動的にノイズ低減を行うため、画像の記録時間が通常より長くなります。

クローズアップ

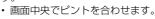
草花や昆虫、小さな被写体などの接写（近接撮影）に使います。

- フォーカスモード（37）が（マクロ AF）になり、ズームが自動的に最短距離で撮影可能な位置まで移動します。
- 液晶モニターの マークが緑色で表示されているとき（ズーム位置が マークより広角側のとき）は、レンズ前約 2 cm までの被写体にピントを合わせられます。最短撮影距離は、ズーム位置によって異なります。
- ［**AF エリア選択**］は［**マニュアル**］になり、ボタンを押すとピント合わせを行う AF エリアを選べます（144）。
- シャッターボタンの半押しでピントを固定するまで、ピント合わせを繰り返します。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（167）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。

フラッシュ	AUTO※	セルフタイマー	OFF※	マクロ/MF	マクロ	露出補正	0.0※

※ 変更できます。被写体から30 cm以上離れなければ、フラッシュの光が充分に行き渡らないことがありますのでご注意ください。

ミュージアム

フラッシュ撮影が禁止されている美術館など、フラッシュを発光させたくない場所で撮影するときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- BSS（ベストショットセレクター）（140）を使って撮影できます。
- 手ブレしやすいため、［**手ブレ補正**］（167）の設定を確認し、カメラをしっかり持ってください。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

フラッシュ	発光禁止	セルフタイマー	OFF※1	マクロ/MF	AF※2	露出補正	0.0※1

※1 変更できます。
※2（マクロAF）に変更できます。

シーンに合わせて撮影する

打ち上げ花火 [三脚]

スローシャッターで、打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

- 遠景にピントが固定されます。 シャッターボタンを半押しすると､常に AF ランプが緑色に点灯します。ただし､ピントは遠景に合うため､近くの被写体にはピントが合わないことがあります。
- 電子ズームは使えません。
- AF 補助光（168）の設定にかかわらず、AF 補助光は点灯しません。

⚡	⊘	⏲	OFF※	🌷/MF	▲▲	±	0.0

※ リモコンに変更できます。

モノクロコピー

ホワイトボードや印刷物などの文字を、シャープに撮影したいときに使います。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 近くのものを撮影するときは、フォーカスモード（37）の 🌷（マクロ AF）を併用してください。
- 赤色、青色などの被写体を撮影すると、文字などが薄くなることがあります。

⚡	⊘※1	⏲	OFF※1	🌷/MF	AF※2	±	0.0※1

※1 変更できます。
※2 🌷（マクロAF）に変更できます。

逆光

逆光状態での撮影に使います。内蔵フラッシュが常に発光し、人物が影にならずに美しく撮影できます。

- 画面中央でピントを合わせます。
- 内蔵フラッシュをポップアップして撮影してください。

⚡	⚡	⏲	OFF※	🌷/MF	AF	±	0.0※

※ 変更できます。

[三脚]：[三脚]がついたシーンモードでは、三脚などのご使用をおすすめします。三脚を使うときは、［**手ブレ補正**］（167）を［**OFF**］にしてください。

シーンに合わせて撮影する

パノラマアシスト

撮影した複数の画像をつなげて、パノラマ写真に合成したいときに使います。撮影した画像は、付属のソフトウェア「Panorama Maker」を使ってパソコンでパノラ マ写真に合成します。

- 画面中央でピントを合わせます。

フラッシュ	発光禁止※1	セルフタイマー	OFF※1	マクロ/MF	AF※2	露出補正	0.0※1

※1 変更できます。
※2 （マクロAF）または（遠景AF）に変更できます。

パノラマアシストを使った撮影方法

画面中央でピントを合わせます。三脚を使うと、構図を合わせやすくなります。三脚などに固定して撮影するときは［**手ブレ補正**］（167）を［**OFF**］にしてください。

1 **シーンメニューからマルチセレクターで［ パノラマアシスト］を選び、OKボタンを押す（41）**

- パノラマ方向（画像をつなげる方向）を示すマークが表示されます。

2 **マルチセレクターでパノラマ方向を選び、OK ボタンを押す**

- 右方向につなげるときは▷、左方向は◁、上方向は△、下方向は▽を選びます。
- 選んだ方向に黄色い▷▷マークが移動し、OKボタンを押すと方向を決定します。決定した方向の▷（白色）が表示されます。
- フラッシュモード（32）、セルフタイマー（35）、フォーカスモード（37）、露出補正（40）を設定したいときは、ここで設定してください。
- もう一度OKボタンを押すと、パノラマ方向を選び直せます。

3 一番端の被写体に構図を合わせ、1コマ目を撮影する

- 撮影した画像が、画面の約 1/3 の部分に半透明で表示されます。

4 2コマ目以降を撮影する

- 次の被写体の 1/3 が前の絵柄に重なるように構図を合わせて、シャッターボタンを押してください。
- この手順を繰り返して、必要な画像を撮影してください。

5 必要な画像を撮影し終わったら、OKボタンを押す

- 手順2の状態に戻ります。

パノラマアシストについてのご注意

- フラッシュモード、セルフタイマー、フォーカスモード、露出補正は、撮影開始前に設定してください。撮影開始後に設定の変更はできません。撮影開始後は、画質（124）、画像サイズ（126）の変更やズーム操作、画像の削除もできません。
- 撮影中にオートパワーオフ（169）による待機状態になると撮影が終了します。オートパワーオフの時間を長めに設定しておくことをおすすめします。

AE/AF-L表示について

パノラマアシストモードでは、1コマ目を撮影すると、画面にAE/AF-Lと表示されます。これは、露出、ホワイトバランスおよびピントがロック（固定）されたことを示しています。これによってパノラマ写真を構成するすべての画像を、同じ露出、ホワイトバランスとピントで撮影できます。

Panorama Maker について

Panorama Maker は、付属のSoftware Suite CD-ROMを使ってパソコンにインストールできます。撮影した画像をパソコンに転送して（91）、Panorama Maker でパノラマ写真に合成してください（94）。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

シーンに合わせて撮影する

P、S、A、Mモードについて

モードダイヤルを切り換えて、**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）の4種類の露出モードを使って撮影できます。シャッタースピードや絞りを自分で設定できるほか、撮影メニュー（◼121）でISO感度やホワイトバランスなどを変更して、さらに高度な撮影を楽しめます。

露出モード	内　容	こんなときに
P　**プログラムオート**（◼52）	シャッタースピードと絞り値の両方をカメラが自動的にセットします。同じ露出でシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えるプログラムシフト（◼52）もできます。	ほとんどの撮影状況に適しています。
S　**シャッター優先オート**（◼53）	設定したシャッタースピードに合わせて、カメラが自動的に絞り値をセットします。	動きの速い被写体を速いシャッタースピードで撮影したり、遅いシャッタースピードで動きを強調するときなどに使います。
A　**絞り優先オート**（◼54）	設定した絞り値に合わせて、カメラが自動的にシャッタースピードをセットします。	手前から奥まで鮮明に写したり、背景の描写をやわらげたいときなどに使います。
M　**マニュアル露出**（◼55）	シャッタースピードも絞り値も撮影者が自由に設定できます。	撮影意図に合わせて、露出をコントロールしたいときに使います。

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**でよく使う設定の組み合わせをモードダイヤル**U1**または**U2**に登録できます。モードダイヤルを**U1**または**U2**に合わせると、登録したよく使う設定の組み合わせで撮影ができます（◼58）。

露出について

シャッタースピードと絞り値を調整して、画像が意図した明るさ（露出）で撮影されるようにすることを「露出を合わせる」といいます。同じ露出の画像でも、シャッタースピードと絞りの組み合わせによって、撮影される画像の流動感や背景のぼかし具合などが変わってきます。ISO感度設定（138）を変えると、適正露出を得られるシャッタースピードと絞り値の範囲も変化します。

シャッタースピード　絞り値

速いシャッタースピードのとき
1/1000秒

遅いシャッタースピードのとき
1/30秒

絞りを開いたとき
（絞り値が小さいとき）
f/2.7

絞りを絞り込んだとき
（絞り値が大きいとき）
f/7.2

P（プログラムオート）

カメラが自動的にセットしたシャッタースピードと絞り値で撮影します。

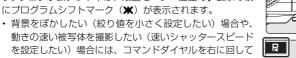
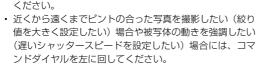
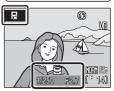
1　モードダイヤルを**P**に合わせる

2　構図を決めて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います（144）。

プログラムシフトについて

P（プログラムオート）で撮影中にコマンドダイヤルを回すと、露出値を変えずにシャッタースピードと絞り値の組み合わせを変えられます。これを「プログラムシフト」といいます。プログラムシフト中は、液晶モニター左上の**P**表示の横にプログラムシフトマーク（✱）が表示されます。

- 背景をぼかしたい（絞り値を小さく設定したい）場合や、動きの速い被写体を撮影したい（速いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを右に回してください。
- 近くから遠くまでピントの合った写真を撮影したい（絞り値を大きく設定したい）場合や被写体の動きを強調したい（遅いシャッタースピードを設定したい）場合には、コマンドダイヤルを左に回してください。

- プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトマーク（✱）が消えるまでコマンドダイヤルを回してください。モードダイヤルを切り換えたり、電源をOFFにしても、プログラムシフトを解除できます。

✔ シャッタースピードについてのご注意

［**連写**］（140）を［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］、［**マルチ連写**］にするか、［**ブラケティング**］（143）を［**OFF**］以外にすると、シャッタースピードが最長1/2秒までに制限されます。

S（シャッター優先オート）

シャッタースピードを設定して撮影します。

1 モードダイヤルを**S**に合わせる

2 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000～8秒）を設定する

3 ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います（144）。

S（シャッター優先オート）撮影時のご注意

- 被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、設定したシャッタースピードで撮影できないことがあります。このようなときは適切な露出が得られていないため、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターのシャッタースピード表示が点滅します。設定したシャッタースピードを変えてください。
- 1/4秒以上の低速シャッタースピードに設定すると、撮影画像にノイズが出ることがあります。このようなときは液晶モニターのシャッタースピード表示が赤色に点灯します。撮影メニューの［**ノイズ低減**］（148）を［**ON**］にするようおすすめします。

シャッタースピードについてのご注意

［**連写**］（140）を［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］、［**マルチ連写**］にするか、［**ブラケティング**］（143）を［**OFF**］以外にすると、シャッタースピードが最長1/2秒までに制限されます。

シャッタースピード1/2000秒について

1/2000秒のシャッタースピードは、ズームが広角側のときのみ設定できます。

A（絞り優先オート）

絞り値を設定して撮影します。

1　モードダイヤルをAに合わせる

2　コマンドダイヤルを回して、絞り値（開放絞り～最小絞り）を設定する

- 絞り値は、f/2.7～7.2（広角側）、f/5.9～7.7（望遠側）の範囲で設定できます。

3　ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います（144）。

A（絞り優先オート）撮影時のご注意

被写体が暗すぎたり明るすぎたりすると、設定した絞り値で撮影できないことがあります。このようなときは適切な露出が得られていないため、シャッターボタンを半押しすると、液晶モニターの絞り値表示が点滅します。設定した絞り値を変えてください。

シャッタースピードについてのご注意

［**連写**］（140）を［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］、［**マルチ連写**］にするか、［**ブラケティング**］（143）を［**OFF**］以外にすると、シャッタースピードが最長1/2秒までに制限されます。

絞りとズームについて

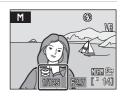
絞り値（F値）とはレンズの明るさを示す値で、レンズの焦点距離を有効口径（レンズの中にある絞りとそこを通る光の関係を数値化したもの）で割った数値のことをいいます。この数値が小さくなるに従って明るくなり、大きくなるに従って暗くなります。また、そのレンズの絞りの一番小さい数値を開放絞り値といい、一番大きい数値を最小絞り値といいます。このカメラのレンズ（6-24mm f/2.7-5.9）はズーム位置によって絞り値が変化します。望遠側にズームすると絞り値が大きくなり、広角側にズームすると絞り値が小さくなります。

M（マニュアル露出）

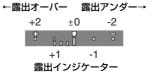
シャッタースピードと絞り値を設定して撮影します。

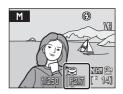
1 モードダイヤルを**M**に合わせる

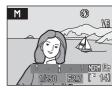
2 マルチセレクターの ▶ を押して、シャッタースピードを選ぶ

- マルチセレクターの▶を押すごとに、シャッタースピードと絞り値が交互に切り換わります。
- 1/4 秒以上の低速シャッタースピードの場合は、液晶モニターのシャッタースピード表示が赤色に点灯します（53）。

3 コマンドダイヤルを回して、シャッタースピード（1/2000～30秒）を設定する

- 設定したシャッタースピードと絞り値の組み合わせによる露出値と、カメラが測定した適正露出値の差が液晶モニターの露出インジケーターに数秒間表示されます。

- 設定された露出値とカメラの測光した適正露出値の差は、露出インジケーターに－2 EVから+2 EVの範囲で1/3段ごとに表示されます。
図は露出が1段オーバーのときの例です。

4 マルチセレクターの▶を押して、絞り値を選ぶ

P、S、A、Mで撮影する

5 コマンドダイヤルを回して、絞り値を設定する

- 必要に応じて、手順2〜5を繰り返してシャッタースピードと絞り値を調整します。

6 ピントを合わせて撮影する

- 初期設定では、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います（☞144）。

☑ シャッタースピードについてのご注意

- ［**連写**］（☞140）を［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］、［**マルチ連写**］にするか、［**ブラケティング**］（☞143）を［**OFF**］以外にすると、シャッタースピードが最長1/2秒までに制限されます。
- ［**連写**］を［**インターバル撮影**］にすると、シャッタースピードが最長 8 秒までに制限されます。
- ［**ISO感度設定**］（☞138）を［**1600**］以上に設定すると、シャッタースピードが最長8秒までに制限されます。

☑ シャッタースピード1/2000秒について

1/2000秒のシャッタースピードは、ズームが広角側のときのみ設定できます。

☑ ISO感度についてのご注意

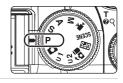
［**ISO感度設定**］（☞138）を［**オート**］（初期設定）、［**高感度オート**］または［**感度制限オート**］に設定していると、ISO感度はISO 64に固定されます。

白とびや黒つぶれを抑えて撮影する（アクティブ D-ライティング）

撮影の前にあらかじめ「アクティブ D-ライティング」を設定しておくと、ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減する効果があります。撮影した画像は、見た目のコントラストに近い仕上がりになります。暗い室内から外の風景を撮ったり、直射日光の強い海辺など明暗差の激しい景色を撮影するときに効果的です。撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**で［**画質**］（124）が、［**FINE**］、［**NORMAL**］、［**BASIC**］のときに使えます。

アクティブ D-ライティングの設定方法

1 モードダイヤルを**P**、**S**、**A**または**M**に合わせる

- **U1**または**U2**に合わせても設定できます。

2 MENU ボタンを押して撮影メニューを表示し、マルチセレクターで［**Active D-ライティング**］を選んで、OK ボタンを押す

3 効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- ［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］の3段階があります。
- アクティブD-ライティングの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**OFF**］のときは、何も表示されません）（8）。

アクティブ D-ライティングについてのご注意

- アクティブ D-ライティングで撮影する場合は、記録に時間がかかります。
- アクティブ D-ライティングを設定した場合、設定しないで撮影した場合よりも露出をアンダー側に制御して撮影します。階調が適切な明るさになるように、ハイライト部やシャドー部および中間調を調整します。
- アクティブ D-ライティングを設定したときは、［**測光方式**］（139）を［**マルチパターン**］に設定して撮影してください。
- COOLPIX ピクチャーコントロール（129）の［**コントラスト**］のレベル調整は同時に設定できません。
- ［**ISO感度設定**］（138）を［**高感度オート**］または［**1600**］以上に設定すると、［**Active D-ライティング**］は動作しません。

［Active D-ライティング］と［D-ライティング］の違い

［**Active D-ライティング**］は、撮影前に階調が適切に調整できるようにアンダー側に露出を制御して撮影します。一方、再生メニューの［**D-ライティング**］（68）は、撮影した画像に対して階調を適切に再調整します。

U1、U2（ユーザーセッティング）モードを使う

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**でよく使う設定の組み合わせをモードダイヤルの**U1**または**U2**に登録できます。
モードダイヤルを**U1**または**U2**に合わせると、登録した設定の組み合わせで撮影できます。
U1または**U2**には、以下の設定内容が登録できます。

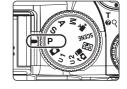
露出モードP/S/A/M（50）	画質（124）	調光補正（147）
（フラッシュモード）（32）	画像サイズ（126）	発光切り換え（147）
/MF（フォーカスモード）（37）	Picture Control（129）	NR ノイズ低減（148）
（露出補正）（40）	WB ホワイトバランス※5（136）	ゆがみ補正（148）
MF マニュアルフォーカスの距離※1（39）	ISO ISO感度設定（138）	ワイドコンバーター（149）
モニター表示（14）	測光方式（139）	Active D-ライティング（57）
ズーム位置（27）	連写（140）	
プログラムシフト※2（52）	BKT ブラケティング（143）	
シャッタースピード※3（53）	AFエリア選択※6（144）	
絞り値※4（54）	AF-MODE（146）	

※1 フォーカスモードがMF（マニュアルフォーカス）のときに登録できます。
※2 モードダイヤルが**P**のときに登録できます。
※3 モードダイヤルが**S**、**M**のときに登録できます。
※4 モードダイヤルが**A**、**M**のときに登録できます。
※5 プリセットマニュアルのプリセット値は、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**で共通です。
※6［**マニュアル**］にして選んだAFエリアの位置も登録されます。

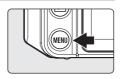
U1/U2に設定内容を登録する

1 登録したい露出モードにモードダイヤルを合わせる

- **P**、**S**、**A**または**M**に合わせてください。
- **U1**または**U2**に合わせても登録できます（ご購入時は、撮影モード**P**の初期設定が登録されています）。

P、S、A、Mで撮影する

2 撮影時の設定をよく使う組み合わせに変更する

3 MENUボタンを押す

- 撮影メニューが表示されます。

4 マルチセレクターで［**User Setting 登録**］を選んで、Ⓚボタンを押す

5 登録先を選んで、Ⓚボタンを押す

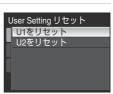
- 現在の設定内容が登録されます。
- 選んだ登録先の設定内容が上書きされます。

登録した設定内容をリセットする

リセットすると、登録された設定内容は、撮影モード**P**の初期設定に戻ります。

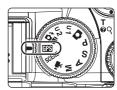
1 撮影メニュー画面で［**User Setting リセット**］を選んで、Ⓚボタンを押す

2 リセットする登録先を選んで、Ⓚボタンを押す

- 登録された設定内容がリセットされます。

撮影した画像に位置情報を記録する

GPS (Global Positioning System) は、衛星軌道上のGPS衛星からの電波を利用して、地球上のどこにいるかを測るシステムです。カメラ内蔵のGPSを使うと、GPS衛星から電波を受信して、現在の時刻と位置を計算します。位置を計算することを「測位」といいます。
測位した位置情報（緯度と経度）は、撮影する画像に記録できます。

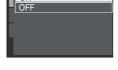
1 モードダイヤルをGPSに合わせる

- GPS衛星からの電波の受信を開始するときは、空のひらけた屋外で操作してください。
- GPS受信状態表示画面が表示されます。
- カメラの日時を設定していない場合は、GPS機能を使う前に設定してください（20、160、162）。日時が設定されていないときは、GPS機能を使えません。

2 MENUボタンを押す

- GPSメニューが表示されます。

3 ［位置情報記録機能］を選び、OKボタンを押す

4 ［ON］を選び、OKボタンを押す

- GPS衛星から電波を受信し、測位が始まります。
- はじめて［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしたときや、測位情報を最後に取得してから約2時間経過したときは、測位情報を取得するまでに数分かかることがあります。
- ［**位置情報記録機能**］の設定［**ON**］は、カメラの電源をOFFにしても記憶され、90分ごとに6回まで自動的に測位します。ただし、［**位置情報記録機能**］の設定を［**ON**］にしておくと、バッテリーの消耗は通常より早くなりますのでご注意ください。
- 航空機内や病院で電源をOFFにする必要があるときは、［**位置情報記録機能**］の設定も［**OFF**］にしてください。

5 **MENUボタンを押す**

- GPS受信状態表示画面に戻ります。
- 撮影する前に、測位状態を確認してください。測位状態については、下記の「GPS受信状態表示について」をご覧ください。

6 **モードダイヤルを撮影モードに合わせて撮影する**

- 電源をONにしている間､約5秒間隔で位置情報が更新されます。ただし、ズームレバーや各ダイヤルの操作中、または各ボタンを押している間は、位置情報が更新されません。
- シャッターボタンの半押し中に、位置情報は更新されません。撮影する画像には、半押ししたときに取得していた位置情報が記録されます。
  ただし、半押し中に［**記録有効時間**］（63）を超えたときは、画像に位置情報を記録できません。
- 撮影する前に、測位状態を確認してください。測位状態については、下記の「GPS受信状態表示について」をご覧ください。

GPS受信状態表示について

モードダイヤルをGPSに合わせたときに表示されるGPS受信状態は、以下の通りです。

測位状態：

GPS受信状態表示	撮影画面	内容
（白色）		4つ以上の衛星から受信して測位しています。 画像に位置情報が記録されます。
（白色）		3つの衛星から受信して測位しています。 画像に位置情報が記録されます。
（白色）		測位できていませんが､記録有効時間内です（63)。 最後に測位した位置情報が記録されます。
（赤色）		測位できない状態が、記録有効時間を超えました。 画像に位置情報は記録されません。

経過時間：
最後に測位してからの経過時間を表示します。

位置情報：
測位した位置の緯度と経度を表示します。

GPS衛星の位置と受信状態：
受信している衛星の番号、位置、受信状態を表示します。最大 12 個の衛星を表示します。灰色 → 黄色 → 青色の順に受信状態が良くなります。

GPSについてのご注意

- 測位できない状態が約2時間経過したときやバッテリーの交換をしたときは、測位情報を取得するまで数分かかります。
- GPS衛星の位置は常に変化しています。お使いになる場所や時間などによっては、測位に時間がかかったり、測位できないこともあります。GPSを使うときは、できるだけ空のひらけた場所でお使いください。GPSアンテナ部（7）を空に向けると受信しやすくなります。
- 以下のような電波を遮断、反射してしまう場所では、測位できなかったり、測位した位置が実際にいた場所と異なることがあります。
  - 建物の中や地下
  - 高層ビルの間
  - 高架の下
  - トンネルの中
  - 高圧電線などの近く
  - 密集した樹木の間
- 1.5 GHz帯を利用する携帯電話などを本機の近くで使うと、測位しにくくなることがあります。
- 測位しながら本機を持ち運ぶときは、金属製のカバンなどに入れないでください。金属製のものでおおうと測位できません。
- GPS衛星からの電波の誤差が大きい場合、最大で数百メートルの誤差を生じることがあります。
- 測位するときは、周りの状況や足もとにご注意ください。
- ［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしたまま電源をOFFにすると、90分ごとに6回まで測位します。測位中は、電源ランプが点滅します（液晶モニターは点灯しません）。約3分経過しても測位できないときは、その回の測位を中止します。
- カメラでの再生時に表示する撮影日、撮影時刻には、撮影時のカメラの内蔵時計の日時が記録されます。画像に記録した位置情報の取得時刻は、カメラでは表示できません。
- ［**連写**］（140）または［**ブラケティング**］（143）で撮影した画像には、1コマ目に撮影した位置情報が記録されます。連写撮影中に記録有効時間を超えると、それ以降の画像に位置情報は記録されません。
- 動画には、位置情報を記録できません。
- このカメラのGPS機能の測地系は、世界測地系（WGS84 : World Geodetic System 1984）です。

位置情報を記録した画像について

- 位置情報を記録した画像は、再生時にが表示されます（9）。
- 位置情報を記録した画像はパソコンに転送後、ViewNX (Ver. 1.2) を使って位置情報を地図上で確認できます。
- ViewNX (Ver. 1.2) は、Windows Vista Service Pack 1、Windows XP Service Pack 3およびMac OS X 10.5.4に対応しています。Windows 2000には対応していません。
- ViewNX (Ver. 1.2) は、インターネットを通じてダウンロードできます（「簡単操作ガイド」の「Nikon Transferをインストールしよう」をご覧ください）。
  ViewNXの使い方は、ViewNXの操作画面やヘルプをご覧ください。
- 画像ファイルに記録されているGPS情報や、取得した位置情報の精度および測地系の違いなどによって、実際の撮影地点と異なる場合があります。

GPSの設定を変更する（GPSメニュー）

GPSメニューで［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にすると、画像に位置情報を記録する「記録有効時間」を変更することや、位置情報を手動で更新できます。また、GPS衛星からの電波を使ってカメラの内蔵時計の日時も設定できます。

記録有効時間

測位できない状態が続いているときに撮影をすると、画像には最後に測位した位置情報を記録します。そのため、撮影した場所と記録した位置情報に誤差が生じることがあります。

［**記録有効時間**］を設定すると、撮影した場所との誤差を小さくできます。

記録有効時間は［**15 秒以内**］、［**30 秒以内**］、［**1 分以内**］（初期設定）、［**5 分以内**］、［**15 分以内**］、［**30 分以内**］、［**60 分以内**］または［**2 時間以内**］から選べます。

測位できない状態が、設定した記録有効時間を超えたときは、画像に位置情報を記録しません。（記録有効時間は、カメラの内蔵時計でカウントしています。内蔵時計の日時を修正すると、記録有効時間のカウントは、一時的にずれることがあります。）

位置情報更新

位置情報は通常、自動的に更新されますが、［**位置情報更新**］を使うと、手動で更新できます。この機能を使うと、最後に測位情報を取得してから長い距離を移動したときや長時間経過したときに、測位情報の取得にかかる時間を短くできることがあります。

1 マルチセレクターで GPS メニューから［**位置情報更新**］を選び、Ⓞボタンを押す

2 ［**はい**］を選び、Ⓞボタンを押す

- 位置情報の更新が始まります。
- 更新が終わると［**更新完了**］と画面に表示され、GPSメニューに戻ります。
- キャンセルするときは、［**いいえ**］を選んでください。

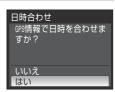
GPSを使う

日時合わせ

GPS衛星からの電波を使って、カメラの内蔵時計の日時を設定します。［**位置情報記録機能**］（🔍60）を［**ON**］にして、測位状態を確認してから、日時合わせをしてください。

1 マルチセレクターで GPS メニューから［**日時合わせ**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 ［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押す

- 日時合わせが始まります。
- 更新が終わると［**設定終了**］と画面に表示され、GPSメニューに戻ります。
- キャンセルするときは、［**いいえ**］を選んでください。

日時合わせについて

- ［**日時合わせ**］は、セットアップメニュー（🔍159）の［**日時設定**］（🔍162）で設定したタイムゾーンに合わせて日時を設定します。［**日時合わせ**］をする前にタイムゾーンの設定をご確認ください。
- ［**日時合わせ**］で設定した日時は、電波時計のように正確ではありません。［**日時合わせ**］で時刻が合わないときは、セットアップメニューの［**日時設定**］で設定してください。

複数の画像を一覧表示する（サムネイル表示）

再生モードの1コマ表示（30）でズームレバーを**W**（）方向に回すと、画像を一覧できる「サムネイル表示」になります。
サムネイル表示では、次の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
画像を選ぶ	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。	12
	コマンドダイヤル	コマンドダイヤルを回します。	–
表示コマ数を増やす（4→9→16コマ）	**W**（）	ズームレバーを**W**（）方向に回します。	–
表示コマ数を減らす（16→9→4コマ）	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。	
1コマ表示に戻る	OK	OKボタンを押します。	30
撮影モードに切り換える	▶ / シャッターボタン	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。	30

サムネイルに表示されるマーク

プリント指定（101）やプロテクト設定（156）をした画像の選択中は右のマークが表示されます。
動画は、映画フィルムの1コマのように表示されます。

画像を拡大表示する

再生モードの1コマ表示（📖30）でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、表示中の画像の中央部が拡大表示されます。

- 画面右下のガイドは、どの部分を表示しているかを示しています。

拡大表示では、次の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
拡大倍率を上げる	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回します。約10倍まで拡大できます。コマンドダイヤルを右に回しても拡大倍率が上がります。	–
拡大倍率を下げる	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。倍率が1倍になると、1コマ表示に戻ります。コマンドダイヤルを左に回しても拡大倍率が下がります。	–
表示範囲を移動する	マルチセレクター	マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、表示範囲を移動します。	12
1コマ表示に戻る	OK	OKボタンを押します。	30
画像の一部を切り抜く（トリミング）	MENU	拡大表示した部分だけを別画像として保存します。	69
撮影モードに切り換える	▶ / シャッターボタン	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。	30

顔認識して撮影した画像の場合

顔認識（📖145）して撮影した画像は、再生モードの1コマ表示でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、撮影時に認識した顔を中心に拡大表示されます。

- 複数の顔を認識していたときは、ピント合わせを行った顔を中心に拡大表示され、マルチセレクターの▲▼◀▶を押すと表示する顔が切り換わります。
- さらに**T**（Q）方向または**W**（▦）方向に回すと拡大率が変わり、通常の拡大表示になります。

画像を編集する

このカメラでは次の機能を使って画像を簡単に編集できます。編集した画像は元画像とは別の画像として、異なるファイル名で保存されます（180）。

編集の種類	内容
D-ライティング（68）	逆光やフラッシュの光量不足で暗くなった部分を明るく補正します。
トリミング（69）	画像の一部を切り抜きます。被写体をクローズアップしたいときや構図に手を加えたいときなどに使います。
スモールピクチャー（70）	小さいサイズの画像を作成します。メールに添付して送信するときなどに使います。
黒フレーム（71）	画像の周りに黒い枠を付けます。画像に境界線を付けたいときなどに使います。
NRW (RAW) 現像（72）	撮影したNRW (RAW) 画像をパソコンを使わずにカメラ内でRAW現像してJPEG画像を作成します。

画像編集を適用する際のご注意

- ［**画像サイズ**］（126）を［**3:2 4224×2816**］、［**16:9 4224×2376**］、［**1:1 3168×3168**］にして撮影した画像は、黒フレーム以外の編集ができません。
- NRW (RAW) 画像は、そのままではD-ライティング、トリミング、スモールピクチャー、黒フレームの編集ができません。NRW (RAW) 現像で作成したJPEG画像を編集してください。
- COOLPIX P6000以外で撮影した画像は、COOLPIX P6000で編集できません。
- COOLPIX P6000以外のデジタルカメラでは、COOLPIX P6000で編集した画像の正常な表示やパソコンへの転送ができないことがあります。
- 内蔵メモリー /SDカードに充分な空き容量がないときは、編集できません。

画像編集の制限

	2回目の編集			
1回目の編集	D-ライティング	トリミング	スモールピクチャー	黒フレーム
D-ライティング	×	○	○	×
トリミング	×	×	×	×
スモールピクチャー	×	×	×	×
黒フレーム	×	×	×	×

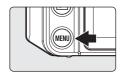
- 同じ画像編集を2回行うことはできません。
- D-ライティングと、トリミングまたはスモールピクチャーを組み合わせて編集するときは、D-ライティングを先に行ってください。
- 編集した画像に黒フレームは付けられません。

元画像と編集画像の関係について

- 編集で作成した画像は、元画像を削除しても削除されません。また、編集で作成した画像を削除しても、元画像は削除されません。
- 編集で作成した画像の撮影日時は、元の画像と同じです。
- プリント指定（101）やプロテクト設定（156）された画像を編集しても、これらの設定内容は編集で作成した画像に反映されません。

画像の暗い部分を明るく補正する（D-ライティング）

逆光やフラッシュの光量不足などで暗くなった被写体を、明るく補正できます。D-ライティングで補正した画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（30）またはサムネイル表示（65）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［D-ライティング］を選び、OKボタンを押す

- 補正前（左側）と補正後（右側）の見本が表示されます。
- 再生メニュー以外から再生タブを選んで再生メニューに切り換えたときは、［**D-ライティング**］を選ぶと画像選択画面（154）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 マルチセレクターの ▲▼ を押して効果の度合いを選び、OKボタンを押す

- ［**強め**］、［**標準**］、［**弱め**］の3段階があります。
- 補正画像が作成されます。
- D-ライティングを中止するときは、MENUボタンを押します。
- D-ライティングを行った画像は、再生画面でアイコンが表示されます。

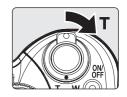
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

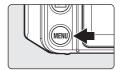
画像の一部を切り抜く（トリミング）

拡大表示（⊞66）中にMENU: ✂マークが表示されている画像は、液晶モニターに表示している部分だけにトリミング（切り抜き）できます。トリミングした画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（⊞30）でズームレバーをT（🔍）方向に回して、画像を拡大表示する

- 縦位置画像は、左右の黒い帯が見えなくなるまで画像を拡大するとトリミングできますが、トリミング画像は横位置になります。縦位置のトリミング画像を作るには［**画像回転**］（⊞157）で横位置にしてからトリミングし、再度トリミング画像を縦位置に戻します。

2 切り抜きたい部分だけが表示されるように調節する

- ズームレバーをT（🔍）またはW（⊞）方向に回して拡大率を調節します。
- マルチセレクターの▲▼◀▶を押して表示範囲を移動します。

3 MENUボタンを押す

4 マルチセレクターで［**はい**］を選び、Ⓚボタンを押す

- トリミング画像が作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

画像サイズについて

切り抜く範囲が狭くなるほど、トリミングで作成した画像の画像サイズ（ピクセル数）は小さくなります。トリミング後の画像サイズが320×240ピクセルまたは160×120ピクセルになった画像は、再生時にグレーの枠で囲まれ、画面左側にスモールピクチャーの◻または◻アイコンが表示されます。

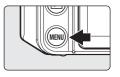
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→⊞180

小さいサイズの画像を作成する（スモールピクチャー）

撮影した画像から、小さいサイズの画像を新しく作ります。作成するスモールピクチャーの大きさは、次の3種類から選べます。スモールピクチャーは、元の画像とは別の画像（圧縮率約1/16）として保存されます。

種類	内容
640×480	テレビでの表示に適しています。
320×240	ホームページでの使用に適しています。
160×120	電子メールへの添付に適しています。

1 再生モードの1コマ表示（30）またはサムネイル表示（65）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［スモールピクチャー］を選び、OKボタンを押す

- 再生メニュー以外から再生タブを選んで再生メニューに切り換えたときは、［**スモールピクチャー**］を選ぶと画像選択画面（154）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 スモールピクチャーのサイズを選び、OK ボタンを押す

4 ［はい］を選び、OKボタンを押す

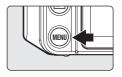
- スモールピクチャーが作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。
- スモールピクチャーで作成した画像は、グレーの枠で囲まれて表示されます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

画像の周りに黒い枠を付ける（黒フレーム）

撮影した画像の周りに黒い枠を付けます。黒い枠の太さは、［**細**］、［**中**］、［**太**］の3種類から選べます。黒い枠を付けた画像は、元の画像とは別の画像として保存されます。

1 再生モードの1コマ表示（30）またはサムネイル表示（65）で画像を選び、MENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［**黒フレーム**］を選び、OKボタンを押す

- 再生メニュー以外から再生タブを選んで再生メニューに切り換えたときは、［**黒フレーム**］を選ぶと画像選択画面（154）が表示されます。編集する画像を選び、OKボタンを押します。

3 黒い枠の太さを選び、OKボタンを押す

4 ［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- 黒い枠を付けた画像が作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

黒フレームについてのご注意

- 黒い枠は画像の上に重ねられるため、黒い枠の太さに応じて画像が削られます。
- 黒い枠を付けた画像をフチなしでプリントすると、黒い枠がプリントされないことがあります。

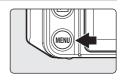
関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

再生機能を使いこなす

カメラでRAW現像する（NRW (RAW) 現像）

［**画質**］（🔍124）を［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］で撮影したNRW (RAW) 画像をカメラ内でRAW現像してJPEG画像を作成します。

1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［**NRW (RAW) 現像**］を選び、OKボタンを押す

3 マルチセレクターの◀▶を押してRAW現像する画像を選び、OKボタンを押す

- NRW (RAW) 現像メニューが表示されます。

4 ［**ホワイトバランス**］、［**露出補正**］、［**Picture Control**］、［**画質**］、［**画像サイズ**］をそれぞれ設定する

NRW (RAW) 現像
ホワイトバランス
露出補正 ±0
Picture Control
画像の保存
確認

- ズームレバーを **T**（Q）方向に回して画像を確認しながら、以下の設定をします。設定画面に戻るには、もう一度**T**（Q）方向に回します。
  - ［**ホワイトバランス**］：ホワイトバランスを設定できます（136）。
  - ［**露出補正**］：明るさを設定できます。
  - ［**Picture Control**］：画像の仕上がりを設定できます（129）。
  - ［**画質**］：画質を［**FINE**］、［**NORMAL**］、［**BASIC**］の中から選べます（124）。
  - ［**画像サイズ**］：画像サイズを設定できます（126）。［**4224×2816**］、［**4224×2376**］、［**3168×3168**］を選ぶと、画像はトリミングされます。
- ［**画質**］と［**画像サイズ**］は、▼を押して2ページ目を表示すると選べます。
- 設定を初期設定に戻すときは、［**初期値に戻す**］を選びます。
- 設定が完了したら、［**画像の保存**］を選びます。

5 ［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- NRW (RAW) 現像後のJPEG画像が作成されます。
- 作成をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

NRW (RAW) 現像についてのご注意

- COOLPIX P6000 で NRW (RAW) 現像できる画像は、COOLPIX P6000 で撮影したNRW (RAW) 画像だけです。
- ［**ホワイトバランス**］を［**プリセットマニュアル**］以外で撮影した画像では、NRW (RAW) 現像の［**ホワイトバランス**］で［**プリセットマニュアル**］は選べません。

関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意→128
記録データのファイル名とフォルダ名→180

画像に音声メモを付ける

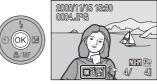
再生モードの1コマ表示（🔖30）で🆗:🎙マーク（音声メモ録音ガイド）が表示されている画像に、カメラのマイクを使って音声によるメモが付けられます。

音声メモを録音する

Ⓚボタンを押している間、約20秒まで音声メモを録音できます。

- 録音中は、カメラのマイクに触れないようにご注意ください。
- 録音中はRECと♪が点滅します。

音声メモを再生する

音声メモを録音した画像を1コマ表示して、Ⓚボタンを押すと音声メモが再生されます。再生が終わるか、もう一度Ⓚボタンを押すと再生が終了します。

- 音声メモ付きの画像には、🆗:♪（音声メモ再生ガイド）が表示されます。
- 再生中は、ズームレバー **T**（Q）/**W**（▦）で音量を調節できます。

音声メモを削除する

音声メモ付き画像を選んで🗑ボタンを押します。マルチセレクターで［♪］を選んでⓀボタンを押すと、音声メモだけを削除します。

✔ 音声メモについてのご注意

- 音声メモが付いた画像を削除すると、その画像に付けた音声メモも削除されます。
- すでに音声メモが録音されている画像には、音声メモを録音できません。録音内容を変更するときは、いったん音声メモだけを削除してから、もう一度音声メモを録音してください。
- COOLPIX P6000以外で撮影した画像には、COOLPIX P6000で音声メモを付けられません。

関連ページ

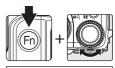
記録データのファイル名とフォルダ名→🔖180

特定の日付の画像を選ぶ

カレンダーモード、撮影日一覧モードにすると、撮影した日付を選んで画像を表示できます。1コマ表示にすると、通常の再生モードと同様に、拡大表示、画像の編集、音声メモの録音/再生または動画再生ができます。MENUボタンを押して、カレンダー/撮影日一覧メニューを表示すると、同じ日付の画像をまとめて削除したり、プリント指定やプロテクトなどを一度に設定できます。

カレンダーモードで日付を選ぶ

1 再生時にFnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して［カレンダー］を選ぶ

- Fn ボタンを離すと、カレンダーモードになります。

2 日付を選び、OKボタンを押す

- 撮影画像のある日付に黄色の下線が表示されます。黄色の下線がついている日付を選びます。
- ズームレバーをW（サムネイル）方向に回すと前の月、T（Q）方向に回すと次の月のカレンダーが表示されます。
- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1 コマ表示されます。
- 1 コマ表示の状態でズームレバーをW（サムネイル）方向に回すと、カレンダーに戻ります。

再生機能を使いこなす

撮影日一覧モードで日付を選ぶ

1 再生時に**Fn**ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して［**撮影日一覧**］を選ぶ

- **Fn** ボタンを離すと、撮影日一覧モードになります。
- 撮影画像のある日付が撮影日として一覧表示されます。

2 日付を選び、ⓚボタンを押す

- 表示される撮影日は最大29日分までです。撮影日が30日以上あると、［**過去画像**］として30日以降の画像がすべてまとめられます。

- 選んだ日に最初に撮影した画像が、1 コマ表示されます。
- 1コマ表示の状態でズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、撮影日一覧に戻ります。

カレンダーモード/撮影日一覧モードの操作

日付の選択画面では、次の操作ができます。

機能	ボタン	内容	📖
日付を選ぶ	(マルチセレクター)	カレンダーモードの場合は、マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。 撮影日一覧モードの場合は、マルチセレクターの▲▼を押します。 コマンドダイヤルを回しても日付を選べます。	12
前月を選ぶ（カレンダーモードのみ）	**W**（▦）	ズームレバーを**W**（▦）方向に回すと、前の月のカレンダーを表示します。	–
翌月を選ぶ（カレンダーモードのみ）	**T**（Q）	ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、次の月のカレンダーを表示します。	–
1コマ表示する	ⓞ	選んだ日付の画像を1コマ表示します。 1コマ表示から日付の選択画面に戻るには、ズームレバーを**W**（▦）方向に回します。	30
画像を削除する	🗑	選んだ日付の画像を、すべて削除します。表示される削除確認画面で［**はい**］を選びます。	30
カレンダー/撮影日一覧メニューを表示する	MENU	カレンダー/撮影日一覧メニューを表示します。	78
撮影モードに切り換える	▶ (シャッターボタン)	▶ボタンまたはシャッターボタンを押すと、モードダイヤルで選んでいるモードになります。	30

✔ カレンダーモード/撮影日一覧モードについてのご注意

- カレンダーモードと撮影日一覧モードで表示できる画像は、最新の画像から9,000コマまでです。9,001コマ目を含む日付の画像枚数表示には、「＊」マークが表示されます。
- 日時を設定せずに撮影した画像は、表示できません。

カレンダー /撮影日一覧メニュー

カレンダーモード/撮影日一覧モードでMENUボタンを押すと、選んだ日付の画像だけを対象とする以下のメニューが表示されます。

D-ライティング※	68
プリント指定	101
スライドショー	155
削除	156
プロテクト設定	156
画像回転※	157
非表示設定	157
スモールピクチャー※	70
黒フレーム※	71
NRW (RAW) 現像※	72

※1コマ表示時のみ

日付の選択画面（75、76）でMENUボタンを押すと、同じ日付の画像に同一の設定をまとめて行ったり、同じ日付の画像をまとめて削除できます。
画像ごとに設定を変更したり、削除する画像を選ぶときは、1コマ表示にしてからMENUボタンを押してください。

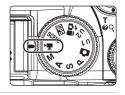
［プリント指定］についてのご注意

選んだ日付以外の画像がすでにプリント指定されていると、［**選択した日以外のプリント指定を残しますか？**］という確認画面が表示されます。［**はい**］を選ぶと、前回の設定内容に今回の設定内容が追加されます。［**いいえ**］を選ぶと、前回の設定は削除され、今回の設定だけが残ります。

動画を撮影する

動画（音声付き）を撮影できます。

1 モードダイヤルを🎥に合わせる

- 液晶モニターに、記録できる時間が表示されます。

2 シャッターボタンを全押しして、撮影を開始する

- ピントは画面中央にある被写体に合います。
- 液晶モニターで記録できる残り時間の目安を確認できます。

- 撮影を終了するには、もう一度シャッターボタンを全押しします。

✔ 動画撮影についてのご注意

- 露出補正（40）ができます。フォーカスモード（37）は、AF（通常AF）、🌷（マクロAF）または▲（遠景AF）を選べます。フラッシュ（32）は、微速度撮影のみで使えます。セルフタイマーは使えません。瞬時リモコン（36）が使えます（微速度撮影を除く）。
- 動画撮影中にフラッシュモード、フォーカスモードまたは露出補正の設定や変更はできません。撮影を開始する前に設定してください。
- 動画撮影を開始すると光学ズームは使えません。　電子ズームは動画撮影の開始前は使えませんが、微速度撮影以外の動画撮影中は2倍まで作動します。

✔ 動画の記録についてのご注意

撮影終了後、AFランプが点滅しているときは、動画の記録中です。バッテリー/SDカードカバーを開けないでください。動画の記録中にSDカードやバッテリーを取り出すと、動画が記録されないことや、撮影した動画やカメラ、SDカードが壊れることがあります。

動画撮影の設定を変更する

- 動画メニューで［**動画設定**］および［**AF-MODE**］を変更できます（80）。
- ［**動画設定**］が［**微速度撮影 640★**］のときは、動画に音声は付きません。

動画撮影の設定を変更する（動画メニュー）

動画メニューで［**動画設定**］および［**AF-MODE**］（81）を変更できます。動画モードで、MENUボタンを押して動画メニューを表示し、マルチセレクターで設定してください。

動画設定

撮影する動画の種類を選びます。

種類	画像サイズとフレーム数
TV再生 640★（初期設定）	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：30フレーム/秒
TV再生 640	画像サイズ：640×480ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒
カメラ再生 320	画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒
微速度撮影 640★（82）	自動的に一定間隔で静止画を連続撮影してから、その静止画をつないで動画として記録します。 花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。 音声は記録できません。 画像サイズ：640×480ピクセル 再生フレーム数：30フレーム/秒
セピア動画 320	セピア調の動画を撮影します。 画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒
白黒動画 320	白黒の動画を撮影します。 画像サイズ：320×240ピクセル 撮影フレーム数：15フレーム/秒

コマンドダイヤルで動画の種類を選ぶ

MENUボタンを押すかわりに、撮影画面でFnボタンを押しながらコマンドダイヤルを回しても動画の種類の切り換えができます。

動画の記録可能時間/フレーム数

種類	内蔵メモリー（約48 MB）	SDカード（256 MB）
TV再生 640★（初期設定）	43秒	約3分40秒
TV再生 640	1分26秒	約7分20秒
カメラ再生 320	2分50秒	約14分25秒
微速度撮影 640★（82）	513フレーム	動画1ファイルにつき1800フレーム
セピア動画 320	2分50秒	約14分25秒
白黒動画 320	2分50秒	約14分25秒

※ 数値はおおよその目安です。同じ容量でもSDカードの種類によって記録可能時間は異なります。このカメラで記録できる動画の最大容量は1ファイルにつき2 GBまでです。4 GB以上のSDカードを使用しても、カメラは最大2 GBまでの記録可能時間を表示します。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

AF-MODE

動画撮影時のオートフォーカスの方法を選びます。

種類	内容
シングルAF（初期設定）	シャッターボタンを半押しするとピント合わせを行い、半押ししている間はピントを固定（フォーカスロック）します。撮影中はそのピントで固定します。
常時AF	撮影中、常にピント合わせを繰り返します。 撮影中にカメラの動作音が録音されることがあります。動作音が気になるときは、［**シングルAF**］に設定して撮影することをおすすめします。

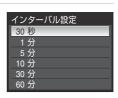
微速度撮影をする

花のつぼみが開く様子を早送りで観察したいときなどに便利です。

1 マルチセレクターで動画メニューから［**動画設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 ［**微速度撮影 640★**］を選び、Ⓚボタンを押す

3 撮影間隔を選び、Ⓚボタンを押す

- ［**30 秒**］、［**1 分**］、［**5 分**］、［**10 分**］、［**30 分**］または［**60 分**］から選べます。

4 MENUボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

5 シャッターボタンを全押しして、撮影を始める

- 撮影の合間は液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次の撮影時間になると、自動的に液晶モニターが点灯します。

6 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

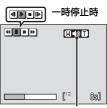
- 内蔵メモリー/SDカードの残量がなくなったとき、または撮影フレーム数が1800フレームに達すると、撮影が自動的に終了します。1800フレーム撮影した場合は、再生時間が60秒の動画になります。

微速度撮影についてのご注意

- フラッシュモード（32）、フォーカスモード（37）、露出補正（40）は、1フレーム目を撮影する前に設定してください。2フレーム目以降はすべて同じ設定で撮影されます。撮影開始後に設定の変更はできません。
- 途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ACアダプター EH-66を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX P6000へ電源を供給できます。EH-66以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- 微速度撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

動画を再生する

1コマ表示（A30）で動画設定（A80）のアイコンが表示されている画像が動画です。Ⓚボタンを押すと、再生できます。

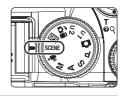
再生中はズームレバー **T**（Q）/**W**（▦）で音量を調節できます。
コマンドダイヤルを回すと早送り/巻き戻しできます。
マルチセレクターの◀▶を押して、画面上部の操作パネルのボタンを選ぶと、次の操作ができます。

機能	ボタン	内容	
巻き戻し	◀◀	Ⓚボタンを押している間、巻き戻します。	
早送り	▶▶	Ⓚボタンを押している間、早送りします。	
一時停止	❚❚	Ⓚボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中に画面上部の操作ボタンで、以下の操作ができます。	
		◀❚❚	Ⓚボタンを押すと、1コマ戻ります。押し続けると、連続してコマ戻しします。
		❚❚▶	Ⓚボタンを押すと、1コマ進みます。押し続けると、連続してコマ送りします。
		▶	Ⓚボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■	Ⓚボタンを押すと、1コマ表示に戻ります。	

動画ファイルを削除する

動画再生中や、1コマ表示（A30）、サムネイル表示（A65）で動画を選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。
［**はい**］を選んでⓀボタンを押し、動画ファイルを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

音声を録音する

音声レコードモードでは、ボイスレコーダーのように音声を内蔵メモリーやSDカードに録音できます。

1 モードダイヤルをSCENEに合わせる

2 MENUボタンを押してシーンメニューを表示し、マルチセレクターで［音声レコード］を選び、OKボタンを押す

- 液晶モニターに録音できる時間が表示されます。

3 シャッターボタンを全押しして録音を開始する

- 録音中はAFランプが点灯します。
- 録音開始後、カメラを操作しない状態が約30秒続くと、節電機能が働き、液晶モニターが消灯します。
- 音声録音中の操作→86

4 シャッターボタンを全押しして録音を終了する

- 内蔵メモリー /SD カードの残量がなくなったとき、または録音時間が 5 時間に達すると、録音が自動的に終了します。

関連ページ

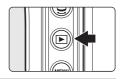
記録データのファイル名とフォルダ名→180

音声録音中の操作

機能	ボタン	内容
液晶モニターを点灯する	▶	液晶モニターが消灯しているときは、▶ボタンを押します。
録音を一時停止/再開する	ⓚ	ⓚボタンを押します。一時停止中は、AFランプが点滅します。
インデックス※を付ける		マルチセレクターの▲▼◀▶を押します。 インデックス（しおり）を付けると、再生時に聞きたい場所を見つけやすくなります。録音開始時のインデックスは01で、その後マルチセレクターを押すたびに、98までのインデックスを付けられます。
録音を終了する		シャッターボタンを全押しします。

※ パソコンにコピーした音声データは、QuickTime　などのソフトウェアで再生できますが、カメラで設定したインデックスは機能しません。

音声を再生する

1 音声レコード画面（85の手順3）で▶ボタンを押す

2 マルチセレクターで再生する音声レコードのデータを選び、Ⓚボタンを押す

- 音声が再生されます。

音声再生中の操作

音声レコードのデータ再生中は、ズームレバー **T**（Q）/**W**（▦）で音量を調節できます。
コマンドダイヤルを回すと早送り/巻き戻しできます。
マルチセレクターの◀▶を押して、画面上部の操作パネルのボタンを選ぶと、次の操作ができます。

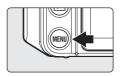
機能	ボタン	内容
巻き戻し	◀◀	ⓀⓀボタンを押している間、巻き戻します。
早送り	▶▶	ⓀⓀボタンを押している間、早送りします。
前のインデックスへ	⏮	ⓀⓀボタンを押すと、前のインデックスに戻ります。
次のインデックスへ	⏭	ⓀⓀボタンを押すと、次のインデックスに進みます。
一時停止	⏸ ▶	ⓀⓀボタンを押すと、一時停止します。 一時停止中に、ⓀⓀボタンを押すと、再生を再開します。
再生終了	■	ⓀⓀボタンを押すと、音声データ選択画面に戻ります。

音声データを削除する

音声の再生中に🗑ボタンを押すか、音声データ選択画面で削除する音声データを選んで🗑ボタンを押すと、削除確認画面が表示されます。［**はい**］を選んでⓀⓀボタンを押し、音声データを削除します。削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

音声データをコピーする

内蔵メモリーからSDカードに、またはSDカードから内蔵メモリーに、音声レコードで録音したデータをコピーできます。
カメラにSDカードを入れてから操作してください。

1 音声データ選択画面（87 手順2）で、MENUボタンを押す

2 マルチセレクターでコピーする方向を選び、OKボタンを押す

IN→SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
SD→IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

3 コピーの方法を選び、OKボタンを押す

- ［**選択データコピー**］→手順4
- ［**全データコピー**］→手順5

4 コピーするデータを選ぶ

- ▶を押してデータの選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- 複数のデータを選べます。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。

5 コピーを確認する画面が表示されたら、［はい］を選び、OKボタンを押す

- 音声データがコピーされます。

音声データコピーについてのご注意

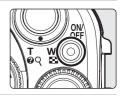
COOLPIX P6000以外で録音した音声データについては、音声データコピー機能の動作は保証しておりません。

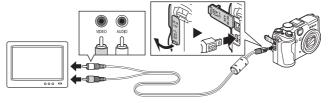
［音声データがありません］のメッセージについて

SDカードに音声レコードのデータが記録されていないときに▶ボタンを押すと（87 手順1）、［**音声データがありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと音声データコピー画面が表示され、内蔵メモリー内の音声データをSDカードにコピーできます。

テレビに接続する

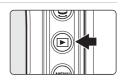
カメラを付属のオーディオビデオケーブル（AVケーブル）でテレビに接続すると、撮影した画像をテレビ画面で再生できます。

1 カメラの電源をOFFにする

2 カメラとテレビを接続する

- AVケーブルの黄色のプラグをテレビの映像入力端子に、白のプラグを音声入力端子に接続してください。

3 テレビの入力をビデオ入力（外部入力）に切り換える

- 詳しくはお使いのテレビの使用説明書をご覧ください。

4 カメラの▶ボタンを押し続けて電源をONにする

- カメラは再生モードになり、撮影した画像がテレビに表示されます。
- テレビとの接続中は、カメラの液晶モニターは消灯したままになります。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

画像がテレビに映らないときは

セットアップメニュー（159）→［**ビデオ出力**］（171）がお使いのテレビに合っているか確認してください。

パソコンに接続する

付属のUSBケーブルでカメラをパソコンに接続すると、ソフトウェア「Nikon Transfer」を使って、撮影した画像をパソコンに転送して保存できます。

カメラとパソコンを接続する前に

ソフトウェアをインストールする

カメラとパソコンを接続する前に、付属の Software Suite（CD-ROM）を使って、パソコンに「Nikon Transfer」やパノラマ写真を作成する「Panorama Maker」などのソフトウェアをインストールします。ソフトウェアのインストール方法は、簡単操作ガイドをご覧ください。

カメラを接続できるパソコンのOS

Windows

32 bit版のWindows Vista Service Pack 1（Home Basic/Home Premium/Business/Enterprise/Ultimate）、Windows XP Service Pack 3（Home Edition/Professional）

Macintosh

Mac OS X（version 10.3.9、10.4.11、10.5.4）

対応OSに関する最新情報は、当社ホームページのサポート情報でご確認ください。

電源についてのご注意

- パソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ACアダプター EH-66を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX P6000へ電源を供給できます。EH-66以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

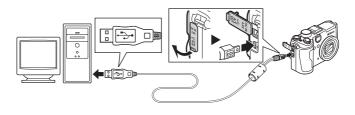
Windows 2000 Professionalをお使いの方へ

- カメラをパソコンに接続しないでください。
- カードリーダーなどの機器を使って、SD カードの画像をパソコンに転送してください（➡92）。
- カメラをパソコンに接続してしまった場合、パソコンに［**新しいハードウェアの検索ウィザードの開始**］と表示されたときは、［**キャンセル（中止）**］を選んで画面を閉じ、パソコンとの接続を外してください。

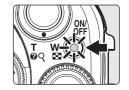
カメラからパソコンに画像を転送する

1 Nikon Transferがインストールされているパソコンを起動する

2 カメラの電源をOFFにする

3 付属のUSBケーブルで、カメラとパソコンを接続する

4 カメラの電源をONにする

電源ランプが点灯します。

- Windows Vista の場合：
  ［**自動再生**］ダイアログがパソコンに表示されたら、［**コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする－Nikon Transfer 使用**］をクリックし、Nikon Transferを起動します。
  常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［**このデバイスの場合は常に次の動作を行う**］にチェックマークを入れてください。
- Windows XP の場合：
  起動するプログラム（ソフトウェア）を選ぶ画面がパソコンに表示されたら、［**Nikon Transfer コンピュータにあるフォルダに画像をコピーする**］を選び、［**OK**］をクリックしてNikon Transferを起動します。常にNikon Transferで画像を転送する場合は、［**この動作には常にこのプログラムを使う**］にチェックマークを入れてください。
- Mac OS Xの場合：
  Nikon Transferのインストールで、［**自動起動の設定**］を［**はい**］にした場合は、パソコンでNikon Transferが自動起動します。

ケーブル接続時のご注意

- ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。
- USBハブに接続した場合の動作は保証しておりません。

5 Nikon Transferの起動が終わったら、画像を転送する

- Nikon Transferの［**転送開始**］ボタンをクリックします。記録されているすべての画像がパソコンに転送されます（Nikon Transferの初期設定）。

- 転送が終わると、転送先のフォルダが自動的に開きます（Nikon Transferの初期設定）。
- ViewNX をインストールした場合は、ViewNX が自動的に起動し、転送した画像を確認できます。
- Nikon TransferまたはViewNXの操作方法については、Nikon TransferまたはViewNXのヘルプをご覧ください。

6 転送が終わったら、カメラとパソコンの接続を外す

カメラの電源をOFFにして、USBケーブルを抜きます。

カードリーダーを使う

Nikon Transferは、カードリーダーなどの機器に入れたSDカード内の画像も転送できます。

- 2 GB以上のSDカードやSDHC規格のSDカードをお使いの場合は、カードリーダーなどの機器がそれらのSDカードに対応している必要があります。
- カードリーダーなどに SD カードを挿入すると、Nikon Transfer が自動起動します（Nikon Transferの初期設定）。「カメラからパソコンに画像を転送する」の手順5（93）を参照して、画像を転送してください。
- 内蔵メモリーのデータは、カメラでSDカードにコピーしてから（89、158）転送してください。

パソコンで画像を表示したり、音声を再生するには

- 画像を保存した転送先のフォルダを開き、OS付属のビューアなどで表示してください。
- NRW (RAW) 画像の再生については、「COOLPIX P6000のNRW (RAW) 画像について」（125）をご覧ください。
- 音声データは、QuickTimeなどで再生できます。

パノラマ写真に合成するには（Panorama Maker）

- シーンモードの［**パノラマアシスト**］機能（48）を使って撮影した画像を、Panorama Makerを使ってパノラマ写真に合成できます。
- Panorama Makerは、付属のSoftware Suite CD-ROMからインストールできます。
- Panorama Makerをインストールしたら、次のように起動します。

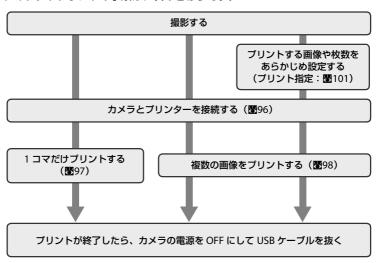
  Windows：
  ［**スタート**］から［**すべてのプログラム**］（Windows 2000は［**プログラム**］）→［**ArcSoft Panorama Maker 4**］→［**Panorama Maker 4**］の順にクリックしてください。

  Macintosh：
  ［**アプリケーション**］フォルダを開き、［**Panorama Maker 4**］をダブルクリックしてください。
- Panorama Makerの使い方は、Panorama Makerの操作画面やヘルプをご覧ください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

プリンターに接続する

PictBridge（🔍201）対応プリンターをお使いの場合は、パソコンを使わずに、カメラとプリンターを直接つないでプリントできます（ダイレクトプリント）。ダイレクトプリントの手順は、次のとおりです。

電源についてのご注意

- パソコン、プリンターなどと接続するときは、途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ACアダプター EH-66を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX P6000へ電源を供給できます。EH-66以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。

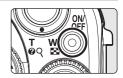
画像のプリント方法について

SDカードに記録した画像は、パソコンに転送したり、カメラをプリンターに接続してプリントする他に次の方法でプリントできます。

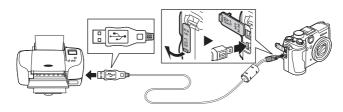
- カードスロットが付いたDPOF対応プリンターでプリントする。
- プリントサービス店にプリントを依頼する。

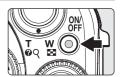
これらの方法でプリントするときは、プリントする画像やプリント枚数などを、再生メニューの［**プリント指定**］を使って、あらかじめSDカードに設定できます（🔍101）。

カメラとプリンターを接続する

1 カメラの電源をOFFにする

2 プリンターの電源をONにする

- プリンターの設定を確認してください。

3 付属のUSBケーブルで、カメラとプリンターを接続する

4 カメラの電源をONにする

- 正しく接続されると、カメラの液晶モニターに①の画面が表示された後、プリント画像選択画面②が表示されます。

ケーブル接続時のご注意

ケーブルは、端子の挿入方向を確認して無理な力を加えずに、まっすぐに差し込んでください。端子を引き抜くときも、まっすぐに引き抜いてください。

関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意→128

1コマだけプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（96）、次の手順でプリントしてください。

1 マルチセレクターでプリントする画像を選び、Ⓚボタンを押す

- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- ズームレバーを**W**（）方向に回すと12コマ表示に、**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に切り換わります。

2 ［**プリント枚数設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

3 プリント枚数（9枚まで）を設定し、Ⓚボタンを押す

4 ［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

5 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

6 ［**プリント実行**］を選び、Ⓚボタンを押す

7 プリントが始まる

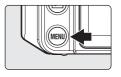
- プリントが終わると、手順1の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

複数の画像をプリントする

カメラとプリンターを正しく接続してから（96）、次の手順でプリントしてください。

1 プリント画像選択画面が表示されたら、MENUボタンを押す

- プリントメニュー画面が表示されます。

2 マルチセレクターで［**用紙設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

- プリントメニューを終了したいときは、MENUボタンを押します。

3 用紙サイズを選び、Ⓚボタンを押す

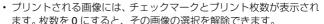
- プリンターの設定を優先したいときは、［**プリンターの設定**］を選びます。

4 ［**プリント選択**］、［**全画像プリント**］または［**DPOFプリント**］を選んで、Ⓚボタンを押す

プリント選択

プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定できます。

プリント画像選択
MENU戻る

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼ を押してプリント枚数を設定します。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。

- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を 0 にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを **T**（Q）方向に回すと 1 コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したら Ⓚ ボタンを押します。
- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

全画像プリント

SDカードまたは内蔵メモリー内のすべての画像を1枚ずつプリントできます。

- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

DPOFプリント

［**プリント指定**］（🔍101）であらかじめ指定しておいた画像をプリントできます。

- 表示される右の画面で、［**プリント実行**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと画像のプリントが始まります。
- ［**キャンセル**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、プリントメニューに戻ります。

- ［**画像の確認**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、どの画像をプリント指定したか確認できます。もう一度 Ⓚ ボタンを押すと、画像のプリントが始まります。

5 プリントが始まる

- プリントが終わると、手順2の画面に戻ります。
- プリントを途中で中止したいときは、Ⓚボタンを押します。

プリント中の枚数/総枚数

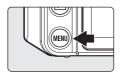
用紙設定について

用紙設定画面では、［**プリンターの設定**］以外に、［**L サイズ**］、［**2L サイズ**］、［**はがき**］、［**100×150 mm**］、［**4×6 in.**］、［**8×10 in.**］、［**Letter**］、［**A3 サイズ**］、［**A4 サイズ**］のうち、プリンターが対応している用紙サイズを表示します。

SDカードにプリントする画像や枚数を設定する（プリント指定）

DPOF（🔍201）対応のプリンターやプリントサービス店で画像をプリントする際は、どの画像を何枚プリントするかをあらかじめ指定できます。
プリント指定で設定した画像の選択やプリント枚数で、カメラをPictBridge対応プリンターに接続してプリントすることもできます。カメラからSDカードを取り外すと、内蔵メモリーに記録した画像にもプリント指定できます。

1 再生モードでMENUボタンを押す

- 再生メニューが表示されます。

2 マルチセレクターで［**プリント指定**］を選び、OKボタンを押す

3 ［**複数画像選択**］を選び、OKボタンを押す

4 プリントする画像と、それぞれのプリント枚数（各9枚まで）を設定する

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼を押してプリント枚数を設定します。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- プリントされる画像には、チェックマークとプリント枚数が表示されます。枚数を0にすると、その画像の選択を解除できます。
- ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。
- 設定が終了したらOKボタンを押します。

関連ページ

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意→🔍128

テレビやパソコン、プリンターに接続する

5 日付と撮影情報を画像に入れてプリントするかどうかを設定する

- ［**日付**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影日を印字します。
- ［**撮影情報**］を選んで Ⓚ ボタンを押すと、すべての画像に撮影情報（シャッタースピードと絞り値）を印字します。
- ［**選択終了**］を選んでⓀボタンを押し、設定を有効にします。

プリント指定を行った画像は、再生時の画面で確認できます。

日付と撮影情報を入れてプリントするときのご注意

プリント指定で設定した［**日付**］と［**撮影情報**］は、「日付」や「撮影情報」が印字可能なDPOF対応プリンター（201）で印字できます。

- 付属のUSBケーブルでカメラをプリンターに接続して「DPOFプリント」（100）するときは、「撮影情報」は印字できません。
- プリント指定を行った後、再び［**プリント指定**］を表示すると、［**日付**］と［**撮影情報**］の設定はリセットされますのでご注意ください。

プリント指定をすべて取り消すには

すべての画像に対するプリント指定を取り消すには、手順3で［**プリント指定取消**］を選びⓀボタンを押します。

日付のプリントについて

プリントされる日付は、撮影時点でカメラに設定されている日時です。撮影後にセットアップメニューの［**日時設定**］を変更してもプリントされる日付には反映されません。

［デート写し込み］について

セットアップメニューの［**デート写し込み**］（165）を使うと、画像に直接日付を写し込んで記録できます。「デート写し込み」した画像は、日付の印字に対応していないプリンターでも「日付」を入れてプリントできます。

デート写し込みした画像は、［**プリント指定**］で日付の印字を設定しても、デート写し込みした日付のみがプリントに表示されます。

LAN機能とmy Picturetownについて

カメラのLAN機能を使って「ピクチャーバンク」を利用できます。「ピクチャーバンク」を使うと、撮影した画像をインターネット上にあるmy Picturetownのサーバーに送信して保存できます。画像の送信には、インターネット接続ができるブロードバンドネットワーク環境と市販のLANケーブルが必要です。

my Picturetownとは

my Picturetownはインターネット上で画像を保存・共有するためのサービスです。保存容量は2 GBまで無料です。

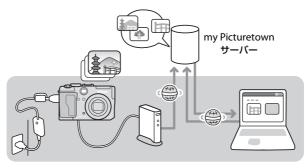
- カメラの LAN 機能やインターネットに接続したパソコンを使って画像を保存できます。
- 保存した画像をパソコンを使って簡単に整理できます。
  詳しくは、下記のmy Picturetownのホームページをご覧ください。
  http://mypicturetown.com/

ピクチャーバンクとは

撮影した画像や動画をmy Picturetownのサーバーに送信して保存するサービスです。保存した画像はいつでもパソコンにダウンロードできるので、自分専用の保存場所として利用できます。
画像を選択して送信する方法と、カメラにACアダプターとLANを接続するだけで自動的に全画像を送信する方法があります。一日の撮影を終え、夜寝る前にACアダプターとLANを接続すれば、朝には画像の送信とバッテリーの充電が完了しているので、日常的に撮影した画像の保存にも便利です。

- 音声レコードで録音したデータは送信できません。

LAN機能についてのご注意

LAN機能を使ってカメラとパソコンを接続することはできません。

セットアップの流れ

LAN機能を使ってmy Picturetownを利用するには、事前にカメラのネットワーク設定とmy Picturetownへのユーザー登録が必要です。ネットワーク設定は、カメラ本体を操作して設定します。

セットアップをする前に（環境を確認し、情報を用意する）（105）
LAN接続に必要なネットワーク環境を確認し、LAN接続に必要なネットワーク情報やmy Picturetownに必要なユーザー情報などを用意します。

ネットワーク設定

ネットワークへの接続設定をする（109）
カメラをLAN経由でインターネットに接続するためのネットワーク情報を設定します。

my Picturetownのユーザー情報を入力する（110）
my Picturetownの利用に必要な自分の電子メールアドレスなど（送信者設定）を入力します。

カメラ内のLAN情報を保護する（111）※
カメラにパスワードを設定します。

my Picturetownのサーバーに画像を送信する（117）
ピクチャーバンクを使って画像を送信します。送信が完了すると、送信者設定で入力したメールアドレスにmy Picturetownから登録案内のメールが送信されます。

my Picturetownにユーザー登録をする（114）
パソコンでmy Picturetownの登録案内のメールを受け取り、メールに記載されている登録用のホームページからカメラとユーザーの登録をします。登録後、my Picturetownから登録完了のメールを受け取ったらセットアップの終了です。

※カメラのパスワードは、あとからでも設定できます。

セットアップをする前に

LAN接続に必要な環境を確認する

必要なもの

- LANケーブル
  - カメラに接続するLANケーブルやスイッチングハブ、ブロードバンドルーターは、「100BASE-TX」に対応したものをお使いください。
- ADSLモデムや家庭用ルーター経由でインターネット接続ができるブロードバンドネットワーク環境
  - インターネット接続にプロキシサーバーを使っている場合は、my Picturetownを利用できません。
  - インターネット接続環境についての詳細やご不明な点は、ご契約のインターネットプロバイダー（ISP）にご確認ください。

インターネット接続に必要な情報を用意する

ネットワーク情報

カメラを接続するインターネット接続環境の設定を確認してください。カメラの［**ネットワーク接続設定**］（109）をするときに必要になります。
インターネット接続環境の設定は、契約プロバイダーから提供されている情報でご確認ください。

IPアドレス

ネットワーク上の通信機器1台ごとに割り振られる識別コードです。このカメラはIPアドレスの自動取得に対応しています。固定IPアドレスなどでネットワークを管理している場合は、カメラ用のIPアドレスの他、サブネットマスク、ゲートウェイ、プライマリDNS、およびセカンダリDNSをカメラに手動で入力します。

my Picturetownのユーザー情報

my Picturetownにユーザーとカメラの登録をするとき（114）や、画像送信後にmy Picturetownにログインするとき（120）は、以下の情報が必要です。

メールアドレス

my Picturetownには、パソコンで使っている自分の電子メールアドレスの登録が必要です。半角英数字と記号を使って64文字以内で設定します。携帯電話やPHSのメールアドレスは使えません。

- このメールアドレスに my Picturetown のユーザー登録案内のメールが届きます。
- 登録完了後は、my Picturetown にログインするときのログイン ID として使います。

ニックネーム

my Picturetownで使う自分のニックネームです。半角英数字と記号を使って16文字以内でお好みの名前を設定します。

パスワード

パソコンや携帯電話でmy Picturetownにログインするときに入力するパスワードです。半角英数字を使って4～10文字で設定します。

キー情報

カメラ1台ごとに固有に設定されている情報です。

- my Picturetown のユーザー登録ページで入力します。
- キー情報の調べ方 →114

カメラのパスワード

カメラにパスワード（半角数字4文字）を設定すると、第三者がカメラのLAN機能を使えないようにできます。同時に、カメラに保存した情報も保護できます。

設定方法→「カメラ内のネットワーク情報を保護する」（111）

カメラのネットワーク設定をする

カメラのネットワーク接続やユーザー情報を設定します。

ネットワーク設定の基本操作

ネットワーク設定メニューの表示方法

1 モードダイヤルを🏠に合わせる

- 画像選択画面が表示されます。

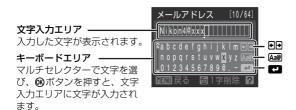
2 MENU ボタンを押す

- ネットワーク設定メニューが表示されます。

文字の入力方法

ニックネームやメールアドレス、パスワードなど、文字を入力する画面が表示されたときは、マルチセレクターを使って入力します。キーボードエリアの文字や◀▶、Aa@、↵を選ぶにはコマンドダイヤルを回すか、▲▼◀ ▶を押します。

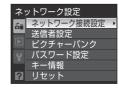
文字入力エリア
入力した文字が表示されます。

キーボードエリア
マルチセレクターで文字を選び、OKボタンを押すと、文字入力エリアに文字が入力されます。

- 文字入力エリアのカーソルがある位置に、入力した文字が挿入されます。
- 文字入力エリアのカーソルを移動するには、◀▶を選んでOKボタンを押します。
- 文字の種類を切り換えるには、Aa@を選んでOKボタンを押します。OKボタンを押すたびに、アルファベット小文字→アルファベット大文字→記号→アルファベット小文字…の順に切り換わります。また、コマンドダイヤルを右または左に回し続けることで、キーボードエリアを別の文字の種類に切り換えることもできます。画面左のスクロールバーで現在の位置が確認できます。
- 文字を削除するには、削除したい文字にカーソルを移動させ、🗑ボタンを押します。
- 入力した文字がすべて表示できないときは、ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、確認画面が表示されて入力した文字を確認できます。もう一度ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、入力画面に戻ります。
- 必要な文字をすべて入力したら、↵を選んでOKボタンを押してください。次の画面に進みます。

ネットワークへの接続設定をする

カメラをLAN経由でインターネットに接続できるようにします。接続するインターネット接続環境と同じ設定をカメラに入力します。

ネットワーク接続設定の方法

1 ネットワーク設定メニュー画面（107）で［**ネットワーク接続設定**］を選び、OKボタンを押す

2 IPアドレス（105）を設定する

- IP アドレスを自動取得する場合は、［**自動**］を選び、OKボタンを押します。
- 固定 IP アドレスを入力する場合は、［**手入力**］を選び、OKボタンを押します。順に表示される画面で［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**プライマリDNS**］、［**セカンダリDNS**］を入力します。
- ［**IPアドレス**］、［**サブネットマスク**］、［**ゲートウェイ**］、［**プライマリDNS**］、［**セカンダリDNS**］を入力するときは、3ケタずつ右詰めで入力してください。数値が正しく入力されていないと設定できません。
- 文字の入力方法は、「文字の入力方法」（108）をご覧ください。
- すべてのネットワーク接続設定が完了すると［**設定終了**］と画面に表示され、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。ネットワークの接続設定はこれで終わりです。

初めてこのカメラの LAN 機能をセットアップするときは、次に my Picturetownのユーザー登録に使う情報を入力します。「my Picturetownのユーザー情報を入力する」（110）に進んでください。

my Picturetownのユーザー情報を入力する

my Picturetownへのユーザー登録に使う情報を［**送信者設定**］で入力します。ここで入力する情報は、画像送信後にmy Picturetownにログインするときに必要になります。
すでにmy Picturetownに登録済みの場合は、my Picturetownで使っているメールアドレスとニックネームを入力してください（🔲116）。

1 ネットワーク設定メニュー画面（🔲107）で［**送信者設定**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 メールアドレス（半角英数字と記号で 64 文字以内）を入力する

- 携帯電話やPHSのメールアドレスは使えません。
- メールアドレスが正しいか、必ず確認してください。メールアドレスに誤りがあっても、サーバーからはエラーメッセージなどを送信してお知らせできません。
- 文字の入力方法は、「文字の入力方法」（🔲108）をご覧ください。

3 自分のニックネーム（半角英数字と記号で16文字以内）を決めて入力する

- ニックネームの入力が終わると、入力確認画面が表示されます。Ⓚボタンを押すと、カメラに設定が保存され、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

送信者設定が完了したら、「カメラ内のネットワーク情報を保護する」（🔲111）をご覧ください。

my Picturetownのユーザー情報の変更について

my Picturetownのユーザー登録が完了した後に、ピクチャーバンクで画像を送信すると、カメラではカメラ内のユーザー情報（送信者設定）の表示や変更ができなくなります（🔲115）。

カメラ内のネットワーク情報を保護する

盗難や紛失など不測の事態で、ネットワーク情報が第三者に漏れてしまうことを防ぐため、カメラにパスワードを設定できます。また、カメラを譲渡または廃棄するときに、設定した情報がカメラ内に残らないよう、すべての情報をリセットすることもできます。

カメラのパスワードを設定する

パスワードを設定すると、カメラでネットワーク設定やピクチャーバンクの操作をするときに、設定したパスワードの入力が必要になります。

1 **ネットワーク設定メニュー画面（****☞107****）で［パスワード設定］を選び、OKボタンを押す**

- パスワード設定画面が表示されます。

ネットワーク設定
ネットワーク接続設定
送信者設定
ピクチャーバンク
パスワード設定
キー情報
リセット

2 **［パスワード設定］を選び、OKボタンを押す**

3 カメラのパスワードを設定、または変更する

- パスワードを設定するときは、新しいパスワード画面でパスワード（半角数字4文字）を入力します。
- パスワードを変更するときは、現在のパスワード画面で現在のパスワードを入力します。そのあと新しいパスワード画面で新しいパスワードを入力します。
- いずれの場合もパスワードを確認するために、パスワード再入力画面が表示されます。パスワードを正しく入力してください。
- 文字の入力方法は、「文字の入力方法」（108）をご覧ください。
- パスワードの再入力が終わると、［**パスワードを設定しました**］と画面に表示され、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。

初めてこのカメラの LAN 機能をセットアップするときは、最後に my Picturetownへのユーザー登録が必要です。
まずピクチャーバンク（117）でmy Picturetownへ画像を送信してください。
画像送信後、「my Picturetownのユーザー情報を入力する」（110）で入力したメールアドレスにmy Picturetownから登録案内のメールが届きます。
ユーザー登録の詳細は「my Picturetownにユーザー登録をする」（114）をご覧ください。

パスワード入力について

カメラのパスワードを設定すると、ネットワーク設定の変更やピクチャーバンクで画像を選択して送信するときにパスワード入力画面が表示されます。
パスワードを入力して保護を解除してください。

カメラのネットワーク設定をリセットする

カメラのパスワードを含め、カメラに保存したネットワーク設定をすべてリセットします。リセットはパスワードを忘れたときなどに使いますが、カメラを他人に譲渡するときは必ずリセットするようにしてください。

1 ネットワーク設定メニュー画面（107）で［**リセット**］を選び、OKボタンを押す

- 確認画面が表示されます。

2 ［**はい**］を選び、OKボタンを押す

- ［**ネットワーク設定をリセットしました**］と画面に表示され、ネットワーク設定メニュー画面に戻ります。
- キャンセルするときは、［**いいえ**］を選んでください。

カメラのパスワードとネットワーク設定のリセットについて

- パスワードには、第三者に推測されやすい誕生日などを使わないようおすすめします。また、パスワードを忘れないようにご注意ください。
- ネットワーク設定をリセットせずに設定したパスワードを解除するには、「カメラのパスワードを設定する」の手順2で［**パスワード解除**］を選び、OKボタンを押してください。現在のパスワード画面で現在のパスワードを入力し、↵を選んでOKボタンを押すとパスワードを解除できます。
- カメラのネットワーク設定をリセットしたときは、再度my Picturetown のユーザー登録をする必要があります（114）。

my Picturetownにユーザー登録をする

my Picturetownをご利用いただくためには、ユーザー登録（会員登録）が必要です。

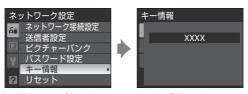
1 ユーザー登録するために、一度my Picturetownへ画像を送信する

- my Picturetownへ画像を送信する方法は、「ピクチャーバンクで画像を送信する」（117）をご覧ください。
- 画像を送信すると、my Picturetownのユーザー情報として入力したメールアドレスに登録案内のメールが届きます。

2 パソコンのメールソフトでmy Picturetownの登録案内のメールを受け取る

3 登録案内のメールに記載されたURLをクリックして、登録用ホームページからユーザー登録をする

- ユーザー登録時には次の項目を入力します。
  - ニックネーム（カメラの送信者設定に入力したニックネーム（110））
  - ログインID（カメラの送信者設定に入力したメールアドレス（110））
  - my Picturetownのパスワード
  - キー情報※

  ※ キー情報はカメラのネットワーク設定メニュー（107）で［**キー情報**］を選び、OKボタンを押すと表示されます。

- 登録方法の詳細は、受信した電子メールや、登録用ホームページに記載されている指示、手順をご覧ください。

4 my Picturetown登録完了のメールを受け取る

- 登録したメールアドレスに登録完了のメールが届きます。

これでLAN機能のセットアップは完了です。

ユーザー登録についてのご注意

- ユーザー登録はできるだけ早く行ってください。ユーザー登録をしないまま使っていると、カメラの盗難または紛失時に、仮のスペースに保存されている画像が第三者に渡るおそれがあります。
- ユーザー登録をするまでは、サーバーに画像を送信するたびに登録案内のメールが届きます。登録案内のメールが届かないときは、カメラの送信者設定に入力したメールアドレスが間違っている可能性がありますので、送信者設定を確認（110）し、もう一度画像を送信してください。
- my Picturetownのユーザー登録が完了して、画像を送信すると、カメラではカメラ内のユーザー情報（送信者設定）の表示や変更ができなくなります。また、カメラではmy Picturetownのパスワードは変更できません。登録後に変更が必要なときは、パソコンでWebブラウザーを使ってmy Picturetownにアクセスしてください。
- サーバーに一度でも画像を送信したことがあるカメラを譲渡または廃棄するときは、必ずmy Picturetownにユーザー登録をし、続けて、カメラのネットワーク設定をリセット（113）してから、譲渡、廃棄してください。
- 他人からカメラを譲渡されたときは、カメラのネットワーク設定をリセット（113）してからお使いください。

個人情報のセキュリティーを高めるには

LAN機能を使うと、カメラおよびサーバーに個人情報が保存されます。
盗難や紛失によりこれらの個人情報が第三者に漏れるのを防ぐには、カメラ内の情報はパスワード（111）で、サーバーの情報はユーザー登録することで保護できます。これらの保護対策は必ず行うことをおすすめします。

my Picturetownのホームページにアクセスするには

下記のホームページでmy Picturetownのサービス内容をご覧いただけます。
http://mypicturetown.com/

my Picturetownにカメラを登録するには

次の場合は、my Picturetownのサーバーにカメラを登録する必要があります。

- このカメラのLAN機能をセットアップする前にmy Picturetownにユーザー登録済みのとき（2台目のカメラのときなど）
- 譲渡の目的ではなくカメラのネットワーク設定をリセットしたとき（☞113）

以下の手順でカメラの登録をしてください。

1 カメラをインターネット接続するためのネットワーク接続環境を確認する（☞105）

2 カメラにネットワーク接続設定をする（☞109）

3 カメラにmy Picturetownのユーザー情報を入力する（☞110）

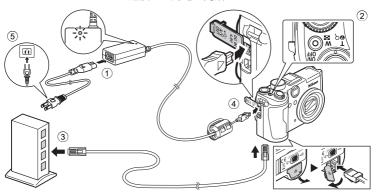
- my Picturetownで使っているメールアドレスとニックネームを入力してください。
- カメラに入力できないニックネームの場合は、任意の半角英数字または記号を入力してください（my Picturetownとは異なるニックネームをカメラに入力しても、my Picturetownで使っているニックネームが優先されます）。

4 my Picturetownのサーバーにカメラを登録する

- 一度、ピクチャーバンクで画像を送信すると、設定したメールアドレスにmy Picturetownの登録案内のメールが届きます。登録案内のメールに記載されているURLをクリックし、登録用のホームページにカメラのキー情報を入力して、カメラを登録してください（☞114）。my Picturetownのサーバーへのカメラの登録が終わると、メールアドレスに登録完了のメールが届きます。

ピクチャーバンクで画像を送信する

すべての画像を送信する

カメラにACアダプターとLANを接続すると、まだ送信されていない画像をmy Picturetownのサーバーに送信し、充電を開始します。

1 電源コードとACアダプターを接続する①

2 カメラの電源ランプが消灯していることを確認する②

- 電源をONにしないでください。電源がONになっていると、このピクチャーバンクサービスの機能は働きません。

3 LANケーブルでお使いのネットワーク機器とカメラを接続する③

4 ACアダプターをカメラのDC入力端子に接続する④

- 奥までしっかりと差し込んでください。

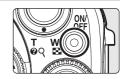
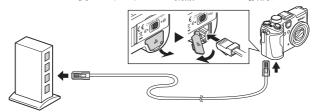
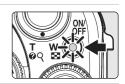
5 電源プラグをコンセントに差し込む⑤

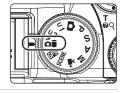
- カメラの電源がONになり、［**ピクチャーバンクサービスを開始します**］というメッセージが表示され、画像の送信が始まります（119）。
- 送信者設定がされていないときは、my Picturetownのユーザー情報に使う自分のメールアドレスとニックネームを入力します（110）。
- はじめてカメラでピクチャーバンクによる画像の送信をした後は、my Picturetownにユーザー登録をしてください（114）。

ACアダプターとLAN接続時の設定を変更する

ネットワーク設定メニュー（107）の［**ピクチャーバンク**］で、ACアダプターとLAN接続時の設定を変更できます。［**ON**］（初期設定）から［**OFF**］に変更すると、カメラの電源をOFFにしてACアダプターとLANを接続したときに、ピクチャーバンクへの送信をせず、バッテリーの充電だけを行います。

画像を選択して送信する

1 カメラの電源をOFFにする

2 LANケーブルでお使いのネットワーク機器とカメラを接続する

3 カメラの電源をONにする

4 モードダイヤルを📤に合わせる

- 送信者設定がされていないときは、my Picturetownのユーザー情報に使う自分のメールアドレスとニックネームを入力します（📖110）。
- 前回の転送が中断された場合→📖119

5 画像を選ぶ

- マルチセレクターの ◀▶ を押して画像を選び、▲▼を押して画像の選択（チェックマークあり）/選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
- コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- 画像は30コマまで選べます。
- ズームレバーを**T**（🔍）方向に回すと1コマ表示に切り換わり、**W**（▦）方向に回すと元に戻ります。
- 設定が終わったら㊊ボタンを押します。

6 画像を送信する

- ［**はい**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと、画像の転送が始まります。
- ［**いいえ**］を選んでⓀボタンを押すと、手順5の画面に戻ります。
- サーバーに接続中の画面、転送中の画面が順に表示されます。送信を途中で中止したいときは、Ⓚ ボタンを押します。
  転送が終わると、転送終了画面が表示されます。
  転送が終了したら、Ⓚボタンを押します※。
- はじめてカメラでピクチャーバンクによる画像の送信をした後は、my Picturetown にユーザー登録をしてください（114）。

※ ACアダプターとLANを接続してすべての画像をピクチャーバンクで送信した場合は、転送が終わると、自動的にカメラの電源がOFFになり、バッテリーの充電が始まります。

前回の転送が中断された場合

転送を中断した場合、次にモードダイヤルを に合わせると、再転送するかどうかを確認する画面が表示されます。［**はい**］を選ぶと中断していた転送を再開します。ACアダプターとLANを接続してすべての画像をピクチャーバンクで送信する場合（117）は、この画面は表示されず、未送信の画像をすべて転送します。

ピクチャーバンクで送信できる画像について

静止画（JPEG/NRW (RAW) 画像）や、音声メモを付けた静止画、動画を送信できます。音声レコードで録音したデータは送信できません。

ピクチャーバンク転送済み画像について

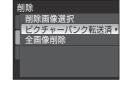
ピクチャーバンクでサーバーに送信した画像には、カメラの1コマ表示で が表示されます。この表示が付いている画像は、ACアダプターとLANの接続によるピクチャーバンクでは自動送信されません。サーバーから画像を削除してしまった場合など、もう一度送信したいときは、ピクチャーバンクモードで画像を選んでから送信してください（118）。

my Picturetownの画像を閲覧する

パソコンでWebブラウザーを使ってhttp://mypicturetown.com/にアクセスし、登録したログインID（メールアドレス）とパスワードを入力してログインすると［**マイフォト**］ページが表示されます。
［**マイフォト**］ページでは画像の整理、アルバム作成・共有、画像の送信、スライドショーの作成などができます。詳しくはmy Picturetownのヘルプをご覧ください。

携帯電話※でmy Picturetownを利用する場合は、携帯電話から
http://mypicturetown.com/にアクセスし、［**ログイン**］を選択して決定ボタンを押してください。［**ログイン**］ページが表示されるので、登録したログインID（メールアドレス）とパスワードを入力してログインしてください。
※NTTドコモFOMA、KDDI au WIN、SoftBank 3Gなどの3G携帯電話に対応しています。一部の機種では利用できないことがあります。

ピクチャーバンク転送済み画像の削除について

カメラの内蔵メモリーまたはSDカード内の画像からmy Picturetownのサーバーに送信した画像だけを撮影日ごとに削除できます。
my Picturetownにカメラとユーザーの登録が終わっていないときは、カメラの内蔵メモリーまたはSDカード内の画像を削除する前にユーザー登録をしてください（114）。
my Picturetown登録完了のメールを受け取ったら、送信した画像がmy Picturetownに保存されていることをパソコンで確認してから削除してください。

1 再生時に **Fn** ボタンを押しながらコマンドダイヤルを回して［**カレンダー**］または［**撮影日一覧**］を選ぶ
   • カレンダーモードまたは撮影日一覧モードになります。
2 日付を選び、OKボタンを押す
   • カレンダーモードまたは撮影日一覧モードの1コマ表示になります。
3 MENU ボタンを押し、カレンダー / 撮影日一覧メニューからマルチセレクターで［**削除**］を選んでOKボタンを押す
4［**ピクチャーバンク転送済**］を選んでOKボタンを押す
   • 削除画像選択画面になります。
   • マルチセレクターの◀▶を押して画像を選び、▲▼を押して選択（チェックマークあり）/ 選択解除（チェックマークなし）を切り換えます。
   • 設定が終わったらOKボタンを押します。
5 確認画面が表示されたら、［**はい**］を選んでOKボタンを押す
   • 選択した画像が削除されます。

撮影に関する設定—撮影メニュー

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**の撮影メニューには、次の項目があります。

画質※ 124

記録時の画質（画像の圧縮率）を選びます。

画像サイズ※ 126

記録時の画像の大きさを選びます。

Picture Control 129

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。

Custom Picture Control 134

COOLPIXピクチャーコントロールをもとに調整した、画（え）作りのカスタム設定を登録できます。

ホワイトバランス 136

画像を見た目に近い色で記録するように、光源に合わせてホワイトバランスを設定します。

ISO**感度設定** 138

被写体の明るさなどに応じて、ISO感度を設定します。

測光方式 139

カメラが被写体の明るさを測る方式を設定します。

連写 140

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。

ブラケティング 143

露出を少しずつずらした連続撮影を設定します。

AF**エリア選択** 144

画面のどの位置でピントを合わせるかを設定します。

AF-MODE 146

ピントの合わせ方を設定します。

調光補正 147

フラッシュの発光量を補正します。

発光切り換え 147

内蔵フラッシュを発光禁止にするかどうかを設定します。

ノイズ低減 148

低速のシャッタースピードで撮影したときに画像に入るノイズを低減します。

	ゆがみ補正	148
	ゆがみを補正するかどうかを設定します。	
	ワイドコンバーター	149
	別売のワイドコンバーターを使うときに、最適な設定で撮影ができるようにします。	
	Active D-ライティング	57
	ハイライトの白とびを抑え、暗部の黒つぶれを軽減し、見た目のコントラストに近い画像で撮影します。	
U1 U2	**User Setting 登録**	58
	変更した現在の設定内容をモードダイヤル**U 1**、**U 2**に登録します。	
U1 U2	**User Setting リセット**	59
	モードダイヤル**U 1**、**U 2**に登録した設定内容を初期設定にリセットします。	

※ その他の撮影モードのメニューでも設定できます（動画メニューを除く）。

同時に設定できない機能について

複数の機能を同時に設定できないことがあります（150）。

撮影メニューの表示方法

モードダイヤルを**P**（プログラムオート）、**S**（シャッター優先オート）、**A**（絞り優先オート）、**M**（マニュアル露出）または**U1**/**U2**（ユーザーセッティング1/2）に合わせます。MENUボタンを押して、撮影メニューを表示します。

- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（12）。
- 撮影メニューから撮影に戻るには、MENUボタンを押すか、シャッターボタンを押します。

メニューの操作について

マルチセレクターの▲▼を押すかわりに、コマンドダイヤルを回してもメニュー項目を選べます。

画質

記録する画像の圧縮率を選びます。
画質を高くするほど、画像の細部の描写が保たれますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。

FINE	FINE
	［**NORMAL**］よりも精細な画質になります。画像を拡大するときや、プリンターで細かく表現したいときなどに適しています。 ファイル形式：JPEG、圧縮率：1/4
NORM	NORMAL（**初期設定**）
	一般的な撮影に適した画質モードです。 ファイル形式：JPEG、圧縮率：1/8
BASIC	BASIC
	画質は［**NORMAL**］よりも低くなりますが、電子メールの添付やホームページ掲載に適しています。 ファイル形式：JPEG、圧縮率：1/16
NRW	NRW (RAW)※
	映像素子の生データを記録します。撮影後は、再生メニューの［**NRW (RAW) 現像**］（72）を使って、JPEG形式の画像を作成します。 ・［**NRW (RAW) 現像**］では、ホワイトバランスや COOLPIX ピクチャーコントロールの設定などを調整できます。 ・NRW (RAW) 画像は、そのままではプリントできません。［**NRW (RAW) 現像**］で JPEG 形式の画像を作成すると、PictBridge 対応プリンターやプリントサービス店でのプリントができます。 ファイル形式：NRW (RAW)
NRW+ FINE	NRW (RAW) + FINE※
	NRW (RAW)とFINEの2種類の画像を同時に記録します。
NRW+ NORM	NRW (RAW) + NORMAL※
	NRW (RAW)とNORMALの2種類の画像を同時に記録します。
NRW+ BASIC	NRW (RAW) + BASIC※
	NRW (RAW)とBASICの2種類の画像を同時に記録します。

※ オート撮影モード、**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**モードのときのみ選べます。シーンモードではNRW (RAW) 画像を記録できません。

画質の設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（8、9）。

COOLPIX P6000のNRW (RAW) 画像について

- 撮影した画像ファイルの拡張子は、「.NRW」になります。
- 撮影したNRW (RAW) 画像には、COOLPIXピクチャーコントロール（129）の設定は記録されません。NRW (RAW) 画像のCOOLPIXピクチャーコントロールは、撮影後に再生メニューの［**NRW (RAW) 現像**］（72）で設定できます。また、画質の設定が［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］の場合、COOLPIXピクチャーコントロールの設定は同時に記録したJPEG画像のみに適用されます。
- ゆがみ補正（148）は、画質の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは使えません。
- NRW (RAW) 画像は、そのままではD-ライティング（68）、トリミング（69）、スモールピクチャー（70）、黒フレーム（71）の画像編集ができません。画像編集するときは、［**NRW (RAW) 現像**］を使って作成したJPEG形式の画像を編集してください。
- パソコンでNRW (RAW) 画像を表示するには、Windows Vista Service Pack 1またはWindows XP Service Pack 3にViewNX (Ver. 1.2)とNRW Codecをインストールする必要があります。ただし、ViewNXでは、NRW (RAW) 画像のCOOLPIXピクチャーコントロールは設定できません。また、Capture NX、Capture NX 2やMac OS Xでは、NRW (RAW) 画像を扱えません。
- ViewNX (Ver. 1.2) と NRW Codec は、インターネットを通じてダウンロードできます（「簡単操作ガイド」の「Nikon Transferをインストールしよう」をご覧ください）。ViewNXの使い方は、ViewNXの操作画面やヘルプをご覧ください。

画質の設定について

- 電子ズームは、画質の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは使えません。
- アクティブD-ライティング（57）は、画質の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは使えません。
- オート撮影モード、シーンモードおよび**P**、**S**、**A**、**M**モードの画質設定は連動しています（マルチ連写（140）を除く）。
- シーンモードではNRW (RAW) 画像を記録できません。画質の設定が［**NRW (RAW)**］のときにシーンモードにすると、画質は［**NORMAL**］、画像サイズは［**4224×3168**］に切り換わります。［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］のときにシーンモードにすると、JPEG画像のみが記録されます。

関連ページ

記録可能コマ数→127
記録データのファイル名とフォルダ名→180

画像サイズ

記録する画像の大きさ（ピクセル数）を設定します。
画像サイズを大きくするほど、大きくプリントするのに適していますが、ファイルサイズが大きくなるため、記録できるコマ数は少なくなります。
サイズの小さい画像は、電子メールの添付やホームページ掲載に適しています。ただし、サイズが小さい画像を大きくプリントしようとすると、粒子の粗い画像になります。

画像サイズ	内容
4224×3168（初期設定）	［**3264×2448**］、［**2592×1944**］よりも詳細な画像になります。
3264×2448	ファイルサイズと画像のバランスが良く、一般的な撮影に適した画像サイズです。
2592×1944	
2048×1536	［**4224×3168**］、［**3264×2448**］、［**2592×1944**］よりも画像サイズが小さいため、より多く撮影できます。
1600×1200	
1280×960	
1024×768	パソコンのモニター表示に適した画像サイズです。
640×480	電子メールへの添付やホームページ掲載、テレビへの表示に適した画像サイズです。
4224×2816	35mm判フィルムカメラで撮影したときと同じ縦横比（3:2）の画像になります。
4224×2376	ワイドテレビと同じ縦横比（16:9）の画像になります。
3168×3168	正方形の画像になります。

画像サイズの設定は、撮影時や再生時の画面で確認できます（8、9）。

画像サイズの設定について

- オート撮影モード、シーンモードおよび**P**、**S**、**A**、**M**モードの画像サイズの設定は連動しています（マルチ連写（140）を除く）。
- ［**画質**］（124）の設定が［**NRW (RAW)**］のときは、画像サイズを設定できません。
- ［**画質**］の設定が［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、JPEG画像の画像サイズを設定できます。ただし、［**4224×2816**］、［**4224×2376**］、［**3168×3168**］は選べません。
- 記録されたNRW (RAW) 画像は［**NRW (RAW) 現像**］（72）で、作成するJPEG画像のサイズを選べます（最大4224×3168ピクセル）。

記録可能コマ数

それぞれの［**画像サイズ**］（126）と［**画質**］（124）の組み合わせで、内蔵メモリーや256 MBのSDカードに記録できるおおよそのコマ数は以下のとおりです。ただし、JPEG圧縮の性質上、画像の絵柄によって記録可能コマ数は大きく異なります。同じ容量のSDカードでも、カードの種類によって、記録可能コマ数が異なることがあります。

画像サイズ	画質	内蔵メモリー（約48 MB）	SDカード※1（256 MB）	プリント時のサイズ※2
4224×3168（初期設定）	FINE NORMAL BASIC NRW (RAW)	7コマ 14コマ 29コマ 2コマ	約35コマ 約75コマ 約145コマ 約10コマ	約36×27 cm ※3
3264×2448	FINE NORMAL BASIC	12コマ 24コマ 48コマ	約60コマ 約120コマ 約240コマ	約28×21 cm
2592×1944	FINE NORMAL BASIC	19コマ 38コマ 75コマ	約95コマ 約195コマ 約380コマ	約22×16 cm
2048×1536	FINE NORMAL BASIC	31コマ 60コマ 114コマ	約155コマ 約305コマ 約575コマ	約17×13 cm
1600×1200	FINE NORMAL BASIC	50コマ 96コマ 171コマ	約255コマ 約485コマ 約865コマ	約14×10 cm
1280×960	FINE NORMAL BASIC	77コマ 140コマ 256コマ	約390コマ 約705コマ 約1300コマ	約11×8 cm
1024×768	FINE NORMAL BASIC	114コマ 205コマ 342コマ	約575コマ 約1040コマ 約1730コマ	約9×7 cm
640×480	FINE NORMAL BASIC	256コマ 385コマ 616コマ	約1300コマ 約1950コマ 約3120コマ	約5×4 cm
4224×2816	FINE NORMAL BASIC	8コマ 16コマ 32コマ	約40コマ 約80コマ 約165コマ	約36×24 cm
4224×2376	FINE NORMAL BASIC	9コマ 19コマ 39コマ	約50コマ 約100コマ 約195コマ	約36×20 cm
3168×3168	FINE NORMAL BASIC	9コマ 19コマ 39コマ	約50コマ 約100コマ 約195コマ	約27×27 cm

※1 記録可能コマ数が10,000コマ以上の場合、画面には「9999」と表示されます。
※2 出力解像度を300 dpiに設定した場合のサイズです。
ピクセル数÷プリンター解像度（dpi）× 2.54 cm で計算しています。同じ画像サイズでも、高い解像度で印刷すると印刷サイズは小さくなり、低い解像度で印刷すると、印刷サイズは大きくなります。
※3 NRW (RAW) 画像のプリント時のサイズは、NRW (RAW) 現像（🔗72）したときの画像サイズによって異なります。

画像サイズ1:1の画像をプリントするときのご注意

画像サイズを「1:1」にして撮影した画像をプリントするときは、プリンターの設定を「フチあり」にしてください。
プリンターによっては、画像を1:1の縦横比でプリントできない場合があります。
詳しくは、お使いのプリンターの使用説明書またはプリントサービス店などでご確認ください。

Picture Control（COOLPIX ピクチャーコントロール）

撮影状況や好みに合わせて、記録する画像の画（え）作りを設定できます。輪郭強調の度合い、コントラスト、色の濃度（彩度）を細かく調整することもできます。

スタンダード（初期設定）	
	鮮やかでバランスのとれた標準的な画像になります。ほとんどの撮影状況に適しています。
ニュートラル	
	素材性を重視した自然な画像になります。撮影後に画像を加工したいときに適しています。
ビビッド	
	メリハリのある生き生きとした色鮮やかな画像になります。青、赤、緑など、原色の色を強調したいときに適しています。
モノクローム	
	白黒やセピアなど、単色の濃淡で表現した画像になります。
カスタム 1※	
	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで［**カスタム 1**］に登録した設定にします。
カスタム 2※	
	COOLPIXカスタムピクチャーコントロールで［**カスタム 2**］に登録した設定にします。

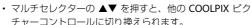
※［**Custom Picture Control**］（134）でカスタマイズした設定を登録したときのみ表示されます。

COOLPIX ピクチャーコントロールの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**スタンダード**］のときは、何も表示されません）（8）。

COOLPIXピクチャーコントロールについてのご注意

- ［**Active D-ライティング**］（57）が［**OFF**］以外のときは、「手動調整」の［**コントラスト**］（132）を調整できません。
- 撮影したNRW (RAW) 画像には、COOLPIXピクチャーコントロールの設定は記録されません。NRW (RAW) 画像のCOOLPIXピクチャーコントロールは、撮影後に再生メニューの［**NRW (RAW) 現像**］（72）で設定できます。また、［**画質**］（124）の設定が［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］の場合、COOLPIXピクチャーコントロールの設定は同時に記録したJPEG画像のみに適用されます。
- ViewNXでは、NRW (RAW) 画像のCOOLPIXピクチャーコントロールは設定できません。
- COOLPIX P6000 の COOLPIX ピクチャーコントロール機能は、他のカメラ、Capture NX、Capture NX 2およびViewNXのピクチャーコントロール機能と相互利用はできません。

COOLPIXピクチャーコントロールのバー表示

COOLPIXピクチャーコントロールの一覧画面でズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、コントラストまたは色の濃さ（彩度）のバー表示に切り換わります。もう一度**T**（Q）方向に回すと、一覧画面に戻ります。
バー表示では、現在の設定値と初期設定値が表示され、他のCOOLPIXピクチャーコントロールとの関係がわかります。

- マルチセレクターの ▲▼ を押すと、他の COOLPIX ピクチャーコントロールに切り換えられます。
- ◀▶を押すと、コントラストと色の濃さ（彩度）を切り換えます。
- ⓀボタンをOKボタンを押すと調整画面（131の手順2）が表示されます。

COOLPIXピクチャーコントロールのカスタマイズ：クイック調整と手動調整

COOLPIXピクチャーコントロールは、輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）などの画（え）作りの要素をバランス良くまとめて調整できる「クイック調整」と、要素ひとつひとつを細かく調整できる「手動調整」でカスタマイズできます。

1 マルチセレクターでCOOLPIXピクチャーコントロールを選び、Ⓚボタンを押す

2 ▲▼を押して調整する項目を選び、◀▶を押して値を設定する

3 Ⓚボタンを押す

- 値が設定されます。
- ［**リセット**］を選んでⓀボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

COOLPIXピクチャーコントロールを調整した場合の表示について

COOLPIXピクチャーコントロールを調整すると、アイコンと項目名の末尾にアスタリスク（＊）が表示されます。

クイック調整※1

輪郭強調、コントラスト、色の濃さ（彩度）のレベルを自動的に調整します。［**－2**］～［**＋2**］まで5段階の調整ができます。
－側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を抑えた画像になり、＋側にするとそれぞれのCOOLPIXピクチャーコントロールの特徴を強調した画像になります。
初期設定は［**0**］です。

輪郭強調

画像の輪郭の強調度合い（シャープネス）を設定します。自動で調整する［**A**］（オート）と、［**0**］（輪郭強調しない）～［**6**］まで7段階の調整ができます。数字が大きいほどくっきりとした画像になり、小さいほどソフトな画像になります。
初期設定は［**スタンダード**］または［**モノクローム**］のとき［**3**］、［**ニュートラル**］のとき［**2**］、［**ビビッド**］のとき［**4**］です。

コントラスト

画像の階調（コントラスト）を設定します。自動で調整する［**A**］（オート）と、［**－3**］～［**＋3**］まで7段階の調整ができます。
－側にすると軟調な画像になり、＋側にすると硬調な画像になります。晴天時の人物撮影や白とびが気になる場合などは－側が、かすんだ遠景の撮影などには＋側が適しています。
初期設定は［**0**］です。

色の濃さ (彩度)※2

画像の色の鮮やかさを設定します。自動で調整する［**A**］（オート）と、［**－3**］～［**＋3**］まで7段階の調整ができます。
－側にすると鮮やかさが抑えられ、＋側にするとより鮮やかになります。
初期設定は［**0**］です。

フィルター効果※3

白黒写真用カラーフィルターを通して撮影したときのような効果が得られます。フィルター効果は［**OFF**］（初期設定）、［**Y**］（黄色）、［**O**］（オレンジ）、［**R**］（赤）、［**G**］（緑）から選べます。
［**Y**］、［**O**］、［**R**］：
コントラストを強調する効果があり、風景撮影で空の明るさを抑えたい場合などに使います。［**Y**］→［**O**］→［**R**］の順にコントラストが強くなります。
［**G**］：
肌の色や唇などを落ち着いた感じに仕上げます。ポートレート撮影などに使います。

調色※3

印画紙を調色したときのように、画像全体の色調を調整できます。調色は［**B&W**］（白黒）（初期設定）、［**Sepia**］（セピア調）、［**Cyanotype**］（青写真）から選べます。
［**Sepia**］または［**Cyanotype**］を選んでマルチセレクターの▼を押すと、さらに色の濃淡を7段階から選べます。◀▶を押して選んでください。

※1［**ニュートラル**］、［**モノクローム**］、［**カスタム 1**］または［**カスタム 2**］の場合は、クイック調整できません。
手動調整した後にクイック調整をすると、手動調整で設定した値は無効になります。
※2［**モノクローム**］の場合は、表示されません。
※3［**モノクローム**］のときのみ表示されます。

輪郭強調についてのご注意

輪郭強調の効果は、撮影時の画面では確認できません。画像を再生して確認してください。

［コントラスト］についてのご注意

［**Active D-ライティング**］（57）が［**OFF**］以外のときは、［**コントラスト**］にが表示され、調整はできません。

［コントラスト］、［色の濃さ (彩度)］の［A］（オート）についてのご注意

- 同じような状況で撮影しても、被写体の位置や大きさ、露出によって、仕上がり具合は変化します。
- ［**コントラスト**］または［**色の濃さ (彩度)**］に［**A**］（オート）が設定されたCOOLPIXピクチャーコントロールは、バー表示時のときに設定値が緑色で表示されます。

COOLPIXピクチャーコントロール調整時のバー表示

COOLPIXピクチャーコントロールの［**コントラスト**］または［**色の濃さ (彩度)**］を調整中にズームレバーを**T**（Q）方向に回すと、バー表示に切り換わり、他のCOOLPIXピクチャーコントロールとの関係がわかります。もう一度**T**（Q）方向に回すと、調整画面に戻ります。

［カスタム 1］、［カスタム 2］で調整できる項目について

［**カスタム 1**］または［**カスタム 2**］を選んだ場合は、元になったCOOLPIXピクチャーコントロールの項目が調整できます。

Custom Picture Control（COOLPIXカスタムピクチャーコントロール）

カメラに搭載されたCOOLPIXピクチャーコントロール（129）をもとに、カスタマイズして調整した画作り設定を「COOLPIXカスタムピクチャーコントロール」として登録できます。

COOLPIXカスタムピクチャーコントロールを登録する

1 マルチセレクターで［**編集と登録**］を選び、OKボタンを押す

2 元にするCOOLPIXピクチャーコントロールを選び、OKボタンを押す

3 ▲▼を押して調整する項目を選んで、◀▶を押して値を設定する

- 項目の内容は COOLPIX ピクチャーコントロールの調整と同じです。
- OKボタンを押して、登録先の選択画面を表示します。
- ［**リセット**］を選んでOKボタンを押すと、調整値は初期設定に戻ります。

4 登録先を選んで、OKボタンを押す

- COOLPIX カスタムピクチャーコントロールが登録されます。
- 登録すると、［**Picture Control**］および［**Custom Picture Control**］の選択画面で［**カスタム 1**］または［**カスタム 2**］を選べるようになります。

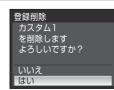
撮影、再生、セットアップメニューを使う

COOLPIXカスタムピクチャーコントロールを削除する

1 マルチセレクターで［**登録削除**］を選び、Ⓞボタンを押す

2 削除する COOLPIX カスタムピクチャーコントロールを選び、Ⓞボタンを押す

3 ［**はい**］を選び、Ⓞボタンを押す

- 登録が削除されます。
- 削除をやめるときは、［**いいえ**］を選びます。

WB ホワイトバランス

人間の目には、晴天、曇り空、白熱電球や蛍光灯の室内など、光源の色に関係なく白い被写体は白く見えます。人間の目に白く見える色を、デジタルカメラで白く撮影するには、光源の色に合わせて調整が必要です。この調整を「ホワイトバランスを合わせる」といいます。

初期設定の［**オート**］でほとんどの光源に対応できますが、撮影した画像が思い通りの色にならないときは、天候や光源に合わせて設定を変更してください。

AUTO	**オート（初期設定）**
	カメラが自動的にホワイトバランスを調整します。ほとんどの場合、この設定のままで撮影できます。
PRE	**プリセットマニュアル**
	特殊な照明の下などでの撮影に適しています。詳しくは「プリセットマニュアルの使い方」（137）をご覧ください。
☀	**晴天**
	晴天の屋外での撮影に適しています。
	電球
	白熱電球の下での撮影に適しています。
	蛍光灯
	白色蛍光灯の下での撮影に適しています。
	曇天
	曇り空の屋外での撮影に適しています。
	フラッシュ
	フラッシュを使う撮影に適しています。

ホワイトバランスの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**オート**］のときは、何も表示されません）（8）。

［オート］、［フラッシュ］以外を選んだ場合

［**オート**］、［**フラッシュ**］以外のホワイトバランスを選んだときは、フラッシュを（発光禁止）に設定してください（32）。

プリセットマニュアルの使い方

特殊な照明の下で撮影するときなど、［**オート**］や［**電球**］などの設定では望ましい結果が得られない場合に使います（たとえば、赤みがかった照明の下で撮影した画像を、普通の照明の下で撮影したように見せたいときなど）。

1 撮影する照明下で、白またはグレーの被写体を用意する

2 マルチセレクターでホワイトバランス画面の［PRE **プリセットマニュアル**］を選び、Ⓚボタンを押す

- レンズが望遠側のズーム位置になります。

3 ［**新規設定**］を選ぶ

- 前回プリセットしたホワイトバランスを使いたいときは、［**前回の設定**］を選んでⓀボタンを押してください。ホワイトバランスが前回のプリセット値に設定されます。

4 測定窓に、用意した白またはグレーの被写体を収める

5 Ⓚボタンを押して、ホワイトバランス値を測定する

- シャッターがきれて、ホワイトバランスのプリセット値が新たに設定されます。
- 画像は記録されません。

✔ プリセットマニュアルについてのご注意

手順5でⓀボタンを押したとき、フラッシュは発光しません。このため、フラッシュ撮影時のホワイトバランスの測定はできません。

ISO感度設定

フィルムカメラで使うフィルムのISO感度に相当する数値を設定します。ISO感度を高くすると、暗い場所や動いている被写体の撮影に効果的ですが、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

オート（初期設定）

明るい場所ではISO 64になり、暗い場所では自動的にISO 800までISO感度が高くなります。モードダイヤルが**M**のときに［**オート**］に設定すると、ISO感度は64に固定されます。

高感度オート

被写体の明るさに応じて、ISO 64からISO 1600までの範囲でISO感度が自動的に設定されます。モードダイヤルが**M**のときに［**高感度オート**］に設定すると、ISO感度は64に固定されます。

感度制限オート

カメラが自動的にISO感度を変更するときの範囲を［**ISO 64-100**］（初期設定）、［**ISO 64-200**］、［**ISO 64-400**］から選べます。選んだ範囲の上限値以上にISO感度は上がりません。ISO感度の上限値を設定することで、画像のざらつきを抑える効果があります。モードダイヤルが**M**のときに［**感度制限オート**］に設定すると、ISO感度は64に固定されます。

64、100、200、400、800、1600、2000、3200、6400

ISO感度を選んだ値に固定します。

ISO感度の設定は、撮影時の画面で確認できます（8）。
［**オート**］に設定した場合、ISO 64で撮影できるときは何も表示されず、ISO感度が自動的に上がったときにISOマークが表示されます（34）。［**高感度オート**］に設定したときはが表示され、［**感度制限オート**］に設定したときは＋ISO感度の上限値が表示されます。

ISO感度［3200］および［6400］についてのご注意

- ［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、撮影時の画面の画像サイズマークが赤く表示されます。
- ［**画質**］（124）の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、［**ISO感度設定**］の［**3200**］または［**6400**］を設定できません。［**ISO感度設定**］が［**3200**］または［**6400**］のときに［**画質**］を［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］にすると、［**ISO感度設定**］は［**オート**］に変更されます。
- ［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**画像サイズ**］（126）の［**4224×3168**］、［**3264×2448**］、［**2592×1944**］、［**4224×2816**］、［**4224×2376**］、［**3168×3168**］は選べません。これらの画像サイズのときに［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**2048×1536**］に変更されます。［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］以外にすると、元の画像サイズに戻ります。
- ［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、マルチ連写（140）はできません。［**連写**］の設定が［**マルチ連写**］のときに［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**単写**］になり、［**3200**］または［**6400**］以外に変更しても［**単写**］のままです。

測光方式

露出を合わせるために被写体の明るさを測ることを測光といいます。測光する方式を設定します。

マルチパターン（初期設定）

さまざまな撮影状況で適正な露出が得られるマルチパターン測光になります。通常の撮影では、マルチパターン測光をおすすめします。

中央部重点

画面に表示されている中央部重点測光範囲を重点的に測光します。ポートレート撮影など、重点的に画面中央部に露出を合わせたいときなどに使います。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック（29）を使用してください。

スポット

画面中央部に表示されているスポット測光範囲で測光します。被写体と背景の明るさが著しく異なるときなどに使います。被写体がスポット測光範囲に入るように撮影してください。露出を合わせたい部分が画面中央部にないときは、フォーカスロック（29）をお使いください。

AFスポット

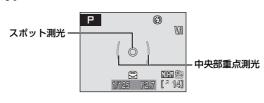
選択されているAFエリアを測光し、露出値を決定します。［**AFエリア選択**］（144）が［**中央**］以外のときに設定できます。

測光方式についてのご注意

電子ズームが1.2～1.8倍のときは、［**測光方式**］は［**中央部重点**］になります。電子ズームが2.0～4.0倍のときは、［**スポット**］になります。ただし、電子ズームのときは、測光範囲は表示されません。

測光方式表示について

［**測光方式**］を［**中央部重点**］または［**スポット**］に設定すると、測光範囲が液晶モニターに表示されます。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

連写

連写（連続撮影）やBSS（ベストショットセレクター）を設定できます。
［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］に設定するとフラッシュは（発光禁止）になり、ピントと露出、ホワイトバランスは、最初の1コマと同じ条件に固定されます。

単写（初期設定）

1コマずつ撮影します。

連写

シャッターボタンを全押ししている間、約0.9コマ/秒で最大10コマまで連写できます（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**4224×3168**］のとき）。

BSS（ベストショットセレクター）

暗い場所でフラッシュを使わずに撮影するときや、望遠側で撮影するときなど、手ブレしやすい状況で撮影する場合に設定します。
シャッターボタンを全押ししている間、連写を続け（最大10コマ）、撮影した画像の中から最も鮮明に撮れている1コマをカメラが自動的に選んで記録します。

フラッシュ連写

シャッターボタンを全押ししている間、内蔵フラッシュを使った連続撮影をします（約0.8/秒で連続約3コマ：画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**4224×3168**］のとき）。
1セットの連続撮影が終わるたびに、内蔵フラッシュを充電します。充電が終わるまでは、次の撮影はできません。ISO感度を上げて撮影するので、撮影した画像が多少ざらつく場合があります。

マルチ連写

シャッターボタンを1回全押しすると約1.1コマ/秒で16コマの連続写真を撮影し、1コマの画像（画質が［**NORMAL**］、画像サイズが［**2592×1944**］）として記録します。

インターバル撮影

あらかじめ設定した撮影間隔（インターバル）で、静止画を自動的に連続撮影（最大1800コマ）します（142）。

連写モードの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**単写**］のときは、何も表示されません）（8）。

連写についてのご注意

- 画質や画像サイズ、SDカードの種類により、最大連写速度が遅くなることがあります。
- ［**連写**］または［**BSS**］に設定して、シャッターボタンを全押ししていても、内蔵フラッシュをポップアップまたは収納すると、撮影が中止されますのでご注意ください。
- ［**画質**］（124）が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］または［**マルチ連写**］に設定できません。

BSSについてのご注意

BSSは静止している被写体の撮影に効果的です。動いている被写体の撮影や、構図を変えながらの撮影では、望ましい結果が得られない場合があります。

フラッシュ連写についてのご注意

- 内蔵フラッシュが閉じていると、フラッシュ連写はできません。フラッシュ連写で撮影するときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください。
- ［**連写**］を［**フラッシュ連写**］にしているときにスピードライトの電源をONにすると、［**単写**］に変更されます。

マルチ連写についてのご注意

- 電子ズームは使えません。
- ［**ISO 感度設定**］（138）を［**3200**］または［**6400**］にすると、マルチ連写はできません。マルチ連写で撮影するときは、［**ISO感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］以外に設定してから、［**連写**］の設定を［**マルチ連写**］にしてください。

シャッタースピードについてのご注意

［**連写**］を［**連写**］、［**BSS**］、［**フラッシュ連写**］、［**マルチ連写**］にすると、シャッタースピードは最長1/2秒までに制限されます。［**インターバル撮影**］にすると、シャッタースピードは最長8秒までに制限されます。

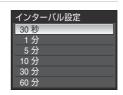
関連ページ

連写時の内蔵フラッシュ、別売スピードライト（外付けフラッシュ）の使用について
→152

インターバル撮影の使い方

撮影間隔（インターバル）を決めて、静止画を自動的に連続撮影します。
撮影間隔は、[**30 秒**]、[**1 分**]、[**5 分**]、[**10 分**]、[**30 分**] または [**60 分**] に設定できます。

1 マルチセレクターで連写画面の［**インターバル撮影**］を選び、Ⓚボタンを押す

2 撮影間隔を選び、Ⓚボタンを押す

3 MENU ボタンを押す

- 撮影画面に戻ります。

4 シャッターボタンを全押しして、1コマ目の撮影を開始する

- 撮影の合間は、液晶モニターが消灯し、電源ランプが点滅します。
- 次のコマの撮影直前になると、自動的に液晶モニターが再点灯します。

5 もう一度シャッターボタンを全押しして、撮影を終了する

- 内蔵メモリー/SDカードの残量がなくなったとき、または撮影コマ数が1800コマに達すると、撮影が自動的に終了します。

インターバル撮影についてのご注意

- 途中で電源が切れないように、充分に残量のあるバッテリーをお使いください。
- ACアダプター EH-66を使用すると、家庭用コンセント（AC 100 V）からCOOLPIX P6000へ電源を供給できます。EH-66以外のACアダプターは絶対に使用しないでください。カメラの故障、発熱の原因となります。
- インターバル撮影中は、モードダイヤルを回さないでください。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

BKT　ブラケティング

露出を少しずつずらした連続撮影をカメラが自動的に行います。露出補正（40）を行うのが難しいときに使用すると便利です。

±0.3	±0.3
	0、+ 0.3、－0.3 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
±0.7	±0.7
	0、+ 0.7、－0.7 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
±1.0	±1.0
	0、+ 1.0、－1.0 の順で自動的に露出をずらしながら、3コマの画像を撮影します。シャッターボタンを全押しすると、3コマを連続して撮影します。
OFF	OFF（**初期設定**）
	ブラケティングを行いません。

ブラケティングの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**OFF**］のときは、何も表示されません）（8）。

ブラケティングについてのご注意

- モードダイヤルが**M**の場合、［**ブラケティング**］は使えません。
- 露出補正（40）と［**ブラケティング**］の［**±0.3**］、［**±0.7**］、［**±1.0**］のいずれかを同時に設定すると、補正量を加算します。
- ［**ブラケティング**］を［**OFF**］以外にすると、シャッタースピードは最長1/2秒までに制限されます。
- ［**画質**］（124）が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、［**ブラケティング**］を設定できません。

[+] AFエリア選択

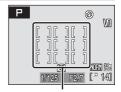
画面のどの位置でピントを合わせるかを設定します。
電子ズーム使用時は、AFエリア選択の設定にかかわらず、画面中央でピント合わせを行います。

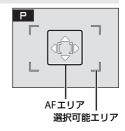
顔認識オート

カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔にピントが合います（顔認識撮影について→145）。
複数の顔を認識したときは、最もカメラに近い顔にピントが合います。
人物以外の撮影や顔を認識できない構図では、AFエリア選択が［**オート**］になり、9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアでピントが合います。

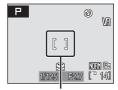
- 液晶モニターをOFFにすると、AFエリアは中央に固定されます。

オート（初期設定）

9つあるAFエリアのうち、最も手前の被写体をとらえているAFエリアにピントが合います。
シャッターボタンを半押しするまで、AFエリアは表示されません。
半押しすると、ピントが合ったAFエリアが画面に表示されます。
- 液晶モニターをOFFにすると、AFエリアは中央に固定されます。

マニュアル

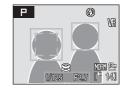
画面内の99カ所から、ピントを合わせたい位置を自分で選びます。
比較的動きの少ない被写体が画面中央にない場合に適しています。マルチセレクターの▲▼◀▶を押して、画面に表示されているAFエリアを、ピントを合わせたい位置に動かしてから撮影します。
フラッシュモードやフォーカスモード、セルフモード、露出補正の設定を変更するには、Ⓚボタンを押していったんAFエリアが選べる状態を解除し、それぞれの設定を行います。もう一度Ⓚボタンを押すと、再びAFエリアを選べる状態になります。

- ［**画像サイズ**］（126）が［**3168 × 3168**］のときは、選べるAFエリアの位置は81カ所になります。

[▪]	**中央**

画面中央の被写体にピントが合います。
AFエリアが画面中央に常に表示されます。

顔認識撮影について

AFエリア選択を［**顔認識オート**］にしたり、シーンモードを［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］にすると、顔認識機能が働きます。
人物の顔（正面）にカメラを向けると自動的に顔を認識して、顔にピントを合わせます。

1 構図を決める

- カメラが人物の顔（正面）を認識すると、顔が黄色い二重枠のAFエリアで囲まれます。
- 複数の人物の顔を認識したときは、最もカメラに近い人物の顔が二重枠のAFエリアで囲まれ、他の人物の顔が一重枠で囲まれます。最大12人の顔を認識します。

2 シャッターボタンを半押しする

- 二重枠で囲まれた顔にピントが合います。二重枠が緑色になりピントが固定されます。
- 二重枠が黄色で点滅しているときは、顔にピントが合っていません。もう一度シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせてください。
- シャッターボタンを全押しすると、シャッターがきれます。

関連ページ

オートフォーカスが苦手な被写体→29

顔認識についてのご注意

- ［**顔認識オート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、［**AFエリア選択**］は、［**オート**］になります。
- シーンモードの［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］では、顔を認識していない状態でシャッターボタンを半押しすると、画面中央にピントが合います。
- 次のような場合は、カメラは人物の顔を認識できません。
  - 顔の一部がサングラスなどでさえぎられている
  - 人物が横を向いている
  - 構図内で顔を大きく、または小さくとらえすぎている
- どの人物の顔を認識してピントを合わせるかは、顔の向きなどの撮影条件によっても異なります。
- 「オートフォーカスが苦手な被写体」（29）の撮影では、二重枠が緑色になっていても、まれにピントが合わないことがあります。ピントが合わないときは、オート撮影モードにするか、撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**でAFエリア選択を［**マニュアル**］か［**中央**］に切り換えて、同距離にある別の被写体にピントを合わせるフォーカスロック撮影（29）をお試しください。
- 顔認識して撮影した画像は、1コマ表示およびサムネイル表示で再生すると、顔の上下方向に合わせて自動的に回転して表示されます。

AF-MODE（オートフォーカスモード）

ピントの合わせ方を設定します。

シングルAF（初期設定）

シャッターボタンを半押ししたときだけピントを合わせます。

常時AF

撮影中、常にピント合わせを繰り返します。動きのある被写体の撮影に適しています。

調光補正

背景に対する被写体の明るさを調整したいときなどに、フラッシュの発光量を補正できます。
スピードライト（外付けフラッシュ）SB-400、SB-600、SB-800、SB-900（179）をカメラに取り付けている場合は、スピードライトの発光量を補正します。

－0.3～－2.0

－0.3～－2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が少なくなります。被写体に光が強く当たりすぎないよう発光量を少なくします。

0.0（初期設定）

調光補正を行いません。

+0.3～+2.0

0.3～2.0 EVまで、1/3段ごとにフラッシュの発光量が多くなります。構図の中心となる被写体をより明るく照らすように発光量を多くします。

調光補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（[**0.0**] のときは、何も表示されません）（8）。

発光切り換え

カメラのアクセサリーシューに取り付けたスピードライト（外付けフラッシュ）（179）を使わないときも、内蔵フラッシュを発光禁止にするかどうかを設定します。

オート（初期設定）

スピードライト使用時は、スピードライトを発光します。スピードライトを使用しないときは、内蔵フラッシュを発光します。

内蔵発光禁止

内蔵フラッシュを常に発光禁止にします。

発光切り換えについてのご注意

[**発光切り換え**] が [**内蔵発光禁止**] の場合、フラッシュモード（32）は AUTO（自動発光）、（発光禁止）または（強制発光）のみ選べます。

NR ノイズ低減

暗いところなどで撮影する場合、シャッタースピードが遅くなると、画像にノイズが入る場合があります。このノイズを低減する設定を行います。ノイズ低減処理が行われると、撮影開始から内蔵メモリー/SDカードへ画像が記録されるまでの時間が、通常より長くかかります。

AUTO AUTO（**初期設定**）

ノイズが発生するような遅いシャッタースピードになると、ノイズ低減を行います。
［**連写**］を［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にしたときや、［**ブラケティング**］を［**OFF**］以外にしたときは、ノイズ低減は行われません。

NR ON

1/4秒以上の低速シャッタースピードのときに必ずノイズ低減を行います。低速シャッタースピードで撮影するときは、［**ON**］にすることをおすすめします。
［**連写**］は［**単写**］または［**インターバル撮影**］のみ設定できます。
［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外のときは設定できません。

ノイズ低減が行われるときは、撮影時の画面でNRのマークが点灯します（8）。

ゆがみ補正

ゆがみを補正するかどうかを設定します。ゆがみを補正すると、ゆがみを補正しない場合に比べて、撮影範囲が狭くなります。

ON

レンズの特性で画像周辺部に生じるゆがみを補正します（画質（124）の設定が、［**FINE**］、［**NORMAL**］、［**BASIC**］のときのみ）。

OFF OFF（**初期設定**）

ゆがみを補正しません。

ゆがみ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（［**OFF**］のときは、何も表示されません）（8）。

ゆがみ補正/ワイドコンバーター表示について

撮影時の画面に表示される、ゆがみ補正/ワイドコンバーター表示（8）の意味は、以下のとおりです。

- ：［**ゆがみ補正**］は［**ON**］、［**ワイドコンバーター**］（149）は［**OFF**］です。
- W：［**ゆがみ補正**］は［**OFF**］、［**ワイドコンバーター**］は［**ON**］です。
- W：［**ゆがみ補正**］と［**ワイドコンバーター**］は［**ON**］です。
- 表示なし：［**ゆがみ補正**］と［**ワイドコンバーター**］は［**OFF**］です。

ワイドコンバーター

別売のアダプターリング UR-E21を使用して、ワイドコンバーター WC-E76を取り付ける場合に設定します。
ワイドコンバーターの取り付け方法については、「ワイドコンバーターについて」(178) をご覧ください。ワイドコンバーターの使用方法の詳細については、ワイドコンバーターの使用説明書をご覧ください。

ON

ワイドコンバーター WC-E76を使うときに設定します。設定するとズームを最も広角側にセットします。
ワイドコンバーター WC-E76を使うと、約21mm相当（35mm判換算の撮影画角）の広角撮影が楽しめます（[**ゆがみ補正**] を [**OFF**] にしてズームを最も広角側にしたとき）。光学ズームは全域で使えますが、ワイドコンバーターの特性上、望遠側では性能が低下します。
電子ズームは使えません。

OFF（初期設定）

ワイドコンバーターを使わないときに設定します（アダプターリングは必ず取り外してください）。

ワイドコンバーターを取り付けて撮影するときのご注意

- 撮影の前に、[**ワイドコンバーター**] を [**ON**] にしてください。ワイドコンバーターを外して撮影するときは、[**ワイドコンバーター**] を [**OFF**] にしてください。
- [**ワイドコンバーター**] が [**ON**] のときは、内蔵フラッシュは自動的に（発光禁止）になります。ただし、別売のスピードライト（179）を使うと、フラッシュ撮影ができます。
- [**連写**]（140）の [**フラッシュ連写**] は設定できません。
- スピードライトを使う場合、ズームの広角側で撮影すると、画像の周辺部が暗くなることがあります。撮影後に液晶モニターで画像を確認してください。スピードライト SB-600、SB-800、SB-900を使う場合は、ワイドパネルの使用をおすすめします。
- [**ワイドコンバーター**] が [**ON**] のときは、AF補助光は使えません。

関連ページ

ゆがみ補正/ワイドコンバーター表示について→148

同時に設定できない機能

撮影モード**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**では、以下のように、複数の機能を同時に設定できないことがあります。

フラッシュモード

- フォーカスモードを ▲（遠景 AF）にする、［**連写**］の設定を［**連写**］、［**BSS**］、［**マルチ連写**］にする、［**ブラケティング**］を［**OFF**］以外にする、または［**ワイドコンバーター**］を［**ON**］にすると、フラッシュモードは ⊛（発光禁止）に固定されます。
- ［**連写**］の設定を［**フラッシュ連写**］にすると、フラッシュモードは ⚡（強制発光）に固定されます。
- フォーカスモードを ▲（遠景 AF）以外にする、［**連写**］の設定を［**単写**］か［**インターバル撮影**］にする、［**ブラケティング**］を［**OFF**］にする、または［**ワイドコンバーター**］を［**OFF**］にすると、元のフラッシュモードに戻ります。

セルフタイマー /リモコン

- セルフタイマー / リモコンを設定すると、［**連写**］の設定は［**単写**］として、［**ブラケティング**］の設定は［**OFF**］として動作します。
- セルフタイマー / リモコンを［**OFF**］にする（またはセルフタイマー撮影、リモコン撮影が完了する）と、［**連写**］および［**ブラケティング**］の設定が有効になります。

フォーカスモード

- ［**連写**］の設定を［**フラッシュ連写**］にすると、フォーカスモードの ▲（遠景 AF）は選べません。
- フォーカスモードが ▲（遠景 AF）のときに［**連写**］の設定を［**フラッシュ連写**］にすると、フォーカスモードは AF（通常 AF）に変更されます。
- ［**AF エリア選択**］の設定が［**顔認識オート**］のときにフォーカスモードを ▲（遠景 AF）にすると、［**オート**］に変更されます。フォーカスモードを ▲（遠景 AF）以外にすると、［**顔認識オート**］に戻ります。
- フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）のときは、電子ズームは使えません。

画質

［**画質**］の設定を［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］にすると、［**インターバル撮影**］以外の連写モードは［**単写**］に、［**ブラケティング**］と［**Active D-ライティング**］は［**OFF**］に変更されます。

画像サイズ

- ［**画質**］（124）の設定が［**NRW (RAW)**］のときは、画像サイズを設定できません。
- ［**画質**］の設定が［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、JPEG 画像の画像サイズを設定できます。ただし、［**4224 × 2816**］、［**4224 × 2376**］、［**3168 × 3168**］は選べません。

Picture Control

- ［**Picture Control**］の設定を［**モノクローム**］にすると、［**ホワイトバランス**］は［**オート**］になります。［**Picture Control**］の設定を［**モノクローム**］以外にすると、元の［**ホワイトバランス**］の設定に戻ります。
- ［**Active D- ライティング**］の設定を［**OFF**］以外にすると、［**コントラスト**］の調整はできません。

ISO感度設定

- ［**画質**］の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、［**ISO 感度設定**］の［**3200**］または［**6400**］は設定できません。
［**ISO 感度設定**］が［**3200**］または［**6400**］のときに［**画質**］を［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］にすると、［**ISO 感度設定**］は［**オート**］に変更されます。
- ［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**画像サイズ**］の［**4224 × 3168**］、［**3264 × 2448**］、［**2592 × 1944**］、［**4224 × 2816**］、［**4224 × 2376**］、［**3168 × 3168**］は選べません。
これらの画像サイズのときに［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**2048 × 1536**］に変更されます。［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］以外にすると、元の画像サイズに戻ります。
- ［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、マルチ連写はできません。［**連写**］の設定が［**マルチ連写**］のときに［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、［**単写**］になり、［**3200**］または［**6400**］以外に変更しても［**単写**］のままです。
- ［**ISO 感度設定**］を［**高感度オート**］または［**1600**］以上にすると、アクティブ D- ライティングは動作しません。

連写

- ［**連写**］の設定を［**単写**］以外にすると、［**ブラケティング**］は［**OFF**］に変更されます。
- ［**マルチ連写**］にすると、［**画質**］は［**NORMAL**］、［**画像サイズ**］は［**2592 × 1944**］に変更されます。

ブラケティング

［**ブラケティング**］の設定を［**OFF**］以外にすると、［**連写**］は［**単写**］に、フラッシュモードは⊛（発光禁止）に変更されます。

AFエリア選択

［**測光方式**］の設定が［**AFスポット**］のときに［**AFエリア選択**］の設定を［**中央**］にすると、［**測光方式**］は［**マルチパターン**］になります。［**AFエリア選択**］の設定を［**中央**］以外にすると、［**測光方式**］は［**AFスポット**］に戻ります。

ノイズ低減

- ［**ノイズ低減**］の設定が［**AUTO**］のときに［**連写**］の設定を［**単写**］、［**インターバル撮影**］以外にしたとき、または［**ブラケティング**］を［**OFF**］以外にしたときは、ノイズ低減は行われません。
- ［**ノイズ低減**］の設定を［**ON**］にすると、［**インターバル撮影**］以外の連写モードは［**単写**］に、［**ブラケティング**］は［**OFF**］に変更されます。

ワイドコンバーター

［**ワイドコンバーター**］の設定を［**ON**］にすると、フラッシュモードは⊛（発光禁止）に変更されます。

ゆがみ補正

- ［**ゆがみ補正**］の設定を［**ON**］にすると、［**連写**］は［**単写**］に、［**ブラケティング**］は［**OFF**］に変更されます。
- ［**ゆがみ補正**］の設定を［**OFF**］に戻しても、［**連写**］は［**単写**］のまま、［**ブラケティング**］は［**OFF**］のままです。
- ゆがみ補正は、画質の設定が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは使えません。

内蔵フラッシュ、別売スピードライト（外付けフラッシュ）

各連写モードと組み合わせた場合、内蔵フラッシュまたはスピードライトSB-400、SB-600、SB-800、SB-900の動作は次のように制限されます。

連写モード	内蔵フラッシュ	スピードライト※
単写	使用可能	使用可能
連写	発光禁止	使用可能
BSS	発光禁止	使用不可
フラッシュ連写	使用可能	使用不可
マルチ連写	発光禁止	使用可能
インターバル撮影	使用可能	使用可能

別売スピードライト使用時には、内蔵フラッシュは自動的に⊛（発光禁止）になります。

※ フラッシュモードを⚡◉（赤目軽減自動発光）（32、34）にして、［**連写**］、［**マルチ連写**］、またはブラケティング機能を使って撮影する場合、赤目軽減処理は本発光前の少量発光のみになります。

再生に関する設定—再生メニュー

再生メニューには、以下の項目があります。

	項目	参照
	D-ライティング	68
	撮影した画像の暗い部分を明るく補正します。	
	プリント指定	101
	プリンターでプリントする画像や、その枚数などを設定します。	
	スライドショー	155
	内蔵メモリー /SDカード内の画像を、1コマずつ順番に自動再生します。	
	削除	156
	画像を削除します。	
	プロテクト設定	156
	大切な画像を誤って削除しないように、プロテクト（保護）します。	
	画像回転	157
	撮影した画像の向きを変更します。	
	非表示設定	157
	撮影した画像をカメラで再生できないように設定します。	
	スモールピクチャー	70
	撮影した画像から、小さいサイズの画像を新しく作ります。	
	画像コピー	158
	内蔵メモリーとSDカードの間で画像をコピーします。	
	黒フレーム	71
	撮影した画像に黒い枠を付けた画像を新しく作ります。	
NRW	**NRW (RAW) 現像**	72
	撮影したNRW (RAW) 画像をRAW現像し、JPEG画像を作ります。	

再生メニューの表示方法

▶ボタンを押して再生モードにします。

MENUボタンを押して、再生メニューを表示します。

- メニューの選択と設定にはマルチセレクターを使います（12）。
- 再生メニューから再生に戻るには、MENUボタンを押します。

画像選択画面の操作方法

以下のメニューでは、画像選択時に右のような画面が表示されます。

- **再生メニュー**：D-ライティング※（68）、
  プリント指定の［**複数画像選択**］（101）、
  削除の［**削除画像選択**］（156）、
  プロテクト設定（156）、
  画像回転（157）、
  非表示設定（157）、
  スモールピクチャー※（70）、
  画像コピーの［**選択画像コピー**］（158）、
  黒フレーム※（71）、
  NRW (RAW) 現像（72）
- **セットアップメニュー**：オープニング画面（161）

※ 再生メニュー以外から再生タブを選んで再生メニューに切り換えたとき（13）にメニュー項目を選ぶと表示されます。

次の手順で画像を選びます。

1 マルチセレクターの◀▶を押して、画像を選ぶ

- マルチセレクターの◀▶を押すかわりに、コマンドダイヤルを回しても画像を選べます。
- ［**画像回転**］、［**D-ライティング**］、［**スモールピクチャー**］、［**黒フレーム**］、［**NRW (RAW) 現像**］と［**オープニング画面**］の画像選択では、1画像しか選べません。→手順3へ
- ズームレバーを**T**（Q）方向に回すと1コマ表示に、**W**（▦）方向に回すと12コマ表示に切り換わります。

2 ▲▼を押してON/OFF（またはプリント枚数）を設定する

- ON にすると、選択画像にチェックマークが表示されます。複数の画像に設定したいときは、手順1と2を繰り返します。

3 Ⓚボタンを押して画像選択を決定する

スライドショー

内蔵メモリー/SDカードに記録した画像を、1コマずつ順番に自動再生します。

1 マルチセレクターで［**開始**］を選び、Ⓚ ボタンを押す

- 画像の表示時間を変更するには、［**開始**］を選ぶ前に［**インターバル設定**］を選んでⓀボタンを押し、画像の表示時間を選びます。
- 繰り返し再生するには、［**開始**］を選ぶ前に［**エンドレス**］を選んでⓀボタンを押し、チェックボックスをオン［✔］にします。

2 スライドショーが始まる

- 再生中にマルチセレクターの ▶ を押すと次の画像、◀を押すと前の画像を表示します（ボタンを押し続けると早送り/早戻しになります）。
- 再生中にⓀボタンを押すと一時停止します。

3 終了または再開する

- スライドショー終了時や一時停止中に［**終了**］を選び、Ⓚ ボタンを押すと再生メニューに戻ります。［**再開**］を選ぶとスライドショーを再開します。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

✔ スライドショーについてのご注意

- 動画（84）は1フレーム目だけを表示します。
- スライドショーを連続再生できる時間は、［**エンドレス**］に設定している場合も含め、最大約30分です（169）。

🗑 削除

画像を削除します。

削除画像選択

画像選択の画面で、画像を選んで削除します（操作方法→154）。

ピクチャーバンク転送済

カレンダー/撮影日一覧メニューでのみ選べます。詳しくは「ピクチャーバンク転送済み画像の削除について」（120）をご覧ください。

全画像削除

すべての画像を削除します。

☑ 画像削除についてのご注意

- 削除した画像はもとに戻せないため、ご注意ください。残しておきたい画像はパソコンに転送して保存することをおすすめします。
- マークが表示されている画像は、プロテクト（保護）されているので削除されません。

プロテクト設定

大切な画像を誤って削除しないように、画像にプロテクト（保護）を設定できます。
画像選択の画面で、画像を選んで設定します（操作方法→154）。
ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、170）すると、プロテクト設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

プロテクト設定した画像は、カメラでの再生時にマーク（9、65）が表示されます。

画像回転

撮影後に、カメラなどで表示するときの画像の向き（縦横位置）を設定します。静止画を時計方向に90度、または反時計方向に90度回転できます。
撮影時に縦位置で記録された画像は、時計回り/反時計回りのどちらか一方向に180度まで回転できます。

画像選択の画面で回転する画像を選ぶ（154）と、画像回転画面が表示されます。マルチセレクターの◀または▶を押すと90度回転します。

反時計方向に
90度回転

時計方向に
90度回転

OKボタンを押すと、表示している方向で決定し、画像に縦横位置情報が記録されます。

非表示設定

撮影した画像をカメラで再生できないように設定します。
画像選択の画面で、画像を選んで設定します（操作方法→154）。
非表示設定した画像は［**削除**］では削除されません。ただし、内蔵メモリー/SDカードを初期化（フォーマット、170）すると、非表示設定した画像も削除されますので、ご注意ください。

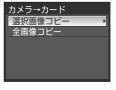
画像コピー

内蔵メモリーの画像をSDカードへ、またはSDカードの画像を内蔵メモリーへコピーできます。

1 マルチセレクターでコピーする方向を選び、OKボタンを押す

- IN→SD：内蔵メモリーからSDカードへコピーします。
- SD→IN：SDカードから内蔵メモリーへコピーします。

2 コピーの方法を選び、OKボタンを押す

- ［**選択画像コピー**］：画像選択画面（154）で、画像を選んでコピーします。
- ［**全画像コピー**］：すべての画像をコピーします。

画像コピーについてのご注意

- コピーできる画像ファイルの形式は、JPEG、NRW、AVI、WAVです。これ以外の形式のファイルはコピーできません。
- 画像コピーでは、画像に付けた「音声メモ」（74）も画像と同時にコピーします。
- 「音声レコード機能」（85）で録音したデータは、［**音声データコピー**］でコピーできます（89）。
- 他社製のカメラで撮影した画像やパソコンで加工した画像のコピーは動作を保証していません。
- プリント指定（101）した画像をコピーしても、プリント指定の設定内容はコピーされません。プロテクト設定（156）した画像をコピーすると、コピー先の画像もプロテクトされます。
- 非表示設定（157）した画像はコピーできません。

［撮影画像がありません］のメッセージについて

SDカードに画像が記録されていないときに再生モードに切り換えると、［**撮影画像がありません**］と表示されますが、MENUボタンを押すと画像コピー画面が表示され、内蔵メモリー内の画像をSDカードにコピーできます。

関連ページ

記録データのファイル名とフォルダ名→180

カメラに関する基本設定―セットアップメニュー

セットアップメニューには、以下の項目があります。

	オープニング画面	161
	電源をONにしたときに表示される「オープニング画面」について設定します。	
	日時設定	162
	内蔵時計を合わせます。	
	画面の明るさ	165
	画面の明るさを調整します。	
DATE	**デート写し込み**	165
	画像に撮影日時を写し込む設定ができます。	
VR	**手ブレ補正**	167
	撮影時の手ブレ補正を設定します。	
	AF補助光	168
	AF補助光の点灯/非点灯を設定します。	
	電子ズーム	168
	電子ズームの動作を設定します。	
	操作音	169
	操作音について設定します。	
	オートパワーオフ	169
	待機状態に入るまでの時間を設定します。	
IN/	**メモリーの初期化/カードの初期化（フォーマット）**	170
	内蔵メモリー /SDカードを初期化します。	
	言語/Language	171
	画面に表示する言語を設定します。	
	ビデオ出力	171
	テレビとの接続に必要な設定を行います。	
Fn	**FUNCボタン設定**	171
	Fn（ファンクション）ボタンを押したときの動作を設定します。	
My	**マイメニュー登録**	172
	よく使うメニュー項目をマイメニューに登録できます。	
C	**設定クリアー**	173
	各種設定を初期状態に戻します。	
Ver.	**バージョン情報**	175
	ファームウェアの情報を表示します。	

セットアップメニューの表示方法

メニュー画面を表示して、Y（セットアップ）タブを選びます。

1 MENU　ボタンを押してメニュー画面を表示する

2 マルチセレクターの◀を押す

- タブが選べるようになります。

3 ▲▼を押してYタブを選ぶ

4 ▶または㊍ボタンを押す

- セットアップメニューの項目が選べるようになります。

- メニューの選択と設定には、マルチセレクターを使います（A12）。
- セットアップメニューを終了するには、MENUボタンを押すか、◀を押して他のタブを選びます。

オープニング画面

カメラの電源をONにしたときに液晶モニターに表示するオープニング画面を設定します。

なし（初期設定）

オープニング画面を表示しません。

COOLPIX

オープニング画面を表示します。

撮影した画像

内蔵メモリー/SDカードの画像を、オープニング画面として登録できます。画像選択の画面で画像を選び（154）、ボタンを押します。
登録した画像はカメラに記憶されるため、元画像を削除しても、オープニング画面に残ります。

- NRW (RAW) 画像は登録できません。
- ［**画像サイズ**］（126）を［**4224 × 2816**］、［**4224 × 2376**］、［**3168 × 3168**］にして撮影した画像は登録できません。
- トリミング（69）やスモールピクチャー（70）で作成した画像サイズ 160 × 120 以下の画像は登録できません。

日時設定

カメラに内蔵された時計を設定します。
海外旅行などに便利なワールドタイム（時差を自動的に計算する機能）も設定できます。

日時

内蔵時計の日付と時刻を設定します。
表示される設定画面の操作方法は以下のとおりです。
- マルチセレクター ◀▶：項目（年、月、日、年月日の並び順）を移動します。
- マルチセレクター ▲▼：項目の内容を合わせます。
- OK ボタン：設定が有効になります。

ワールドタイム

自宅（⌂）のタイムゾーン（地域）や夏時間（サマータイム）を設定します。また、訪問先のタイムゾーン（✈）を登録すると、自宅（⌂）との時差（164）を自動的に計算し、撮影日時を現地時間で記録できます。海外旅行などに便利です。

時差のある地域で使うには

1 マルチセレクターで［ワールドタイム］を選び、OKボタンを押す

- ワールドタイム画面が表示されます。

2 ［✈ 訪問先］を選び、OKボタンを押す

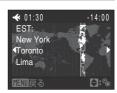
- 訪問先の時計に切り換わります。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

3 ▶を押す

- 地域の設定画面が表示されます。

4 ◀または▶を押して訪問先のタイムゾーン（都市名）を選ぶ

- 夏時間（サマータイム）が現在実施されている地域で使うときは、▲を押して画面上部に マークを表示します。夏時間の設定がオンになり、時間が1時間進みます。オフにするときは、▼を押してください。
- Ⓚボタンを押して、訪問先を決定します。
- 訪問先の時計に設定しているときは、撮影時の画面に マークが表示されます。

日時設定についてのご注意

カメラの内蔵時計は、カメラのバッテリーとは別の時計用電池で動いています。カメラにバッテリーを入れるかACアダプターを接続すると、時計用電池が約10時間で充電され、数日間、設定した日時を記憶できます。

（自宅）の設定について

- 自宅のタイムゾーンに戻すには、手順2で［ 自宅］を選び、Ⓚボタンを押してください。
- 自宅のタイムゾーンを変更するには、手順2で［ 自宅］を選び、［ 訪問先］と同様の手順でタイムゾーンを変更してください。

夏時間の設定について

夏時間（サマータイム）が始まったときや終わったときは、手順4の地域設定画面で、夏時間のオンとオフを切り換えてください。

タイムゾーンについて（➡20）

時差とタイムゾーンの関係は以下の表をご覧ください。
この表にない時差は、正しい時刻を［**日時設定**］で合わせてください。

時差 +/–	タイムゾーン
–20	Midway, Samoa（ミッドウェー、サモア）
–19	Hawaii, Tahiti（ハワイ、タヒチ）
–18	Alaska, Anchorage（アラスカ、アンカレッジ）
–17	PST (PDT): Los Angeles, Seattle, Vancouver（ロサンゼルス、シアトル、バンクーバー）
–16	MST (MDT): Denver, Phoenix, La Paz（デンバー、フェニックス、ラパス）
–15	CST (CDT): Chicago, Houston, Mexico City（シカゴ、ヒューストン、メキシコシティー）
–14	EST (EDT): New York, Toronto, Lima（ニューヨーク、トロント、リマ）
–13	Caracas, Manaus（カラカス、マナウス）
–12	Buenos Aires, SaoPaulo（ブエノスアイレス、サンパウロ）
–11	Fernando de Noronha（フェルナンド・デ・ノローニャ）
–10	Azores（アゾレス）
–9	London, Casablanca（ロンドン、カサブランカ）

時差 +/–	タイムゾーン
–8	Madrid, Paris, Berlin（マドリード、パリ、ベルリン）
–7	Athens, Helsinki, Ankara（アテネ、ヘルシンキ、アンカラ）
–6	Moscow, Nairobi, Riyadh, Kuwait, Manama（モスクワ、ナイロビ、リヤド、クウェート、マナマ）
–5	Abu Dhabi, Dubai（アブダビ、ドバイ）
–4	Islamabad, Karachi（イスラマバード、カラチ）
–3.5	New Delhi（ニューデリー）
–3	Colombo, Dhaka（コロンボ、ダッカ）
–2	Bangkok, Jakarta（バンコク、ジャカルタ）
–1	Beijing, Hong Kong, Singapore（北京、香港、シンガポール）
±0	Tokyo, Seoul（東京、ソウル）
+1	Sydney, Guam（シドニー、グアム）
+2	New Caledonia（ニューカレドニア）
+3	Auckland, Fiji（オークランド、フィジー）

画面の明るさ

画面の明るさを5段階で調整できます。初期設定は［**3**］です。

デート写し込み

画像に直接日時を写し込みます。日付の印字（102）に対応していないプリンターでも日付入りの画像をプリントできます。

OFF（初期設定）

日付、時刻のどちらも写し込みません。

年・月・日

撮影した画像の右下に、日付を写し込みます。

年・月・日・時刻

撮影した画像の右下に、日付と時刻を写し込みます。

誕生日カウンター

お子様の成長記録や植物の観察日記などに便利な機能です（166）。

デート写し込みの設定は、撮影時の画面で確認できます（［**OFF**］のときは、何も表示されません）（8）。

デート写し込みについてのご注意

- 一度写し込まれた日時を画像から消したり、撮影した後で日時を写し込むことはできません。
- ［**画像サイズ**］（126）が［**640×480**］の画像にデート写し込みを行うと、写し込んだ日付が読みづらいことがあります。画像サイズは［**1024×768**］以上に設定してください。
- 年月日の並びは、［**日時設定**］（20、162）での設定と同じになります。
- 以下の場合は、日時を写し込めません（192）。
  - シーンモードの［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**パノラマアシスト**］のとき
  - ［**連写**］（140）が［**連写**］、［**BSS**］または［**フラッシュ連写**］のとき
  - ［**ブラケティング**］（143）が［**OFF**］以外のとき
  - 動画モードのとき
  - ［**画質**］（124）が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のとき

「デート写し込み」と「プリント指定」について

日付や撮影情報の印刷が可能なDPOF対応のプリンターでプリントするときは、［**デート写し込み**］で日時を写し込んでいない画像でも、［**プリント指定**］（101）で撮影日時や撮影情報をプリントするように設定できます。

誕生日カウンターの使い方

撮影日と一緒に、誕生日など特定の日付から撮影日までの日数を写し込めます。誕生日や結婚式までの日数をカウントダウン形式で入れたり、お子様が産まれた日からの経過日数を入れるときなどに使います。

日付登録

1～3のいずれかを選んでマルチセレクターの▶を押すと、日付設定画面が表示されます。「表示言語と日時を設定する」の手順5（21）と同様の操作で日付を設定後、OK ボタンを押してください。日付は3種類まで登録できます。他の日付に切り換えるには、1～3のいずれかを選んで、OK ボタンを押してください。

表示選択

特定の日までの日数の表示形式を選んでOK ボタンを押してください。

誕生日カウンターを使って撮影した画像には、以下のように日付が写し込まれます。

記念日まであと 2 日の場合

記念日から 2 日後の場合

VR 手ブレ補正

手ブレ補正機能は、望遠側での撮影やスローシャッター撮影時に起こりがちな手ブレを効果的に補正します。手ブレ補正機能はすべての撮影モードで使えます。
三脚などでカメラを固定させて撮影するときは、手ブレ補正を［**OFF**］にしてください。

ON（初期設定）

静止画撮影だけでなく、動画撮影時の手ブレも補正します。また、流し撮りでは、カメラが流し撮りの方向を自動的に検出し、手ブレによる揺れのみを補正します。
たとえば、横方向に流し撮りするときには縦方向の手ブレだけが、縦方向に流し撮りするときには横方向の手ブレだけが補正されます。

OFF

手ブレ補正を行いません。

手ブレ補正の設定は、撮影時の画面で確認できます（［**OFF**］のときは、何も表示されません）（8）。

手ブレ補正についてのご注意

- カメラの電源をONにした直後、または再生モードから撮影モードに切り換えた直後は、液晶モニターの画像が安定してから撮影してください。
- 手ブレ補正の原理上、撮影直後に液晶モニターの画像がずれて見えることがあります。
- 手ブレ補正機能を設定しても、撮影状況によっては手ブレを完全に補正できないことがあります。
- 「VR」はVibration Reductionの略称です。

AF補助光

AF補助光の点灯/非点灯を設定します。

AUTO（初期設定）

暗い場所などで自動的にAF補助光が点灯します。AF補助光が届く距離は、広角側で約5.5 m、望遠側で約3.2 mです。ただし、［**AUTO**］に設定していても、一部のシーンモードではAF補助光が点灯しません（42～47）。

OFF

AF補助光は点灯しません。暗い場所などでピントが合いにくくなることがありますので、ご注意ください。

電子ズーム

電子ズームの動作を設定します。

ON（初期設定）

光学ズームが最も望遠側にある状態でズームレバーを**T**（Q）（拡大）方向に回すと、電子ズーム（27）が作動します。

クロップ

電子ズームによる画質の劣化が発生しない範囲内に電子ズームの倍率を制限します。

OFF

電子ズームは作動しません（動画撮影時を除く）。

電子ズームについてのご注意

- 電子ズームの作動中はAFエリア（144）が［**中央**］に固定されます。
- 以下の場合、電子ズームは使えません。
  - フォーカスモード（37）がMF（マニュアルフォーカス）のとき
  - シーンモードが［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のとき
  - ［**画質**］（124）が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のとき
  - ［**連写**］（140）が［**マルチ連写**］のとき
  - ［**ワイドコンバーター**］（149）が［**ON**］のとき
  - 動画撮影開始前（微速度撮影以外の動画撮影中は2倍まで作動）
- 電子ズームが1.2～1.8倍のときには、［**測光方式**］は［**中央部重点**］に、2.0～4.0倍のときには［**スポット**］になります。

操作音

操作音について設定します。

設定音

設定音（電子音1回：設定完了時など）、合焦音（電子音2回：ピントが合ったとき）、警告音（電子音3回：禁止動作を行ったときなど）およびオープニング音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

シャッター音

シャッターをきったときのシャッター音の［**ON**］（初期設定）/［**OFF**］を設定します。

オートパワーオフ

電源をONにしたまま何も操作しないで一定時間が過ぎると、カメラはバッテリーの消耗を抑えるために液晶モニターを消灯し、待機状態（17）に入ります。待機状態になると、電源ランプが点滅し、何も操作しないでさらに約3分経過すると、自動的に電源がOFFになります。
シャッターボタンを半押しするか、▶ボタンを押すと、待機状態を解除できます。
このメニューでは、カメラが無操作時に待機状態に入るまでの時間を［**30 秒**］、［**1 分**］（初期設定）、［**5 分**］、または［**30 分**］から選べます。

オートパワーオフについてのご注意

以下の場合、待機状態に入るまでの時間は固定です。

- メニュー表示中：3分
- モードダイヤルがGPSのとき：3分
- モードダイヤルが🏠のとき:3分
- 音声レコード録音中:30秒
- スライドショー再生中:最大30分
- ACアダプター接続中:30分

IN/▢ メモリー /カードの初期化（フォーマット）

内蔵メモリーまたはSDカードを初期化（フォーマット）します。

内蔵メモリーの初期化

内蔵メモリーを初期化するときは、SDカードを取り出してください。セットアップメニューの項目に［**メモリーの初期化**］が表示されます。

メモリーの初期化
内蔵メモリー内のデータをすべて削除します。よろしいですか？
いいえ
初期化する

SDカードの初期化

SDカードをカメラに入れると、SDカードを初期化できます。セットアップメニューの項目に［**カードの初期化**］が表示されます。

カードの初期化
カード内のデータをすべて削除します。よろしいですか？
いいえ
初期化する

初期化についてのご注意

- 内蔵メモリー/SDカードを初期化すると、内蔵メモリー/SDカード内のデータはすべて削除されます。必要なデータは初期化する前にパソコンなどに転送してください。
- 初期化中は、電源をOFFにしたり、バッテリー/SDカードカバーを開けたりしないでください。
- 他の機器で使ったSDカードをこのカメラで初めて使うときは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

言語/Language

画面に表示される言語を、日本語（初期設定）または英語に設定します。

ビデオ出力

テレビとの接続に必要な設定を行います。
ビデオの出力方式を［**NTSC**］と［**PAL**］から選べます。［**NTSC**］と［**PAL**］はいずれも、アナログカラーテレビ放送の規格です。日本ではNTSC方式が、欧州ではPAL方式が主流です。

FUNCボタン設定

モードダイヤルが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のときの**Fn**（ファンクション）ボタンの役割を変更できます。
Fnボタンを押すと、［**FUNCボタン設定**］で割り当てた撮影メニューの項目が撮影画面に表示されます。
Fnボタンを押したままコマンドダイヤルを回して項目を選び、**Fn**ボタンから指を離すだけで項目を設定できます。
Fnボタンには、以下の撮影メニューのいずれかを割り当てられます。

ISO感度設定（138）（初期設定）	ゆがみ補正（148）	Picture Control（129）
画質（124）	ワイドコンバーター（149）	測光方式（139）
画像サイズ（126）	手ブレ補正（167）	ブラケティング（143）
ホワイトバランス※（136）	位置情報記録機能（60）	調光補正（147）
AFエリア選択（144）	User Setting 登録（58）	AF-MODE（146）
連写（140）	露出補正（40）	Active D-ライティング（57）

※［**プリセットマニュアル**］を選ぶと、「プリセットマニュアルの使い方」の手順3（137）の画面が表示されます。

マイメニュー登録

よく使うメニュー項目をマイメニューに登録できます（最大6項目）。マイメニューに登録したメニュー項目は、ボタンを押すだけで呼び出せ、すぐに設定内容の確認と変更ができます（撮影モードが**P**、**S**、**A**、**M**、**U1**、**U2**のときのみ）。
登録できる項目は以下のとおりです。

画質（124）	連写（140）	ゆがみ補正（148）
画像サイズ（126）	ブラケティング（143）	ワイドコンバーター（149）
Picture Control（129）	AFエリア選択（144）	Active D-ライティング（57）
Custom Picture Control（134）	AF-MODE（146）	手ブレ補正（167）
ホワイトバランス（136）	調光補正（147）	電子ズーム（168）
ISO感度設定（138）	発光切り換え（147）	メモリーの初期化/カードの初期化（170）
測光方式（139）	ノイズ低減（148）	ー（なし）（解除）※

※ マイメニューから登録をはずすときに選びます。

マイメニューの登録方法

1 マルチセレクターで変更したいメニュー項目を選び、ⓀボタンOKを押す

・メニュー項目選択画面が表示されます。

2 登録するメニュー項目を選び、Ⓚボタンを押す

・選んだメニュー項目に入れ換わります。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

C　設定クリアー

［はい］を選ぶと、カメラの設定が初期設定にリセットされます。

撮影の基本機能

項目	初期設定
フラッシュモード（32）	自動発光
セルフタイマー/リモコン（35）	OFF
フォーカスモード（37）	通常AF
露出補正（40）	0.0

シーンモード

項目	初期設定
シーンメニュー（41）	ポートレート

動画メニュー

項目	初期設定
動画設定（80）	TV再生 640★
微速度撮影のインターバル設定（82）	30 秒
AF-MODE（81）	シングルAF

撮影メニュー

項目	初期設定
画質（124）	NORMAL
画像サイズ（126）	13M 4224×3168
Picture Control（129）	スタンダード
ホワイトバランス（136）	オート
ISO感度設定（138）	オート
感度制限オート（138）	ISO 64-100
測光方式（139）	マルチパターン
連写（140）	単写
インターバル撮影のインターバル設定（142）	30 秒
ブラケティング（143）	OFF
AFエリア選択（144）	オート

AF-MODE（146）	シングルAF
調光補正（147）	0.0
発光切り換え（147）	オート
ノイズ低減（148）	AUTO
ゆがみ補正（148）	OFF
ワイドコンバーター（149）	OFF
Active D-ライティング（57）	OFF

セットアップメニュー

項目	初期設定
オープニング画面（161）	なし
画面の明るさ（165）	3
デート写し込み（165）	OFF
手ブレ補正（167）	ON
AF補助光（168）	AUTO
電子ズーム（168）	ON
設定音（169）	ON
シャッター音（169）	ON
オートパワーオフ（169）	1分
FUNCボタン設定（171）	ISO感度設定
マイメニュー登録（172）	1：画質 2：画像サイズ 3：Picture Control 4：ホワイトバランス 5：Active D-ライティング 6：ゆがみ補正

GPSメニュー

項目	初期設定
位置情報記録機能（60）	OFF
記録有効時間（63）	1分以内

ネットワーク設定メニュー

項目	初期設定
ピクチャーバンク（⊠117）	ON

その他

項目	初期設定
用紙設定（⊠97、98）	プリンターの設定
スライドショーのインターバル設定（⊠155）	3 秒

- ［**設定クリアー**］を行うと、ファイル番号の連番（⊠180）もクリアーされます。クリアー後に撮影した画像には、内蔵メモリー /SD カード内の最大ファイル番号の次の番号から連番が付けられます。
  ファイル名の連番を0001に戻したいときは、内蔵メモリー /SDカード内の画像をすべて削除（⊠156）してから、［**設定クリアー**］を行ってください。
- 以下の項目は、［**設定クリアー**］を行っても初期設定には戻りません。
  撮影メニュー：
  ［**Custom Picture Control**］の登録（⊠134）、［**ホワイトバランス**］のプリセットマニュアルデータ（⊠137）
  セットアップメニュー：
  ［**日時設定**］（⊠162）、［**誕生日カウンター**］の登録日（⊠166）、［**言語/Language**］（⊠171）、［**ビデオ出力**］（⊠171）
- ネットワーク設定メニューの［**ネットワーク接続設定**］（⊠109）、［**送信者設定**］（⊠110）、［**パスワード設定**］（⊠111）の設定内容は、［**設定クリアー**］では初期設定に戻りません。［**リセット**］（⊠113）で初期設定に戻してください。
- モードダイヤル**U1**、**U2**に登録したユーザーセッティングの内容は、［**設定クリアー**］では初期設定に戻りません。［**User Setting リセット**］（⊠59）で初期設定に戻してください。

Ver. バージョン情報

カメラのファームウェアのバージョン情報を表示します。

撮影、再生、セットアップメニューを使う

別売アクセサリー

充電式バッテリー	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5
充電器	バッテリーチャージャー MH-61※
ACアダプター	ACアダプター EH-66※
USBケーブル	USBケーブル UC-E6
AVケーブル	オーディオビデオケーブル EG-CP14
コンバーターレンズ（アダプターリングUR-E21が必要です。）	ワイドコンバーター WC-E76（0.76倍）
アダプターリング	アダプターリング UR-E21
スピードライト（外付けフラッシュ）	ニコンスピードライト SB-400、SB-600、SB-900
リモコン	リモコン ML-L3 リモコン用電池（3V CR2025型リチウム電池）の交換方法 ①②③④⑤

※ 日本国内専用の電源コード（AC 100 V 対応）付属。日本国外で使うには、別売の電源コードが必要です。別売の電源コードについては、ニコンサービス機関にお問い合わせください。
また、オンラインショップ（ニコンダイレクト）http://shop.nikon-image.com/ でもお求めいただけます。

COOLPIX P6000に使用できる別売アクセサリーについての最新情報は、最新のカタログや当社ホームページなどでご確認ください。

コンバーターまたはアダプターリング使用時のご注意

コンバーターまたはアダプターリングの先端に、フィルターやレンズフードを取り付けないでください。フィルターやレンズフードを取り付けて撮影すると、画像の周辺が暗くなります。

外付けフラッシュについてのご注意

COOLPIX P6000のアクセサリーシューは、ニコンスピードライト SB-400、SB-600、SB-800、SB-900およびワイヤレススピードライトコマンダー SU-800に対応しています。これ以外の外付けフラッシュなどを取り付けようとすると、カメラや外付けフラッシュを破損することがありますので、ご注意ください。

推奨SDカード

以下のSDカードの動作を確認しています。

- 以下の容量のSDカードであれば、内部データ転送速度にかかわらず使用できます。

SanDisk	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8GB※2
TOSHIBA	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8GB※2
Panasonic	128 MB、256 MB、512 MB、1 GB、2 GB※1、4 GB※2、8GB※2

※1 カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器が2 GBのSDカードに対応している必要があります。

※2 SDHC規格に対応しています。カードリーダーなどをお使いの場合、お使いの機器がSDHC規格に対応している必要があります。

上記カードの機能、動作の詳細については、各カードメーカーにお問い合わせください。

最新の動作確認済みSDカードについては、当社ホームページのサポート情報をご覧ください。

ワイドコンバーターについて

このカメラには、別売のワイドコンバーター WC-E76を取り付けられます。ワイドコンバーターは以下の手順で取り付けてください。

1 カメラの電源をOFF にしてから、カメラのレンズリングを図の方向に回して外す

2 ワイドコンバーターのリアキャップを外す

3 カメラに別売のアダプターリング UR-E21を取り付け①、そのリングの前面にワイドコンバーターをねじ込む②

4 モードダイヤルを **P**、**S**、**A**、**M**、**U1** または **U2** に切り換えて、撮影メニューの［**ワイドコンバーター**］（149）を［**ON**］にする

5 ワイドコンバーターのレンズキャップを外す

- ワイドコンバーターを取り外すときは、カメラの電源をOFFにして、上記と逆の手順で行います。ワイドコンバーターを取り外した後は、［**ワイドコンバーター**］（149）の設定を［**OFF**］に戻してください。
- ワイドコンバーターの使用方法の詳細は、ワイドコンバーターの使用説明書をご覧ください。

別売のスピードライト（外付けフラッシュ）について

このカメラには、別売のスピードライト SB-400、SB-600、SB-800、SB-900を直接取り付けられるアクセサリーシューを備えています。内蔵フラッシュでは充分に照明できないときなどに、スピードライトを使うと効果的です。スピードライト使用時には、内蔵フラッシュは自動的に⊛（発光禁止）になります。液晶モニターに⚡マーク（スピードライト表示）が点灯している間は、スピードライトのフラッシュモードを表示し、内蔵フラッシュと同じ操作で設定できます（☞32）。

- スピードライトを取り付けるときは、カメラのアクセサリーシューカバーを外してください。アクセサリーシューカバーは、右図の矢印の方向に押してスライドさせると外れます。
- スピードライトの取り付け方法、使用方法の詳細は、各スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- スピードライトを使わないときは、アクセサリーシューカバーをカメラに取り付けてください。

スピードライトSB-400、SB-600、SB-800、SB-900について

- このカメラにSB-600、SB-800またはSB-900を取り付けて撮影するときは、撮影前にスピードライト側の発光モードをTTLにセットしてください。発光の前に小光量でモニター発光するi-TTL調光（スタンダードi-TTL調光）ができます。i-TTL調光の詳しい説明は、スピードライトの使用説明書をご覧ください。
- SB-800、SB-900またはワイヤレススピードライトコマンダー SU-800を「コマンダー」に、SB-600、SB-800、SB-900などを「リモートフラッシュ」に設定すれば、ワイヤレス増灯撮影ができます。ただし、コマンダーに設定したSB-800、SB-900はモニター発光はしても、本発光はできません。
  ワイヤレス増灯のグループ設定は「A グループ」のみに対応しています。コマンダー、リモートフラッシュ共に「Aグループ」に設定してください。詳細はスピードライトの使用説明書をご覧ください。
- ワイヤレス増灯撮影時は、ISO感度の設定が［**オート**］、［**高感度オート**］、［**感度制限オート**］の場合、ISO 64に固定されます。
- このカメラでは、SB-600、SB-800およびSB-900の発光色温度情報伝達、オートFPハイスピードシンクロ、FVロック撮影、マルチエリアAF補助光の各機能は使えません。
- SB-600、SB-800およびSB-900のオートパワーズーム機能を使うと、レンズの焦点距離に合わせて照射角が自動的にセットされます。
- SB-600、SB-800およびSB-900使用時に、2 mより近くにある被写体をズームの広角側で撮影すると、画像の周辺が暗くなることがあります。その場合は、ワイドパネルをお使いください。
- スピードライトの「スタンバイ」機能は、撮影時のカメラの電源ONと連動します。レディーライトの点灯はスピードライト側でご確認ください。

記録データのファイル名とフォルダ名

このカメラで撮影した静止画、動画、および音声ファイルには、以下のようなファイル名が付けられます。

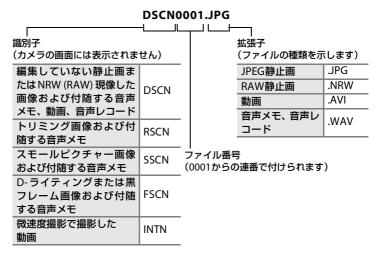
DSCN0001.JPG

識別子
（カメラの画面には表示されません）

編集していない静止画またはNRW (RAW) 現像した画像および付随する音声メモ、動画、音声レコード	DSCN
トリミング画像および付随する音声メモ	RSCN
スモールピクチャー画像および付随する音声メモ	SSCN
D-ライティングまたは黒フレーム画像および付随する音声メモ	FSCN
微速度撮影で撮影した動画	INTN

ファイル番号
（0001からの連番で付けられます）

拡張子
（ファイルの種類を示します）

JPEG静止画	.JPG
RAW静止画	.NRW
動画	.AVI
音声メモ、音声レコード	.WAV

- ファイルを保存するフォルダは、「フォルダ番号 ＋ NIKON」（例：100NIKON）という名前で、自動的に作られます。フォルダ内のファイル数が200に達すると、新しいフォルダが作られます（例：100NIKON→101NIKON）。フォルダ内のファイル番号が9999に達したときも新しいフォルダが作られ、ファイル番号は0001に戻ります。
- 音声メモのファイル名は、音声メモを録音した画像と同じ識別子とファイル番号になります。
- 音声レコード（85）のデータは「SOUND」フォルダに保存されます。
- パノラマアシストモード（48）では、撮影のたびに「フォルダ番号＋P_XXX」という名前のフォルダ（例：101P_001）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。
- インターバル撮影（142）では撮影のたびに「フォルダ番号 ＋ INTVL」という名前のフォルダ（例：101INTVL）が作られ、ファイル番号0001から始まる一連の画像が保存されます。

- 画像データや音声データを内蔵メモリーとSDカードの間でコピーする場合(89、158)、ファイル名は以下のようになります。
  - 「選択画像コピー」または「選択データコピー」:
    使用中のフォルダ（または次回の撮影で使われるフォルダ）に、データがコピーされます。コピーされたデータのファイル名は、「内蔵メモリーおよびSDカード内の最大ファイル番号＋1」から連番で付けられます。
  - 「全画像コピー」または「全データコピー」:
    データはフォルダごとにコピーされます。フォルダ名は「コピー先の最大フォルダ番号＋1」から連番で付けられます。
    ファイル名は変わりません。
- フォルダ番号が999のときにファイル数が200個またはファイル番号が9999に達すると、それ以上撮影できません。SDカードを交換するか、内蔵メモリー/SDカードを初期化（170）してください。

カメラのお手入れ方法

クリーニングについて

レンズ/ファインダー

レンズやファインダーのガラス部分をクリーニングするときは、手で直接触らないように注意してください。ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。ブロアーで落ちない指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布などでガラス部分の中央から外側にゆっくりと円を描くように拭き取ってください。汚れが取れないときは、乾いた柔らかい布に市販のレンズクリーナーを少量湿らせて、軽く拭いてください。硬いもので拭くと傷が付くことがありますのでご注意ください。

液晶モニター

ゴミやホコリはブロアーで吹き払ってください。指紋や油脂などの汚れは、乾いた柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。強く拭くと破損や故障の原因となることがありますのでご注意ください。

カメラボディー

ゴミやホコリをブロアーで吹き払い、乾いた柔らかい布などで軽く拭いてください。海辺などでカメラを使った後は、真水で湿らせてよく絞った柔らかい布で砂や塩分を軽く拭き取った後、よく乾かしてください。
ご注意：カメラ内部にゴミ、ホコリや砂などが入りこむと故障の原因となります。この場合、当社の保証の対象外となりますのでご注意ください。

アルコール、シンナーなど揮発性の薬品はお使いにならないでください。

保管について

長期間カメラをお使いにならないときは、バッテリーを取り出してください。バッテリーを取り出す前に、電源がOFFになっていることをご確認ください。
次の場所にカメラを保管しないようにご注意ください。

- 換気の悪い場所や湿度の高い場所
- テレビやラジオなど強い電磁波を出す装置の近辺
- 温度が50 ℃以上、または－10 ℃以下の場所
- 湿度が60 %を超える場所

他社製の外付けフラッシュ（スピードライト/ストロボ）についてのご注意

他社製の外付けフラッシュ（カメラのアクセサリーシューにマイナス電圧や250 V以上の電圧がかかるものや小さな接点が触れてしまうもの）を使わないでください。カメラの正常な機能を発揮できないだけではなく、カメラおよび外付けフラッシュのシンクロ回路を破損することがあります。

取り扱い上のご注意

カメラについて

● 強いショックを与えないでください
カメラを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。故障の原因になります。また、レンズやレンズバリアーに触れたり、無理な力を加えたりしないでください。

● 水に濡らさないでください
カメラは水に濡らさないように注意してください。カメラ内部に水滴が入ったりすると部品がサビついてしまい、修理費用が高額になるだけでなく、修理不能になることがあります。

● 急激な温度変化を与えないでください
極端に温度差のある場所（寒いところから急激に暖かいところや、その逆になるところ）にカメラを持ち込むと、カメラ内外に水滴が生じ、故障の原因となります。カメラをバックやビニール袋などに入れて、周囲の温度になじませてから使用してください。

● 強い電波や磁気を発生する場所で撮影しないでください
強い電波や磁気を発生するテレビ塔などの周囲および強い静電気の周囲では、記録データが消滅したり、カメラが正常に機能しないことがあります。

● 長時間、太陽に向けて撮影または放置しないでください
太陽などの高輝度被写体に向けて長時間直接撮影したり、放置したりしないでください。過度の光照射は撮像素子の褪色・焼き付きを起こすおそれがあります。また、その際撮影された画像には、真っ白くにじみが生ずることがあります。

● 保管する際には
カメラを長期間お使いにならないときは、必ずバッテリーを取り出してください。また、カビや故障を防ぎ、カメラを長期にわたってお使いいただけるように、月に一度を目安にバッテリーを入れ、カメラを操作することをおすすめします。

● バッテリーやACアダプターを取り外すときは必ず電源をOFFにしてください
電源がONの状態で、バッテリーやACアダプターを取り外すと、故障の原因となります。特に撮影動作中、または記録データの削除中に前記の操作は行わないでください。

● 液晶モニターについて
- 液晶モニターの特性上、一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。記録される画像には影響はありません。
- 屋外では日差しの加減で液晶モニターが見えにくいことがあります。
- 液晶モニター表面を強くこすったり、強く押したりしないでください。液晶モニターが傷つく原因になります。ホコリやゴミなどが付着したときは、ブロアーブラシで吹き払ってください。汚れがひどいときは、柔らかい布やセーム革などで軽く拭き取ってください。万一、液晶モニターが破損した場合は、ガラスの破片などでケガをするおそれがありますので充分ご注意ください。また、中の液晶が皮膚や目に付着したり、口に入ったりしないよう、充分ご注意ください。

● スミアーについて
明るい被写体にレンズを向けると、液晶モニターに色のついた光の帯が表れることがあります。この現象をスミアーといいますが、故障ではありません。
撮影された画像（動画を除く）には影響はありません。

バッテリーについて

● 使用上のご注意

- 長時間お使いになったバッテリーは、発熱していることがあるのでご注意ください。
- 周囲の温度が 0～40 ℃ の範囲を超える場所ではお使いにならないでください。バッテリーの性能劣化や故障の原因となります。
- 万一、異常に熱くなる、煙が出る、こげ臭いなどの異常や不具合が起きたときは、すぐに使用を中止して、ご購入店またはニコンサービス機関に修理を依頼してください。
- カメラやバッテリーチャージャーから取り外したときは、必ず付属の端子カバーを付けてください。

● 充電について

撮影の前に、充電してください。付属のバッテリーは、ご購入時にはフル充電されておりませんので、ご注意ください。

- 周囲の温度が 5～35 ℃ の室内で充電してください。
- ACアダプター EH-66を接続して充電する場合、バッテリーの温度が 0～10 ℃ のときは、充電時間が長くなることがあります。バッテリーの温度が 0 ℃ 以下、45 ℃ 以上のときは、充電をしません。
- 充電が完了したバッテリーを、続けて再充電しないでください。バッテリー性能が劣化します。
- 充電直後にバッテリーの温度が上がることがありますが、性能その他に異常はありません。
- カメラの使用直後など、バッテリー内部の温度が高くなっているときは、バッテリーの温度が下がるのを待ってから充電してください。バッテリー内部の温度が高い状態では、充電ができなかったり、不完全な充電になるばかりでなく、バッテリーの性能が劣化する原因となります。

● 予備バッテリーを用意する

撮影の際は、予備バッテリーをご用意ください。特に、日本国外の地域によっては入手が困難な場合がありますので、ご注意ください。

● 低温時のバッテリーについて

バッテリーは一般的な特性として、低温時には性能が低下します。低温時にお使いになるときは、バッテリーおよびカメラを冷やさないようにしてください。

● 低温時には容量の充分なバッテリーを使い、予備のバッテリーを用意する

消耗したバッテリーを低温時に使うと、カメラが作動しないことがあります。低温時の撮影には充分に充電したバッテリーと予備のバッテリーを用意します。予備のバッテリーは保温し、交互にあたためながらお使いください。低温のために一時的に性能が低下して使えなかったバッテリーでも、常温に戻ると使える場合があります。

● バッテリー接点について

バッテリーの接点が汚れると、接触不良でカメラが作動しなくなることがありますので、ご注意ください。汚れた接点は、乾いた布できれいに拭いてからお使いください。

● 残量について

残量のなくなったバッテリーをカメラに入れたまま、何度も電源スイッチのON/OFFを繰り返すと、バッテリーの寿命に影響をおよぼすおそれがあります。残量がなくなったバッテリーは、充電してからお使いください。

● 保管について

- バッテリーをお使いにならないときは、必ずカメラやバッテリーチャージャーから取り出してください。カメラやバッテリーチャージャーに取り付けたままにしておくと、電源が切れていても微小電流が流れ続けることで過放電になり、使えなくなるおそれがあります。
- バッテリーは、長期間使わないときでも必ず半年に1回は充電し、使い切った状態で保管してください。
- バッテリーは付属の端子カバーを付けて、涼しい場所で保管してください。周囲の温度が15～25 ℃くらいの乾燥したところをおすすめします。暑いところや極端に寒いところは避けてください。

● 寿命について

充分に充電したにもかかわらず、バッテリーの使用期間が極端に短くなってきたときは、バッテリーの寿命です。新しいバッテリーをお買い求めください。

● リサイクルについて

充電を繰り返して劣化し、使えなくなったバッテリーは、廃棄しないで再利用のリサイクルにご協力ください。接点部にテープなどを貼り付けて絶縁してから、ニコンサービス機関やリサイクル協力店へお持ちください。

警告メッセージ

画面に表示される警告メッセージの意味は、以下のとおりです。

表示	意味	対処法	参照ページ
（点滅）	カメラの時計が設定されていません。	日付と時刻を設定してください。	162
	電池の残量が少なくなりました。	バッテリーを充電または交換する準備をしてください。	16、18
電池残量がありません	電池の残量がありません。	バッテリーを充電または交換してください。	16、18
電池が高温です	バッテリーの温度が高温になっています。	電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。 このメッセージが出ると5秒後に液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅を開始します。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	17
カードがロックされています	SDカードの書き込み禁止スイッチが「Lock」されています。	「Lock」を解除してください。	23
このカードは使えません カードに異常があります	SDカードへのアクセス異常です。	・動作確認済みのカードを使ってください。 ・カードの端子部分が汚れていないか確認してください。 ・カードが正しく挿入されているか確認してください。	177 22 22
このカードは初期化されていません。初期化しますか？ いいえ はい	SDカードが、COOLPIX P6000用に初期化されていません。	［**はい**］を選んでⓀボタンを押し、SDカードを初期化してください。	23
メモリー残量がありません	データを記録する空き容量がありません。	・画質または画像サイズを変更してください。 ・不要な画像や音声データを削除してください。 ・SDカードを交換してください。 ・SDカードをカメラから取り出し、内蔵メモリーを使ってください。	124、126 30、84、88、156 22 22

表示	意味	対処法	
画像を保存できません	画像記録中にエラーが発生しました。	内蔵メモリー /SD カードを初期化してください。	170
	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	22 170
	オープニング画面に登録できない画像です。	NRW (RAW) 画像や、[**画像サイズ**]を[3:2 **4224×2816**]、[16:9 **4224×2376**]または[1:1 **3168×3168**]にして撮影した画像、およびトリミングやスモールピクチャーで作成した画像サイズ160×120以下の画像は登録できません。	69、70、124、126
	画像コピー先の容量不足です。	コピー先の不要な画像を削除してください。	156
音声を登録できません	これ以上記録できないファイル番号に達しました。	• SDカードを交換してください。 • 内蔵メモリー /SDカードを初期化してください。	22 170
この画像は編集できません	編集できない画像を編集しようとしました。	• D-ライティング、トリミング、スモールピクチャーまたは黒フレームが可能な条件を確認してください。 • COOLPIX P6000以外で記録されたNRW (RAW) 画像は、RAW 現像できません。 • 動画は編集できません。	67 72 –
動画記録できません	SDカードに動画を記録するのに時間がかかっています。	画像記録処理の速いSDカードに交換してください。	177
撮影画像がありません	• 撮影済みの画像または録音済みの音声データがありません。	–	–
音声データがありません	• SDカードに画像または音声データが入っていません。	内蔵メモリーからSDカードにコピーする場合は、MENUボタンを押してください。[**画像コピー**]または[**音声データコピー**]画面が表示されます。	158、89

付録

表示	意味	対処法	参照ページ
このファイルは表示できません	COOLPIX P6000 以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
このデータは再生できません	COOLPIX P6000 以外で作成されたファイルです。	このカメラでは再生できません。	–
表示できる画像がありません	カレンダーモード/撮影日一覧モードで表示しようとした画像が、日時未設定です。	–	–
	内蔵メモリー/SDカード内の画像がすべて非表示設定されています。	[**非表示設定**] で画像の非表示設定を解除してください。	157
このファイルは削除できません	画像にプロテクトがかかっています。	プロテクトを解除してください。	156
自宅と訪問先が同じタイムゾーンです	自宅と訪問先を同じタイムゾーンに設定しました。	–	164
モードダイヤルの位置がずれています	モードダイヤルが正しい位置にセットされていません。	モードダイヤルを回して、カメラの指標にいずれかのモードを合わせてください。	10
フラッシュポップアップボタンを押して、フラッシュを上げてください	シーンモードが [**夜景ポートレート**] または [**逆光**] のときや連写が [**フラッシュ連写**] のときに、内蔵フラッシュを閉じています。	(フラッシュポップアップ) ボタンを押して内蔵フラッシュをポップアップしてください。	33、43、47
フォーカスモードをMFにしてください	フォーカスモードがMF (マニュアルフォーカス) になっていません。	フォーカスモードをMF (マニュアルフォーカス) にしてから、MFボタンを押しながらコマンドダイヤルを回してください。	39
現在の設定ではマイメニューに登録した項目を変更できません	登録されている全てのメニュー項目が、現在の設定では変更できません。	• マイメニューに登録していない機能の設定を確認してください。 • マイメニューに登録する項目を変更してください。	150 150、172

付録

表示	意味	対処法	📖
(点滅)	ワイヤレス増灯撮影時にグループ設定が「Aグループ」に設定されていません	マスターコマンダーおよびリモートフラッシュのグループ設定を「Aグループ」に設定してください。	179
レンズエラー	レンズの作動不良です。	電源を入れ直してください。 エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	17
レンズバリアーエラー	レンズバリアーが開きません。	レンズバリアーが指などで押さえられているため、開きません。レンズバリアーから指を離し、電源を入れ直してください。	6
通信エラー	プリンターとの通信中に、USBケーブルが外れました。	カメラの電源をOFFにして、USBケーブルの接続をやり直してください。	92、96
システムエラー	カメラの内部回路にエラーが発生しました。	電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてください。エラー表示が続くときは、ニコンサービス機関までご連絡ください。	17
電池残量がありません 転送を中止しました	画像を送信中に電池残量がなくなりました。	AC アダプター EH-66 を使うか、バッテリーを充電してから、再度カメラの電源をONにし、サーバーに画像を送信してください。	18、117
接続エラー	サーバーとの接続中にLANケーブルが外れました。または、LANケーブルが接続されていません。	カメラの電源をOFFにして、LANケーブルの接続をやり直してください。	117、118
	サーバーと接続できませんでした。または、画像の転送中に接続エラーが発生しました。	[**再開**]を選んでⓀボタンを押してください。サーバーへの接続が再開します。	–
サービス利用情報が違います	カメラが認証されません。	Ⓚボタンを押してください。	–
サーバーの容量制限を超えています	ピクチャーバンクの容量が限度を超えています。	サーバー上の不要な画像を削除してください。	–

表示	意味	対処法	参照ページ
サービスが利用できません	my Picturetown サービスが利用できません。	OKボタンを押してください。	–
位置情報の更新に失敗しました	GPS衛星から電波を受信できませんでした。	お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	62、63、64
GPS情報の取得に失敗しました	GPS衛星から電波を受信できませんでした。	お使いになる場所や時間を変えて、もう一度測位してください。	62、63、64
プリンターエラー：プリンターを確認してください	プリンターに異常があります。	プリンターを確認し、エラーの原因を取り除いた後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙を確認してください	指定したサイズの用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：紙詰まりです	用紙が詰まりました。	詰まった用紙を取り除いた後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：用紙がありません	用紙がセットされていません。	指定したサイズの用紙をセットした後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクを確認してください	インクに異常があります。	インクを確認した後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：インクがありません	インクがなくなりました。	インクを交換した後、［**継続**］を選んでOKボタンを押し、プリントを再開してください。※	–
プリンターエラー：ファイルが異常です	プリントする画像ファイルに異常があります。	［**キャンセル**］を選んでOKボタンを押し、プリントを中止してください。	–

※ プリンターの使用説明書もあわせてご覧ください。

故障かな？と思ったら

カメラの動作がおかしいとお感じになったときは、ご購入店やニコンサービス機関にお問い合わせいただく前に、以下の項目をご確認ください。

表示・設定・電源関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
液晶モニターに何も映らない	• 電源が入っていません。 • バッテリー残量がありません。 • 節電機能により待機状態になっています。シャッターボタンを半押ししてください。 • 液晶モニターが消灯しています。□ ボタンを押して液晶モニターを点灯してください。 • カメラとパソコンが USB ケーブルで接続されています。 • カメラとテレビが AV ケーブルで接続されています。 • 微速度撮影中またはインターバル撮影中です。	17 24 17、28 14 91 90 82、142
液晶モニターがよく見えない	• 周囲の光が明るすぎます。 暗い場所に移動するか、ファインダーをお使いください。 • 液晶モニターの明るさを調整してください。 • 液晶モニターが汚れています。 • 節電機能により液晶モニターが暗くなっています。	26 165 182 17
カメラの電源が突然切れる	• バッテリー残量がありません。 • 操作しない状態が続いたため、オートパワーオフ機能が働きました。 • 低温下ではカメラやバッテリーが正常に動作しないことがあります。	24 17 184
撮影日時が正しく表示されない	• 日時を設定していない（撮影時に時計マークが点滅している）場合は、静止画の撮影日時が「0000/00/00 00:00」、動画の撮影日時や音声レコードの録音日時が「2008/01/01 00:00」と記録されます。セットアップメニュー［**日時設定**］や GPS メニュー［**日時合わせ**］で日時を正しく設定してください。 • 内蔵時計は腕時計などの一般的な時計ほど精度は高くありません。定期的に日時設定を行うことをおすすめします。	20、64、162 162
撮影情報や画像情報が表示されない	撮影情報、画像情報を非表示にしている可能性があります。設定内容の情報が表示されるまで、□ボタンを押してください。	14
［**デート写し込み**］が選べない	セットアップメニュー［**日時設定**］が設定されていません。	20、162

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
［**デート写し込み**］を有効にしたのに、日付が写し込まれない	以下の場合は日付が写し込まれません。 • シーンモードが［**スポーツ**］、［**ミュージアム**］または［**パノラマアシスト**］になっているとき • 撮影メニュー［**画質**］が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のとき • 撮影メニュー［**連写**］が［**連写**］、［**BSS**］または［**フラッシュ連写**］のとき • 撮影メニュー［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外のとき • 動画	43、46、48 124 140 143 79
設定内容が初期状態に戻ってしまった	バックアップ用電池が切れたため、設定がリセットされました。	163
液晶モニターが消灯し、電源ランプが高速点滅する	バッテリーの温度が高温になっています。電源をOFFにして、バッテリーの温度が下がるまでしばらく放置してからご使用ください。ランプの点滅が3分続くと電源は自動的にOFFになりますが、電源スイッチを押してもOFFにできます。	17

●デジタルカメラの特性について

きわめてまれに、液晶モニターに異常な表示が点灯したまま、カメラが作動しなくなることがあります。原因として、外部から強力な静電気が電子回路に侵入したことが考えられます。このような場合は、電源をOFFにしてバッテリーを入れ直し、もう一度電源をONにしてみてください。これによってカメラが作動しなくなったときのデータは失われるおそれがありますが、すでに内蔵メモリーまたはSDカードに記録されているデータは失われません。この操作を行ってもカメラに不具合が続くときは、ニコンサービス機関にお問い合わせください。

撮影関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
撮影できない	• 再生モードになっているときは、▶ ボタンまたはシャッターボタンを押してください。 • メニューが表示されているときは、MENU ボタンを押してください。 • バッテリー残量がありません。 • シーンモードが［**夜景ポートレート**］または［**逆光**］になっているときや撮影メニュー［**連写**］が［**フラッシュ連写**］のときは、内蔵フラッシュをポップアップしてください。 • フラッシュランプが点滅しているときは、フラッシュの充電中です。	30 13 24 33、43、47、140 34

こんなときは	考えられる原因や対処法	
ピントが合わない	• オートフォーカスが苦手な被写体を撮影しています。 • セットアップメニュー［**AF 補助光**］を［**AUTO**］にしてください。 • シャッターボタンを半押ししたときに、被写体がAF エリア内に入っていません。 • フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）になっています。 • 電源を入れ直してください。	29 168 28、144 37、39 24
画像がぶれる	• フラッシュを使ってください。 • 手ブレ補正機能を使ってください。 • BSS（ベストショットセレクター）を使ってください。 • 三脚などでカメラを安定させてください（セルフタイマーを併用すると、より効果的です）。 • カメラにワイドコンバーターを取り付けたときは、撮影メニュー［**ワイドコンバーター**］を［**ON**］にしてください。	32 167 140 35 149
フラッシュ撮影時に、画像に白い点が写り込む	フラッシュの光が空気中のほこりなどに反射して写り込んでいます。フラッシュモードを（発光禁止）にしてください。	32
フラッシュが発光しない	• フラッシュモードが（発光禁止）になっています。 • フラッシュが発光しないシーンモードになっています。 • フォーカスモードが ▲（遠景 AF）になっています。 • モード（［**微速度撮影 640★**］を除く）になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］が［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］になっています。 • 撮影メニュー［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外になっています。 • 撮影メニュー［**ワイドコンバーター**］が［**ON**］になっています。 • 撮影メニュー［**発光切り換え**］が［**内蔵発光禁止**］になっています。 • 別売のスピードライト（外付けフラッシュ）使用時は、内蔵フラッシュは発光しません。	32 41 37 79 140 143 149 147 179
光学ズームが使えない	動画撮影中は使えません。	79

こんなときは	考えられる原因や対処法	
電子ズームが使えない	• セットアップメニュー［**電子ズーム**］が［**OFF**］になっています。 • 以下の場合、電子ズームは使えません。 - フォーカスモードが MF（マニュアルフォーカス）のとき - シーンモードが［**ポートレート**］または［**夜景ポートレート**］のとき - 撮影メニュー［**画質**］が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のとき - 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のとき - 撮影メニュー［**ワイドコンバーター**］が［**ON**］のとき - 動画の撮影開始前（［**微速度撮影 640★**］以外の動画撮影中は 2 倍まで作動）	168 37、39 42、43 124 140 149 79
［**画像サイズ**］が選べない	• 撮影メニュー［**画質**］が［**NRW (RAW)**］のときは設定できません。［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］、［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは、［3:2 **4224 × 2816**］、［16:9 **4224 × 2376**］、［1:1 **3168 × 3168**］を選べません。 • 撮影メニュー［**連写**］が［**マルチ連写**］のときは、設定できません。 • 撮影メニュー［**ISO 感度設定**］が［**3200**］または［**6400**］のときは、［13M **4224 × 3168**］、［8M **3264 × 2448**］、［5M **2592 × 1944**］、［3:2 **4224 × 2816**］、［16:9 **4224×2376**］、［1:1 **3168×3168**］を選べません。	126 140 138
シャッター音が鳴らない	• セットアップメニュー［**操作音**］の［**シャッター音**］が［**OFF**］になっています。 • 撮影メニュー［**連写**］が［**連写**］、［**BSS**］または［**マルチ連写**］になっています。 • 撮影メニュー［**ブラケティング**］が［**OFF**］以外になっています。 • シーンモードが、［**スポーツ**］または［**ミュージアム**］になっています。 • モードになっています。 • スピーカーをふさがないでください。	169 140 143 43、46 79 7、26
AF 補助光が発光しない	• セットアップメニュー［**AF 補助光**］が［**OFF**］になっています。 • 一部のシーンモードでは発光しません。	168 168
画像が鮮明でない	レンズが汚れています。	182
画像の色合いが不自然になる	適切なホワイトバランスが選ばれていません。	136

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
画像がざらつく	被写体が暗いため、シャッタースピードが遅くなっているか、ISO感度が高くなっています。 • フラッシュを使ってください。 • 低い ISO 感度にしてください。 • 撮影状況に合わせて、撮影メニュー［**ノイズ低減**］を設定してください。 • ノイズ低減機能付きのシーンモードで撮影してください。	32 138 148 41
画像が暗すぎる	• フラッシュモードが⊛（発光禁止）になっています。 • 内蔵フラッシュが指などでさえぎられています。 • 被写体にフラッシュの光が届いていません。 • 露出を補正してください。 • ISO 感度を上げてください。 • 逆光で撮影しています。　内蔵フラッシュをポップアップし、シーンモードの［**逆光**］にするかフラッシュモードを⚡（強制発光）にして撮影してください。	32 26 32 40 138 32、47
画像が明るすぎる	露出を補正してください。	40
赤目以外の部分が補正された	⚡◎（赤目軽減自動発光）やシーンモードの［**夜景ポートレート**］の赤目軽減スローシンクロ強制発光でフラッシュ撮影すると、ごくまれに赤目以外の部分が補正されることがあります。［**夜景ポートレート**］以外の撮影モードで、フラッシュモードを⚡◎（赤目軽減自動発光）以外にして撮影してください。	32、43
連写できない	撮影メニュー［**ノイズ低減**］が［**ON**］になっています。	148
マルチ連写できない	• セルフタイマー / リモコンが設定されています。 • 撮影メニュー［**画質**］が［**NRW (RAW)**］、［**NRW (RAW) + FINE**］、［**NRW (RAW) + NORMAL**］または［**NRW (RAW) + BASIC**］のときは設定できません。 • 撮影メニュー［**ISO 感度設定**］を［**3200**］または［**6400**］にすると、マルチ連写はできません。 • 撮影メニュー［**ブラケティング**］が設定されています。	35 126、140 138、140 143
COOLPIX ピクチャーコントロールの［**コントラスト**］が調整できない	撮影メニュー［**Active D-ライティング**］が［**OFF**］以外になっています。	57、132

再生関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	📖
再生できない	• パソコンか他社製のカメラによって画像が上書きされたか、ファイル名やフォルダ名が変更されました。 • 微速度撮影中またはインターバル撮影中です。	– 82、142
画像の拡大表示ができない	動画やスモールピクチャー、320×240以下にトリミングされた画像は拡大表示できません。	–

付録

こんなときは	考えられる原因や対処法	
音声メモの録音や再生ができない	• 動画には音声メモを付けられません。 • このカメラ以外で撮影した画像には、このカメラで音声メモを付けられません。また、このカメラ以外で画像に音声メモを付けると、このカメラでは再生できません。	84 74
D-ライティング、トリミング、スモールピクチャー、黒フレームができない	• 動画は編集できません。 • ［**画像サイズ**］を［3:2 **4224 × 2816**］、［16:9 **4224 × 2376**］、［1:1 **3168 × 3168**］にして撮影した画像は、黒フレーム以外の編集ができません。 • NRW (RAW) 画像は、そのままでは D- ライティング、トリミング、スモールピクチャー、黒フレームの編集ができません。［**NRW (RAW) 現像**］で作成した JPEG 画像を編集してください。 • D-ライティング、トリミング、スモールピクチャー、黒フレームが可能な条件を確認してください。 • このカメラ以外で撮影した画像は編集できません。 • このカメラで編集した画像をこのカメラ以外で再生するときの動作は保証していません。	84 126 72 67 – –
画像がテレビに映らない	• セットアップメニュー［**ビデオ出力**］が正しく設定されていません。 • 画像が記録されていないSDカードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像を再生するときはSDカードを取り出してください。	171 22
カメラをパソコンに接続しても、Nikon Transfer が自動起動しない	• カメラの電源が OFF になっています。 • バッテリー残量がありません。 • USBケーブルが正しく接続されていません。 • パソコンにカメラが正しく認識されていません。 • Nikon Transfer が自動起動しない設定になっています。 • パソコンの OS が Windows 2000 Professional の場合は、カメラを接続できません。 Nikon Transferについては、Nikon Transferのヘルプをご参照ください。	24 24 92 — — 91
プリントする画像が表示されない	画像が記録されていないSD カードが入っています。SDカードを交換してください。内蔵メモリーの画像をプリントするときはSDカードを取り出してください。	22
カメラ側で用紙設定ができない	PictBridge対応プリンターでも、以下の場合はカメラで「用紙設定」はできません。プリンター側で用紙サイズを設定してください。 • カメラ側で設定した用紙サイズにプリンターが対応していません。 • 自動的に用紙サイズを認識するプリンターを使っています。	97、98 —

GPS関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
カメラの電源がOFFのときに電源ランプが点滅する	GPSメニュー［**位置情報記録機能**］を［**ON**］にしたまま、カメラの電源をOFFにしています。	62
測位に時間がかかる	GPS衛星から電波を受信できない状態が約2時間経過しました。	62
撮影した画像に位置情報が記録されない	• 撮影時の画面に が表示されているときは位置情報が記録されません。撮影前にGPS受信状態を確認してください。 • 測位できない状態が記録有効時間を超えています。	61 63
撮影した場所と記録した位置情報に誤差がある	• 最後に位置情報を更新した時点から、撮影場所を移動しています。 • 位置情報を更新してください。 • 測位する環境によっては、誤差が生じることがあります。	63 63 62

ネットワーク関連

こんなときは	考えられる原因や対処法	🕮
サーバーに接続できない	利用するLANのネットワーク設定と、カメラで設定したネットワーク接続設定が一致していない可能性があります。カメラのネットワーク設定メニューを使ってネットワーク接続設定の内容を確認してください。	109
途中でLAN接続が中断して画像が送信できなかった	• LANケーブルが正しく接続されていません。 • バッテリー残量がありません。	117、118 24
my Picturetownからユーザー登録案内の電子メールが届かない	カメラの送信者設定に入力されているメールアドレスを確認してください。	110
内蔵メモリーの画像を送信できない	SDカードをカメラから取り出してから、送信してください。	22
ピクチャーバンクで送信した画像がmy Picturetownに保存されない	my Picturetownから送られた登録案内の電子メールに記載されているURLをパソコンで開き、カメラのキー情報を登録してください。	114

主な仕様

ニコン デジタルカメラCOOLPIX P6000

型式		コンパクトデジタルカメラ
有効画素数		13.5 メガピクセル
撮像素子		1/1.7型原色CCD、総画素数13.93 メガピクセル
レンズ		光学4倍 ズームニッコールレンズ
	焦点距離	6–24mm（35mm判換算28–112mm相当の撮影画角）
	絞り	f/2.7–5.9
	レンズ構成	7群9枚（EDレンズ 2枚）
電子ズーム		最大4倍（35mm判換算で約448mm相当の撮影画角）
手ブレ補正		レンズシフト方式
オートフォーカス		コントラスト検出方式、マルチエリアAF可能
	撮影距離	• レンズ前約 50 cm ～∞ • マクロ AF 時は約 2 cm ～∞（ズームの広角側）
	AFエリア	顔認識オート、オート（9点）、中央、マニュアル（99点）
ファインダー		実像式光学ズームファインダー、LED表示
	視野率	上下左右とも約80%（対実画面）
液晶モニター		広視野角2.7型TFT液晶、反射防止コート付き、約23万ドット 輝度調節機能付き（5段階）
	視野率（撮影時）	上下左右とも約97%（対実画面）
	視野率（再生時）	上下左右とも約100%（対実画面）
記録方式		
	記録媒体	内蔵メモリー（約48 MB）、SDメモリーカード
	画像ファイル	DCF、Exif 2.2、DPOF準拠
	ファイル形式	静止画：RAW12ビット（非圧縮）、JPEG-Baseline準拠、圧縮率：FINE（約1/4）、NORMAL（約1/8）、BASIC（約1/16） RAWとJPEGの同時記録可能 動画：AVI 音声：WAV
画像サイズ（記録画素数）		• 4224 × 3168 ［13 M］ • 3264 × 2448 ［8 M］ • 2592 × 1944 ［5 M］ • 2048 × 1536 ［3 M］ • 1600 × 1200 ［2 M］ • 1280 × 960 ［1 M］ • 1024 × 768 ［PC］ • 640 × 480 ［TV］ • 4224 × 2816 ［3:2］ • 4224 × 2376 ［16:9］ • 3168 × 3168 ［1:1］
ISO感度（標準出力感度）		ISO 64、100、200、400、800、1600、2000、3200、6400 オート（ISO 64～800）、高感度オート（ISO 64～1600）、感度制限オート（100、200、400）

露出	
測光方式	マルチパターン測光（256分割）、中央部重点測光、スポット測光、AFスポット測光（99点AF対応）
露出制御	プログラムオート（プログラムシフト可能）、シャッター優先オート、絞り優先オート、マニュアル露出、ブラケティング、露出補正（±2段の範囲で1/3段刻み）可能
露出連動範囲（ISO 100）	－1～＋17.4 EV（広角側） 1.3～16.6 EV（望遠側）
シャッター	メカニカルシャッターとCCD電子シャッターの併用
シャッタースピード	1/2000～8秒、1/2000～30秒（マニュアル露出時）
絞り	電磁駆動による6枚羽根虹彩絞り
制御段数	10（1/3 EVステップ）
セルフタイマー	約10秒、約2秒
内蔵フラッシュ	
調光範囲（ISO感度設定オート時）	約0.3～6.0 m（広角側） 約0.3～3.0 m（望遠側）
調光方式	モニター発光によるTTL自動調光
アクセサリーシュー	ホットシュー、セーフティーロック機構（ロック穴）付き
シンクロ接点	X接点のみ
インターフェース	
USB	Hi-Speed USB（通信プロトコル：MTP、PTP）
LAN	100BASE-TX
ビデオ出力	NTSC、PALから選択可能
入出力端子	デジタル端子/オーディオビデオ（AV）出力端子、LAN端子、DC入力端子
言語	日本語、英語の2言語
電源	Li-ionリチャージャブルバッテリー EN-EL5（リチウムイオン充電池：付属）×1個 ACアダプター EH-66（付属）
撮影可能コマ数（電池寿命）※	約260コマ（EN-EL5使用時）
寸法（幅×高さ×奥行き）	約107×65.5×42 mm（突起部除く）
質量	約240 g（バッテリー、SDカード除く）
動作環境	
使用温度	0～40 ℃
使用湿度	85 %以下（結露しないこと）

- 仕様中のデータは、すべて常温（25 ℃）、リチャージャブルバッテリーEN-EL5をフル充電で使用時のものです。

※ 電池寿命測定方法を定めたCIPA（カメラ映像機器工業会）規格によるものです。測定条件は、23(±2) ℃、撮影ごとにズーム、2回に1回の割合でのフラッシュ撮影、画質［**NORMAL**］、画像サイズ［**13M 4224×3168**］です。撮影間隔、メニュー表示時間、画像表示時間などにより、コマ数は変動します。

Li-ion リチャージャブルバッテリー EN-EL5

形式	リチウムイオン充電池
定格容量	DC 3.7 V、1100 mAh
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約36×54×8 mm（突起部除く）
質量	約30 g（端子カバーを除く）

ACアダプター EH-66

定格入力	AC 100–240 V、50/60 Hz、0.18–0.1 A
定格入力容量	18–22 VA
定格出力	DC 4.8 V、1.5 A
使用温度	0～40 ℃
寸法（幅×高さ×奥行き）	約41×23.5×79 mm（突起部除く）
接続コード	長さ約1.7 m
電源コード	長さ約1.8 m、日本国内専用AC 100 V 対応
質量	約110 g（電源コードを除く）

使用説明書について

- 使用説明書の誤りなどについての補償はご容赦ください。
- 製品の外観、仕様、性能は予告なく変更することがありますので、ご了承ください。

このカメラの準拠規格

- Design rule for Camera File system (DCF)：各社のデジタルカメラで記録された画像ファイルを相互に利用し合うための記録方式です。
- DPOF (Digital Print Order Format)：デジタルカメラで撮影した画像をプリントショップや家庭用プリンターで自動プリントするための記録フォーマットです。
- Exif (Exchangeable image file format) Version 2.2：デジタルカメラとプリンターの連携を強化し、高品質なプリント出力を簡単に得ることを目指した規格です。
  この規格に対応したプリンターをお使いになると、撮影時のカメラ情報を活かしたプリント出力を得られます。
  詳しくはプリンターの使用説明書をご覧ください。
- PictBridge：デジタルカメラとプリンターのメーカー各社が相互接続を保証するもので、デジタルカメラの画像をパソコンを介さずプリンターで直接プリントするための標準規格です。

索引

マーク・英数

ア

付録

アフターサービスについて

■この製品の操作方法や修理についてのお問い合わせは

この製品の操作方法や修理について、ご質問がございましたら、ニコンカスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。

- ニコンカスタマーサポートセンターにつきましては、使用説明書裏面をご覧ください。

●お願い

- お問い合わせいただく場合には、次ページの「お問い合わせ承り書」の内容をご確認の上お問い合わせください。
- より正確、迅速にお答えするために、ご面倒でも次ページの「お問い合わせ承り書」の所定の項目にご記入いただき、FAXまたは郵送でお送りください。「お問い合わせ承り書」は、コピーしていただくと、繰り返しお使いいただけます。

■修理を依頼される場合は

ご購入店、またはニコンサービス機関にご依頼ください。

- ニコンサービス機関につきましては、「ニコン サービス機関のご案内」をご覧ください。
- ご転居、ご贈答品などでご購入店に修理を依頼することができない場合は最寄りの販売店、またはニコンサービス機関にご相談ください。
- 修理に出されるときに、SDカードがカメラ内に挿入されていないかご確認ください。

■補修用性能部品について

このカメラの補修用性能部品（その製品の機能を維持するために必要な部品）の保有年数は、製造打ち切り後5年を目安としています。

- 修理可能期間は、部品保有期間内とさせていただきます。なお、部品保有期間経過後も、修理可能な場合もありますので、ご購入店またはニコンサービス機関へお問い合わせください。水没、火災、落下等による故障または破損で全損と認められる場合は、修理が不可能となります。なお、この故障または破損の程度の判定は、ニコンサービス機関にお任せください。

■インターネットご利用の方へ

- ソフトウェアのアップデート、使用上のヒントなど、最新の製品テクニカル情報を次の当社ホームページでご覧いただくことができます。

  http://www.nikon-image.com/jpn/support/

- 製品をより有効にご利用いただくため定期的にアクセスされることをおすすめします。

ニコンカスタマーサポートセンター　行

FAX:(03)5977-7499

【お問い合わせ承り書】 太枠内のみご記入ください

お問い合わせ日： 年 月 日
お買い上げ日： 年 月 日
製品名： シリアル番号：
フリガナ お名前：
連絡先ご住所：□自宅 □会社 〒 TEL: FAX:
ご使用のパソコンの機種名： メモリー容量： ハードディスクの空き容量： OS のバージョン： ご使用のインターフェースカード名： その他接続している周辺機器名： ご使用のアプリケーションソフト名： ご使用の当社ソフトウェアのバージョン名：
問題が発生した時の症状、表示されたメッセージ、症状の発生頻度： （おわかりになる範囲で結構ですので、できるだけ詳しくお書きください）

※このページはコピーしてお使いください。

整理番号：

製品の使い方と修理に関するお問い合わせ

<ニコンカスタマーサポートセンター>

全国共通電話番号 **0570-02-8000** にお電話を頂き、音声によるご案内に従いご利用窓口の番号を入力して頂ければ、お問い合わせ窓口担当者よりご質問にお答えさせて頂きます。

☎ **0570-02-8000**
市内通話料金でご利用いただけます

営業時間:9:30〜18:00(年末年始、夏期休業等を除く毎日)
携帯電話、PHS、IP電話等をご使用の場合は、(03)5977-7033 におかけください。
FAXでのご相談は、(03)5977-7499 におかけください。

修理サービスのご案内

修理サービスのご案内を下記URLにて行っております。
インターネットを利用して修理の申し込みができます。
「修理見積もり」、「修理状況」、「納期」などもご確認できますのでご利用ください。

http://www.nikon-image.com/jpn/support/repair/

<インターネットをご利用できない方の修理品送り先>
(株)ニコン イメージング ジャパン 修理センター
〒230-0052 横浜市鶴見区生麦2-2-26 電話:(045)500-3050
営業時間:9:30〜17:30(土、日曜日、祝日、年末年始、夏期休業など弊社定休日を除く毎日)

● 修理センターではご来所の方の窓口がございません。送付のみの対応となりますのでご了承ください。

株式会社 ニコン
株式会社 ニコン イメージング ジャパン

© 2008 Nikon Corporation

Printed in Japan
FX8H03(10)
6MM61910-03